

令和2年度
子ども・子育て県民意識調査報告書



令和3年2月
大分県福祉保健部 こども未来課

目 次

第1章 調査の概要

1. 調査の目的.....	1
2. 調査期間.....	1
3. 調査方法.....	1
4. 調査対象者.....	1
5. 回収率.....	2
6. 報告書の見方.....	3
7. 回答者の属性.....	4

第2章 調査結果

1. 子どもと家族の状況.....	6
(1) 祖父・祖母の同居・近居の状況	6
(2) 子どもの身の回りの世話などを主にしている人.....	7
2. 少子化・子育てに対する意識.....	8
(1) 理想とする子どもの数と実際に予定している子どもの数.....	8
(2) 理想よりも予定の子ども数の方が少ない理由.....	10
(3) 理想とする子どもの数を実現するために必要なこと.....	11
(4) 3人目以降の子どもを持つことができた理由【新設】	12
(5) 子どもと将来の夢や希望について語り合う機会の頻度.....	15
3. 子育てについての不安・悩み・地域の人とのかかわり.....	16
(1) 子育てについて、気軽に相談できる人の有無.....	16
(2) 日頃、子どもを預かってもらえる人の有無.....	17
(3) 子育てが地域の人に支えられていると感じている割合.....	18
(4) 子育てに関する情報の入手先.....	19
(5) 子育てにかかる費用において、最も負担が大きいと感じているもの ...	21
(6) 電気、ガス、水道料等の未払い経験の有無【新設】	22
(7) 食料または衣服が買えなかった経験の有無【新設】	22
(8) しつけのために体罰を行うことについて.....	23
4. 子育てと仕事の両立.....	24
(1) 現在の就労状況	24
(2) 育児休業制度および育児短時間勤務制度の利用状況	25

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

子育て満足度日本一の実現に向け、子どもの育ちや子育てに関する県民意識調査を実施し、「おおいた子ども・子育て応援プラン」（第4期計画）の総合的な評価等の進捗状況を把握するとともに、各種施策の充実を図ることを目的とする。

2. 調査期間

令和2年12月4日～令和2年12月25日

3. 調査方法

- ・ 郵送による調査票の配布
- ・ 郵送またはインターネットによる回答

4. 調査対象者

就学前児童の保護者及び小学生（就学児童）の保護者 計3,000名

（1）就学前児童の保護者

県下18市町村において、0歳～5歳までの就学前児童2,020人の保護者を無作為抽出

（2）小学生（就学児童）の保護者

県下18市町村において、小学校1年～6年生までの児童980人の保護者を無作為抽出

5. 回収率

(1) 今回及び過去の調査における全体の配布部数・回収数・回収率

調査年度		配布部数	回収数	回収率
R2年度 (今回)	就学前児童	2,020	1,097	54.3%
	小学生	980	496	50.6%
	計	3,000	1,593	53.1%
R元年度	就学前児童	2,020	804	39.8%
	小学生	980	407	41.5%
	計	3,000	1,211	40.4%
H30年度	就学前児童	2,020	976	48.3%
	小学生	980	425	43.4%
	計	3,000	1,401	46.7%
H29年度	就学前児童	2,020	1,015	50.2%
	小学生	980	436	44.5%
	計	3,000	1,451	48.4%

(2) 今回の調査における自治体別配布数・回収数・回収率

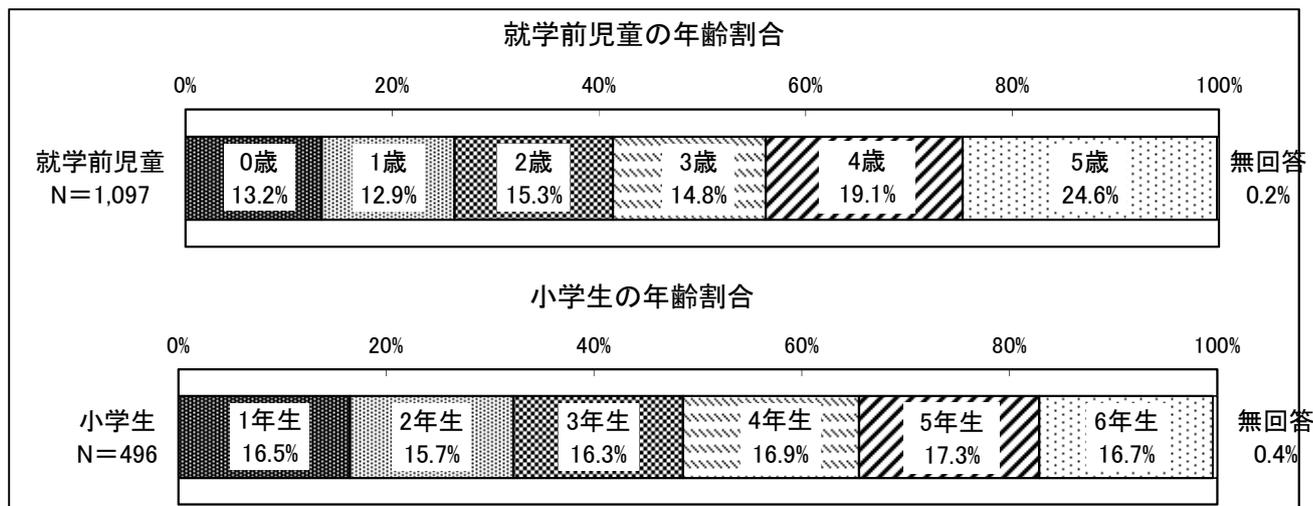
自治体名	就学前児童			小学生		
	配布数	回答数	回答率	配布数	回答数	回答率
大分市	260	169	65.0%	140	77	55.0%
別府市	200	101	50.5%	100	42	42.0%
中津市	200	111	55.5%	100	46	46.0%
日田市	200	107	53.5%	100	58	58.0%
佐伯市	200	106	53.0%	100	45	45.0%
臼杵市	70	39	55.7%	30	17	56.7%
津久見市	70	32	45.7%	30	13	43.3%
竹田市	70	34	48.6%	30	15	50.0%
豊後高田市	70	28	40.0%	30	15	50.0%
杵築市	70	42	60.0%	30	19	63.3%
宇佐市	200	107	53.5%	100	49	49.0%
豊後大野市	70	35	50.0%	30	15	50.0%
由布市	70	44	62.9%	30	20	66.7%
国東市	70	33	47.1%	30	15	50.0%
姫島村	10	7	70.0%	10	5	50.0%
日出町	70	38	54.3%	30	16	53.3%
九重町	50	22	44.0%	30	16	53.3%
玖珠町	70	40	57.1%	30	12	40.0%
無回答	-	2	-	-	1	-
全体	2,020	1,097	54.3%	980	496	50.6%

6. 報告書の見方

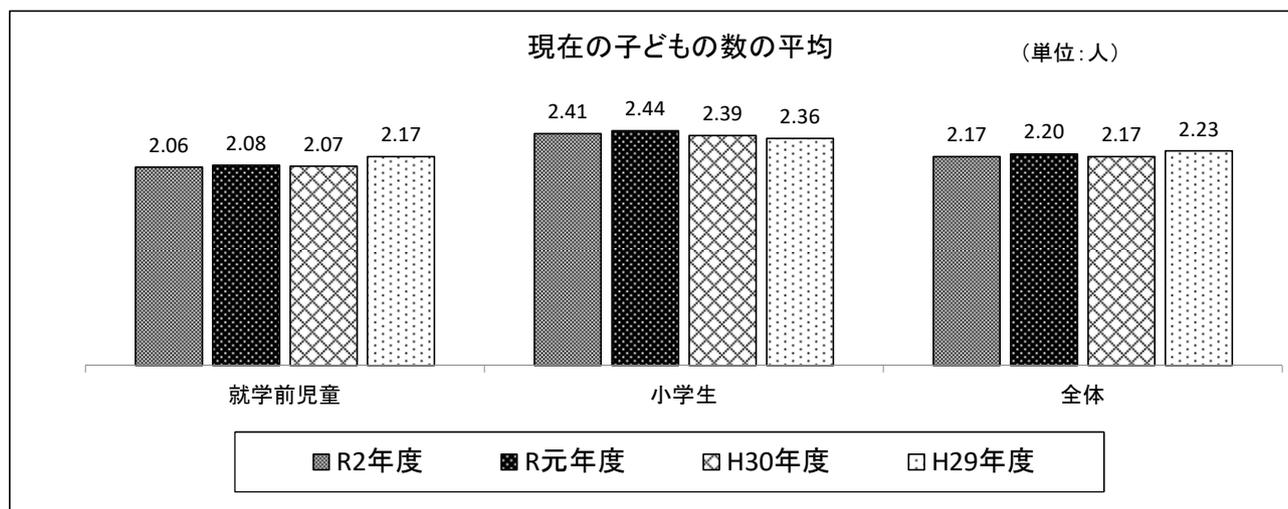
- (1) 回答結果の割合(%)は回答数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位を四捨五入したものです。そのため、合計値が100.0%にならない場合があります。
- (2) 複数回答(複数の回答選択肢から二つ以上の選択肢を選ぶ)の設問の場合、選択肢ごとの回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- (3) 表、グラフにおいて「就学前児童」の記載は「就学前児童を持つ保護者」、「小学生」の記載は「小学生を持つ保護者」を対象にした調査結果を表しています。
- (4) 表、グラフにおいて「無回答」とあるものは、回答がない、もしくは回答の判別が困難なものです。
- (5) グラフに表示している「N」は、回答総数、もしくはその設問に答えるべき該当者数を表しています。
- (6) 本文中の表、グラフにおいて、設問の選択肢が長い文章の場合、簡略化して表示している場合があります。
- (7) 本文中の表、グラフにおいて、平成29年度、平成30年度、令和元年度公表の「子ども・子育て県民意識調査」を参考データとして表示しています。
- (8) 今回の調査結果を(7)のとおり過去3回の調査と比較している設問がありますが、標本数が異なる点に留意する必要があります。

7. 回答者の属性

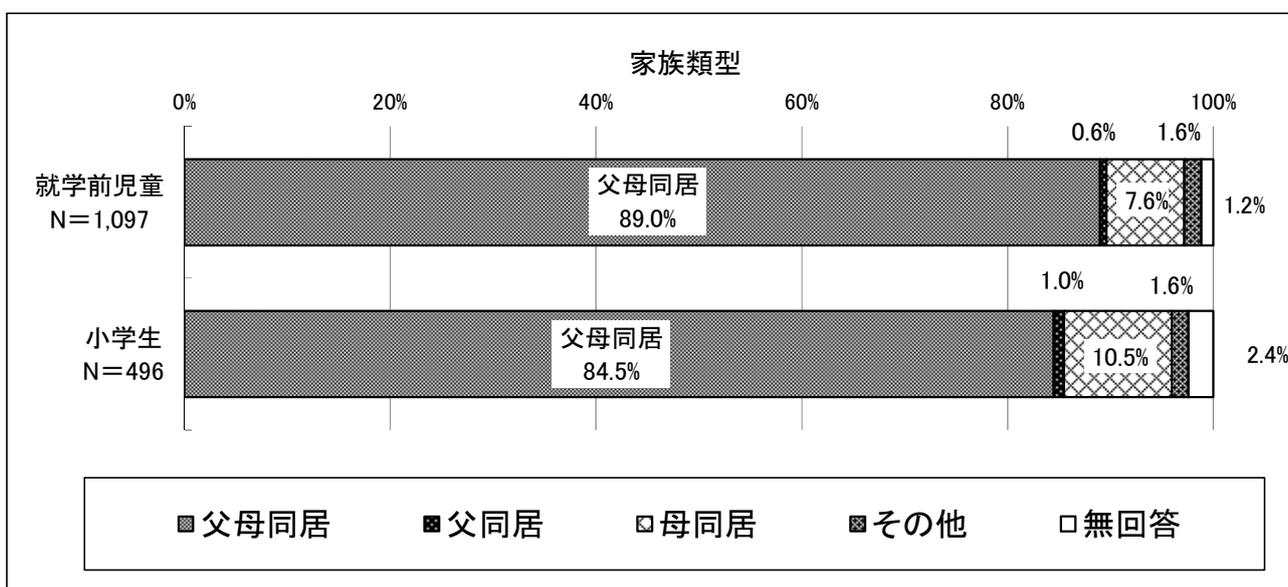
(1) 調査対象となる子どもの年齢と学年



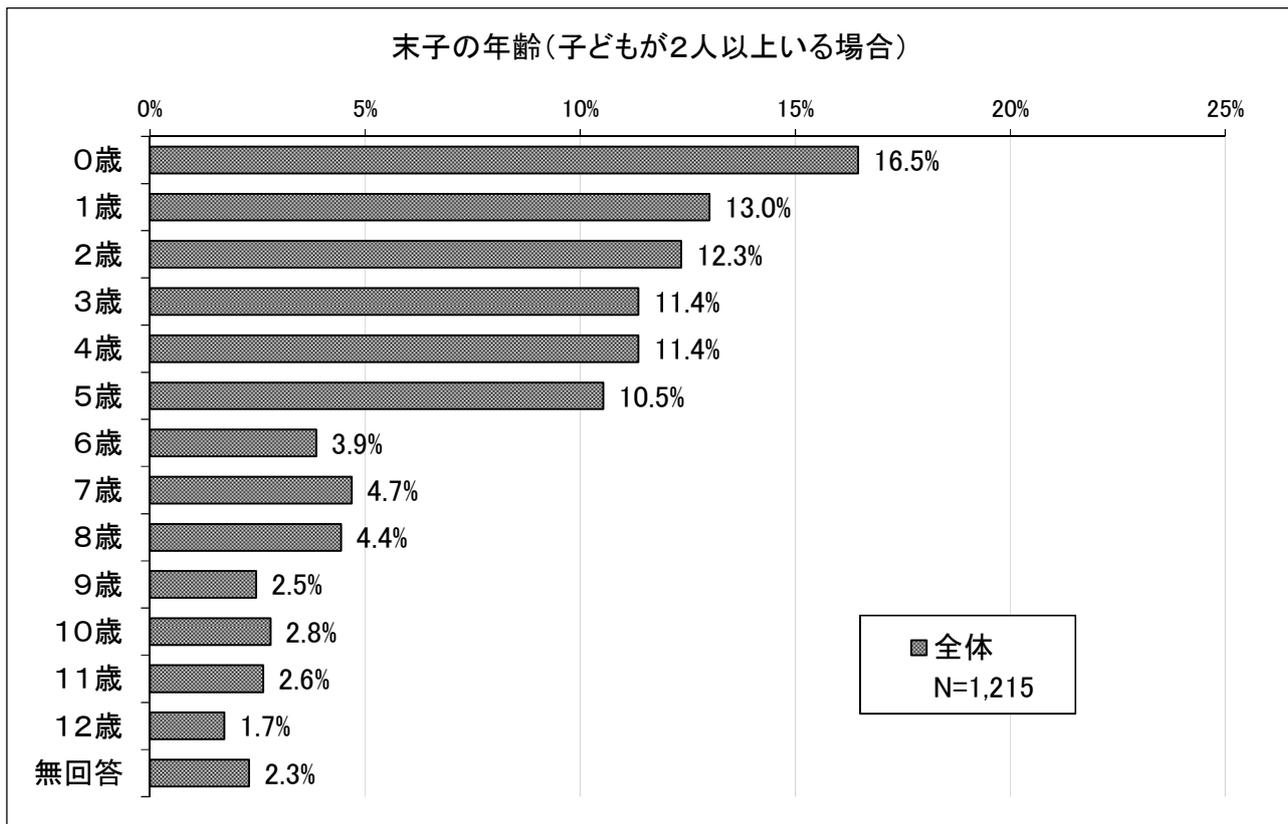
(2) 現在の子どもの数の平均



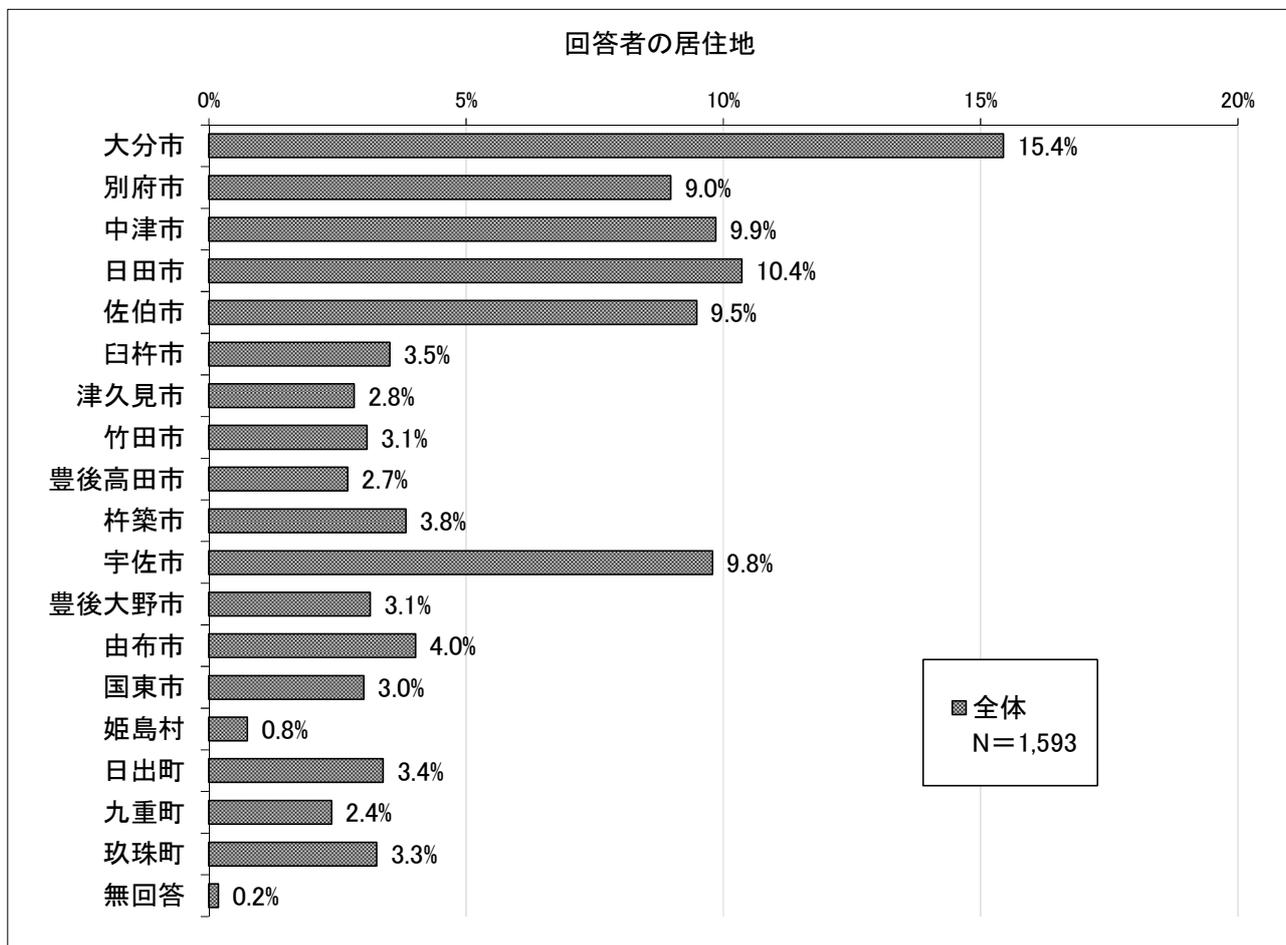
(3) 家族類型



(4) 末子の年齢（子どもが2人以上いる場合）



(5) 回答者の居住地

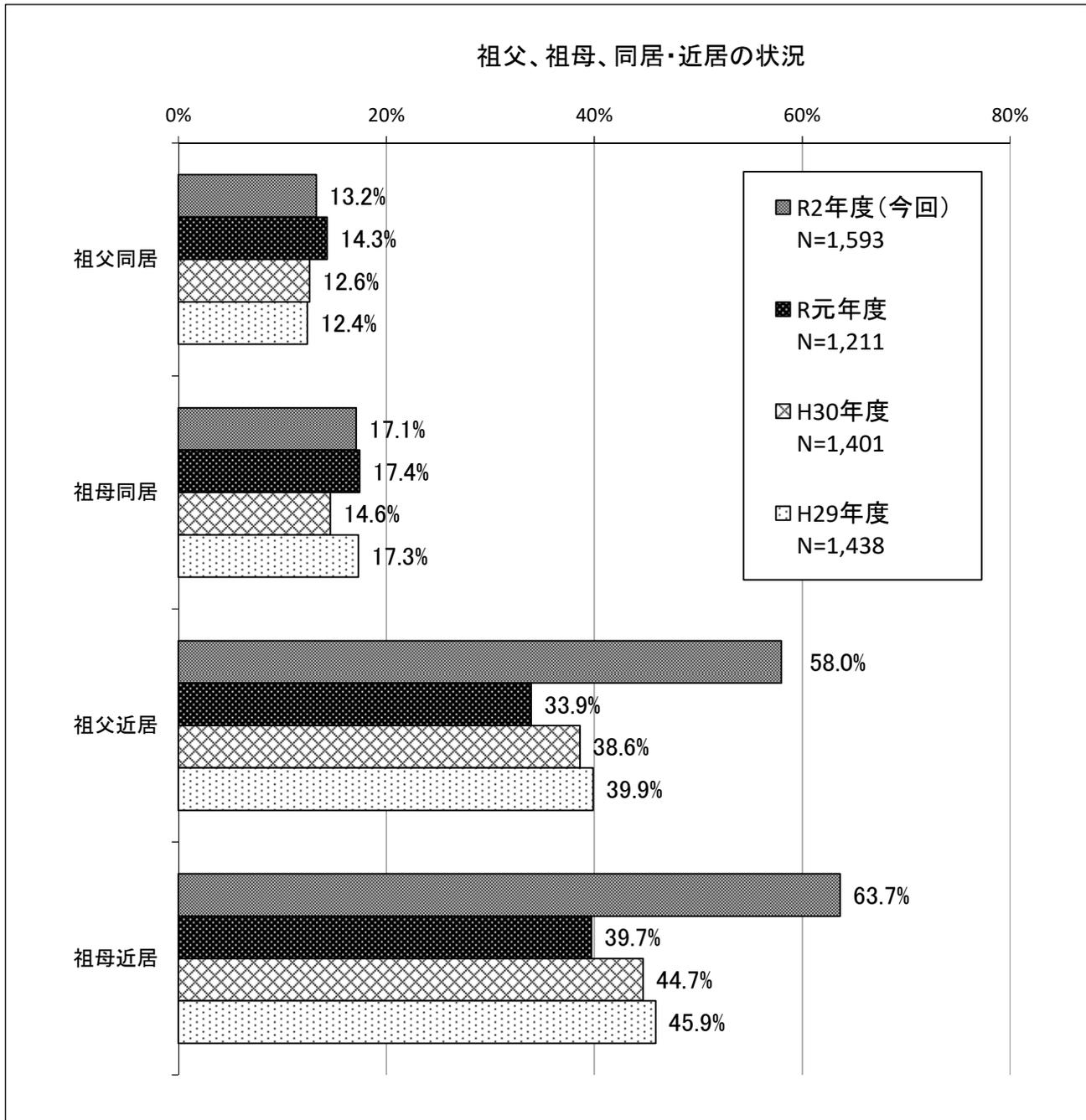


第2章 調査結果

1. 子どもと家族の状況

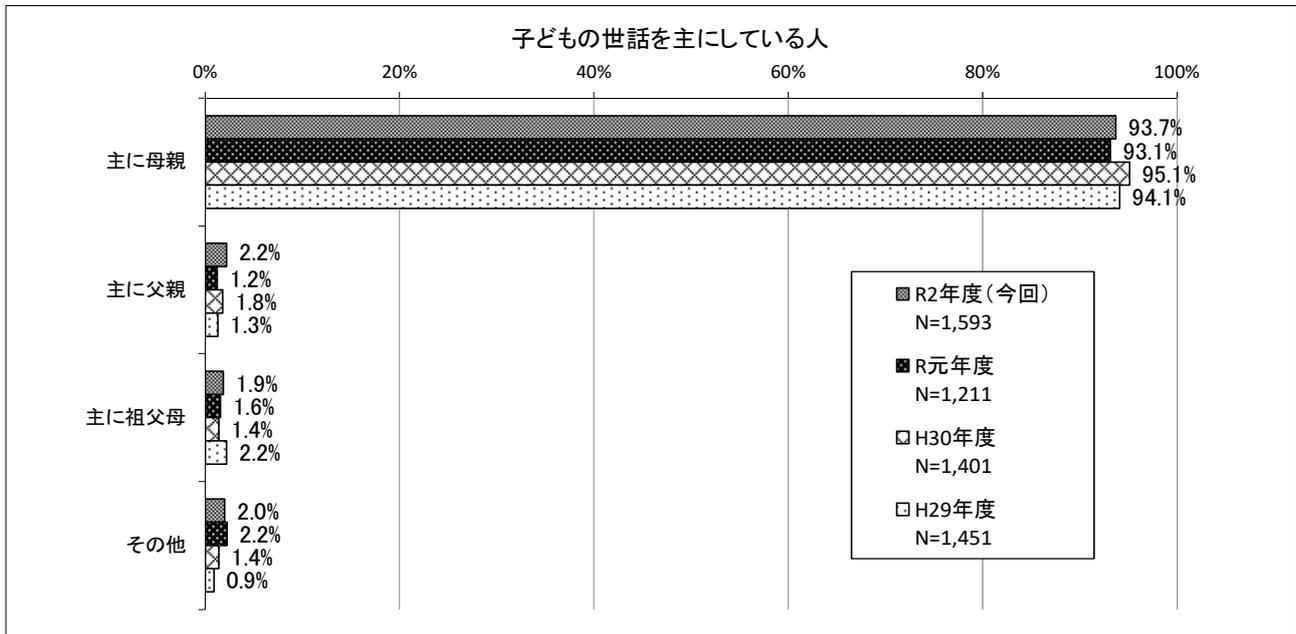
(1) 祖父・祖母の同居・近居の状況：複数回答（問5）

同居状況を見ると、祖父同居は13.2%、祖母同居は17.1%とR元年度よりやや減少していますが、H30年度と比較すると増加しています。また、祖父近居が58.0%、祖母近居が63.7%とともに過半数を占めています。



(2) 子どもの身の回りの世話などを主にしている人（問6）

子どもの身の回りの世話などを主にしている人は、母親が93.7%と、過去の調査とほぼ同様となっています。なお、「その他」には「父母共に」という記述も多く見られました。



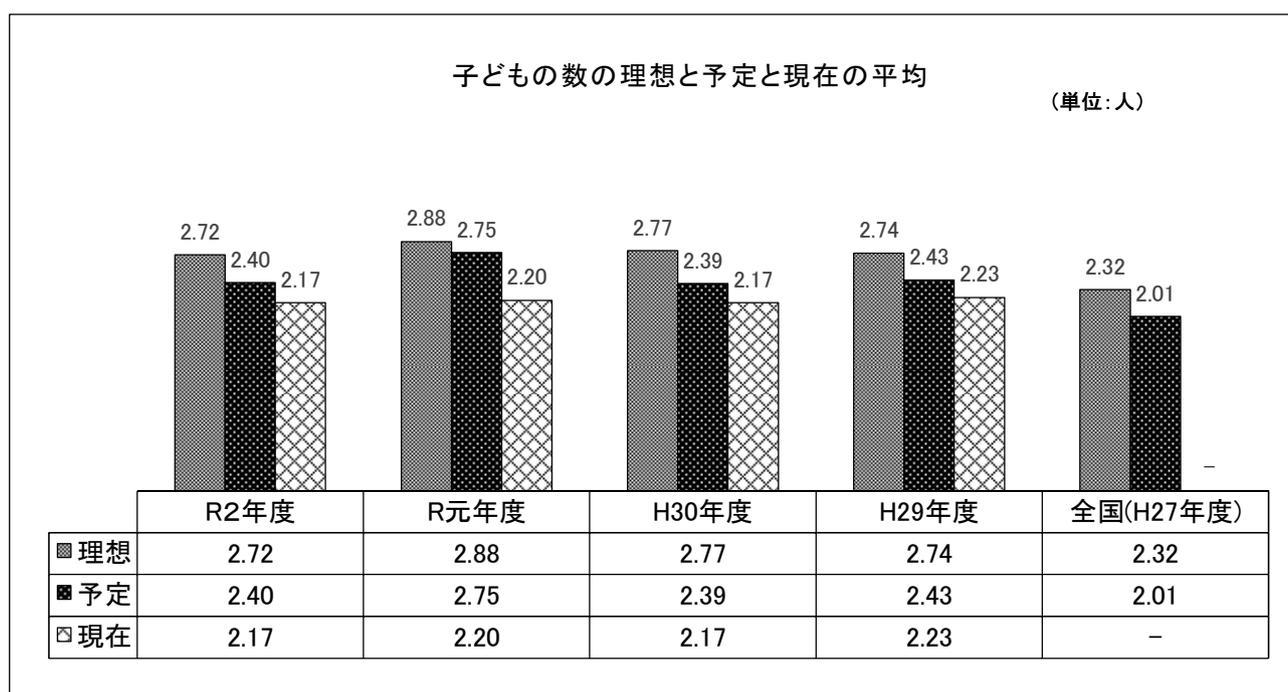
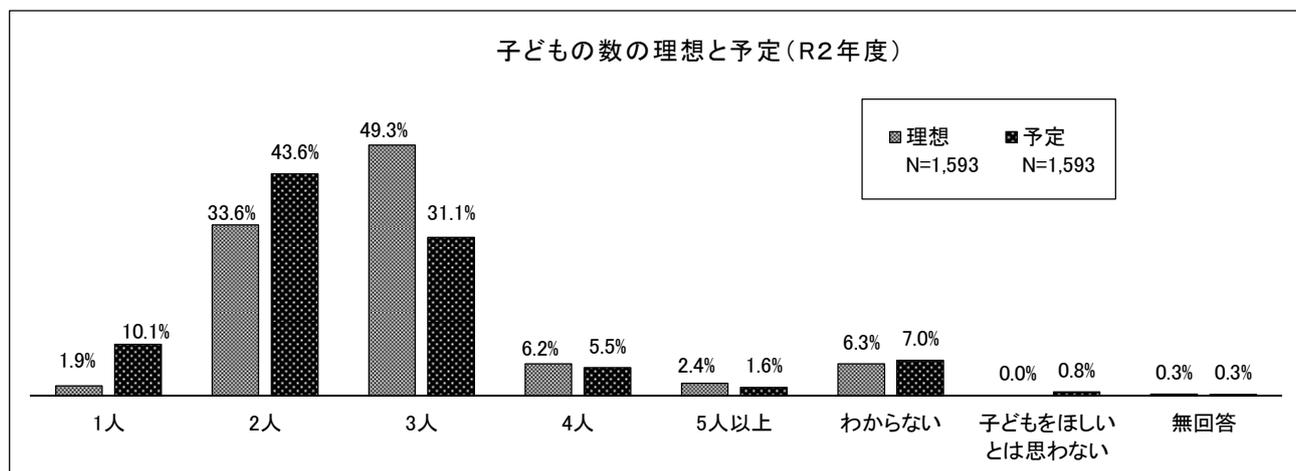
※無回答者数はグラフ内には表示していません。

2. 少子化・子育てに対する意識

(1) 理想とする子どもの数と実際に予定している子どもの数（問7、問8）

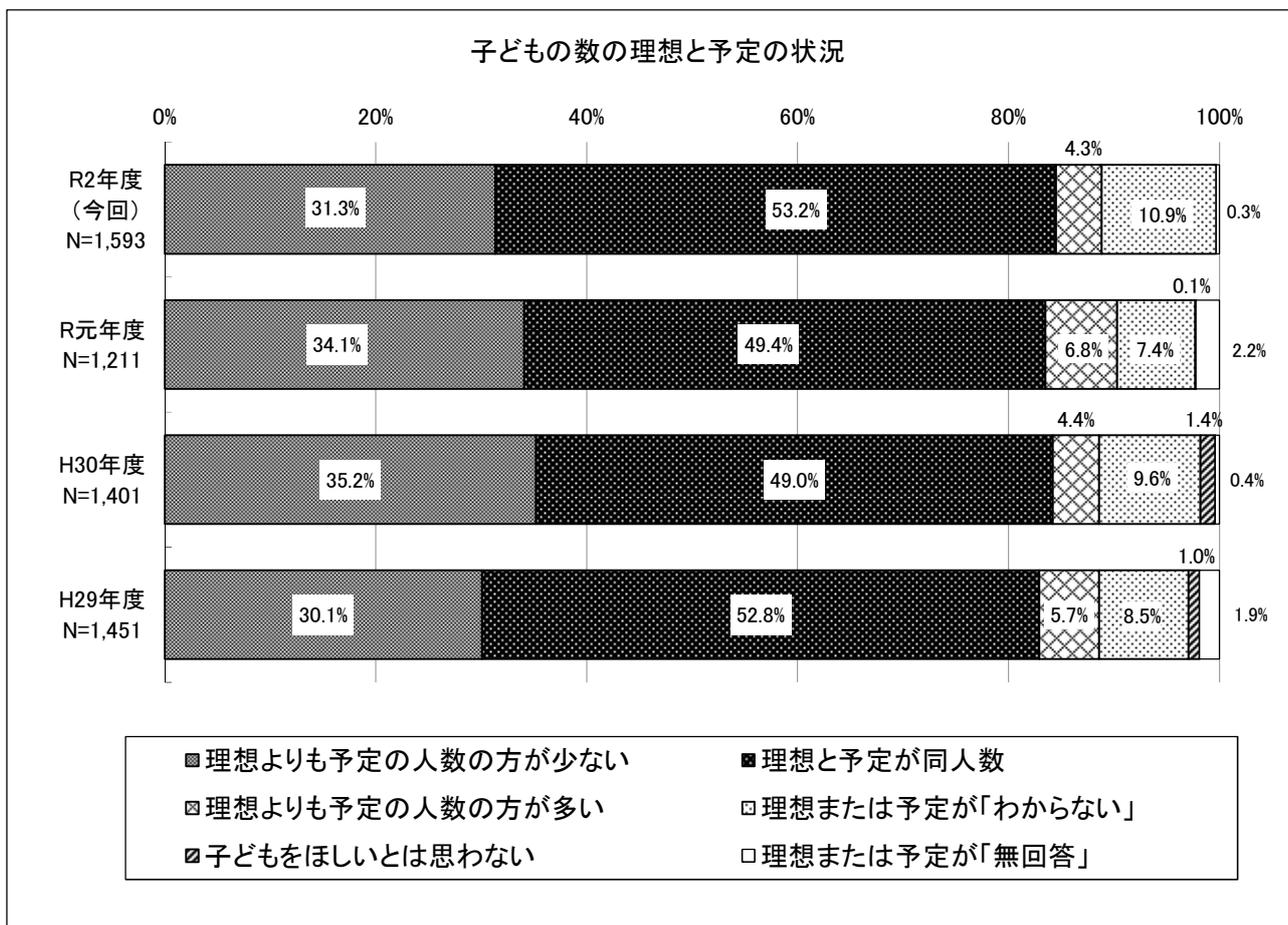
過去の調査同様に、子どもの人数については、理想は3人が、予定は2人が最も多くなっています。

理想の子どもの数の平均は2.72人、予定の平均は2.40人、現在の平均は2.17人となっています。



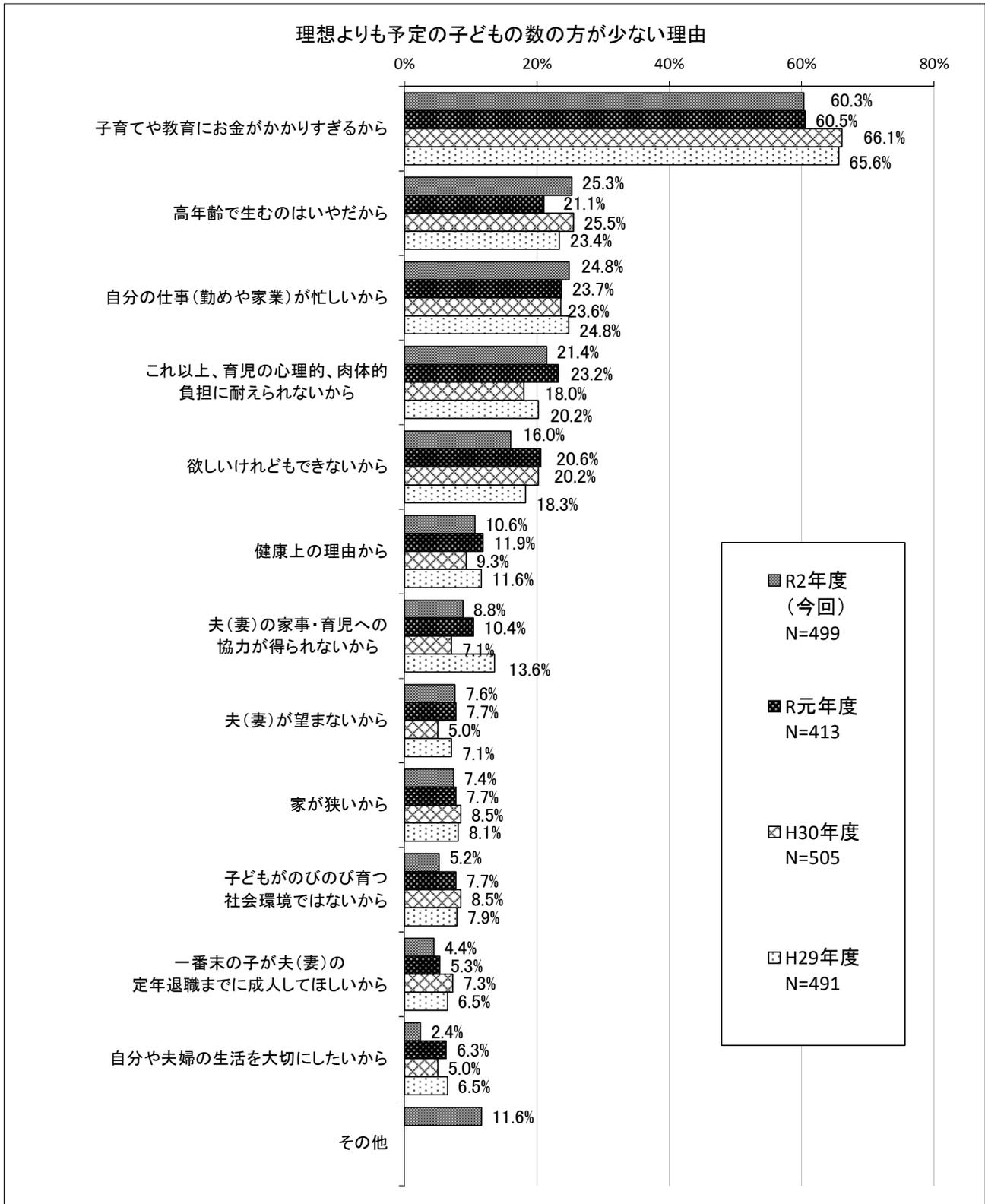
出典：全国は「第15回出生動向基本調査（国立社会保障・人口問題研究所）」2015年より抜粋

子どもの数について、過去の調査同様に「理想と予定が同人数」53.2%が最も多く、次いで「理想よりも予定の人数の方が少ない」31.3%となっています。



(2) 理想よりも予定の子どもの数の方が少ない理由：複数回答（問9）

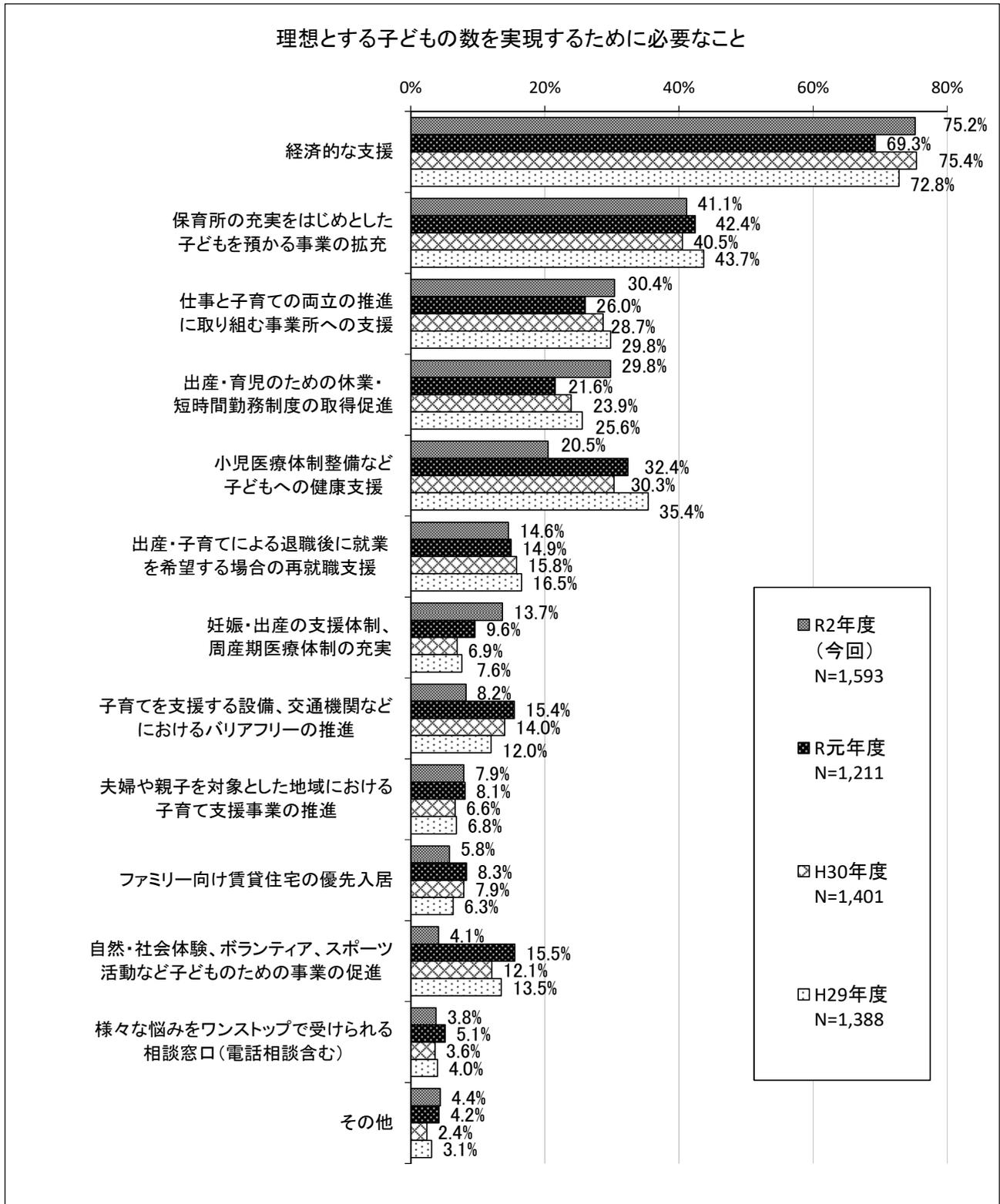
子どもの数が理想よりも予定の方が少ない理由は、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が60.3%と最も多く、次いで「高年齢で生むのはいやだから」25.3%、「自分の仕事(勤めや家業)が忙しいから」24.8%、「これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」21.4%となっています。



※無回答者数はグラフ内には表示していません。

(3) 理想とする子どもの数を実現するために必要なこと：複数回答（問10）

「経済的な支援」が75.2%と最も多く、次いで「保育所の充実をはじめとした子どもを預かる事業の拡充」41.1%、「仕事と子育ての両立の推進に取り組む事業所への支援」が30.4%、「出産・育児のための休業・短時間勤務制度の取得促進」29.8%と続いています。



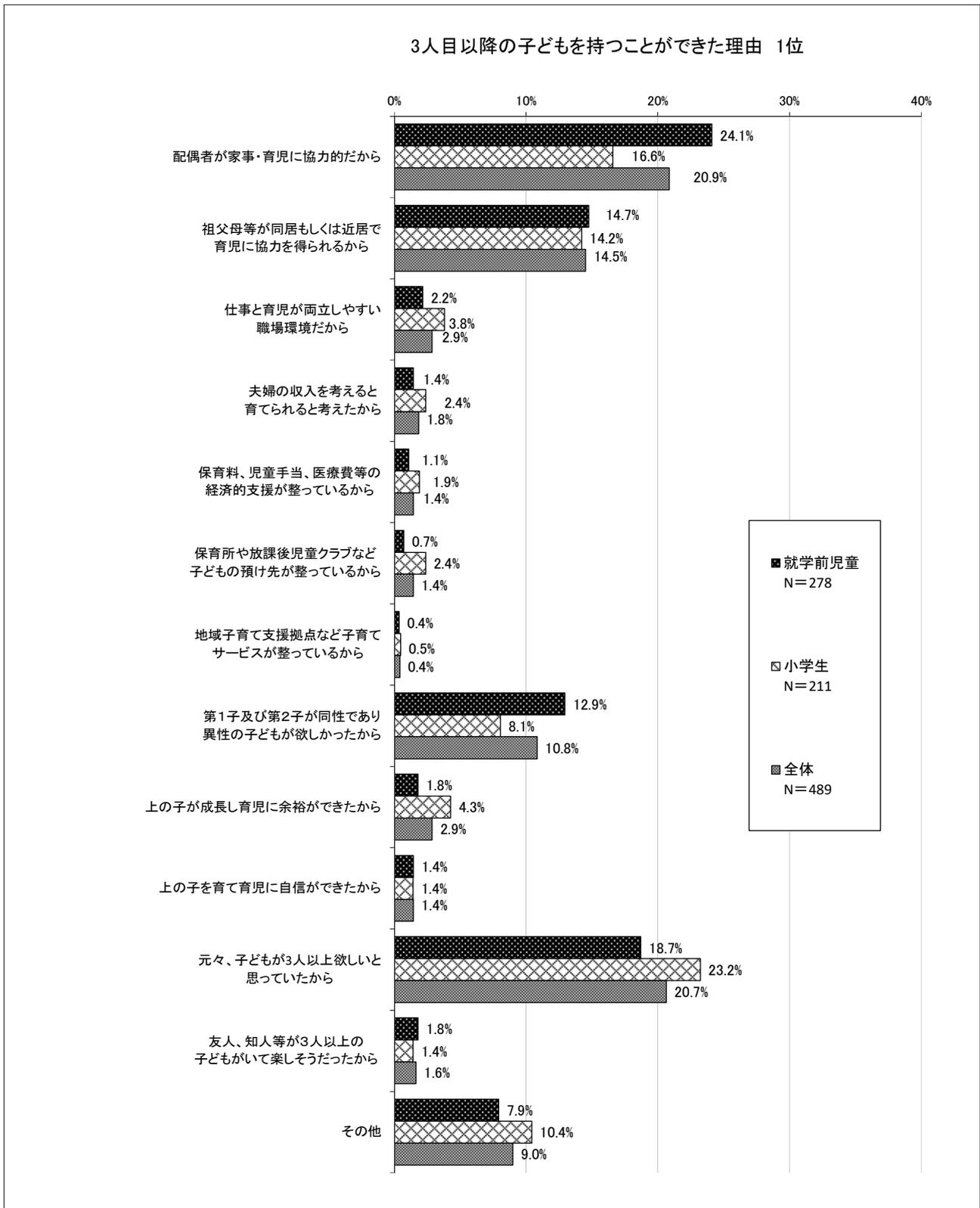
※無回答者数はグラフ内には表示していません。

※R元年度以前は、「あなたが、子ども・子育て支援において重要であると考えるものはどれですか」という質問で回答を得ていました。

【新設】

(4) 3人目以降の子どもを持つことができた理由：第1位（問11）

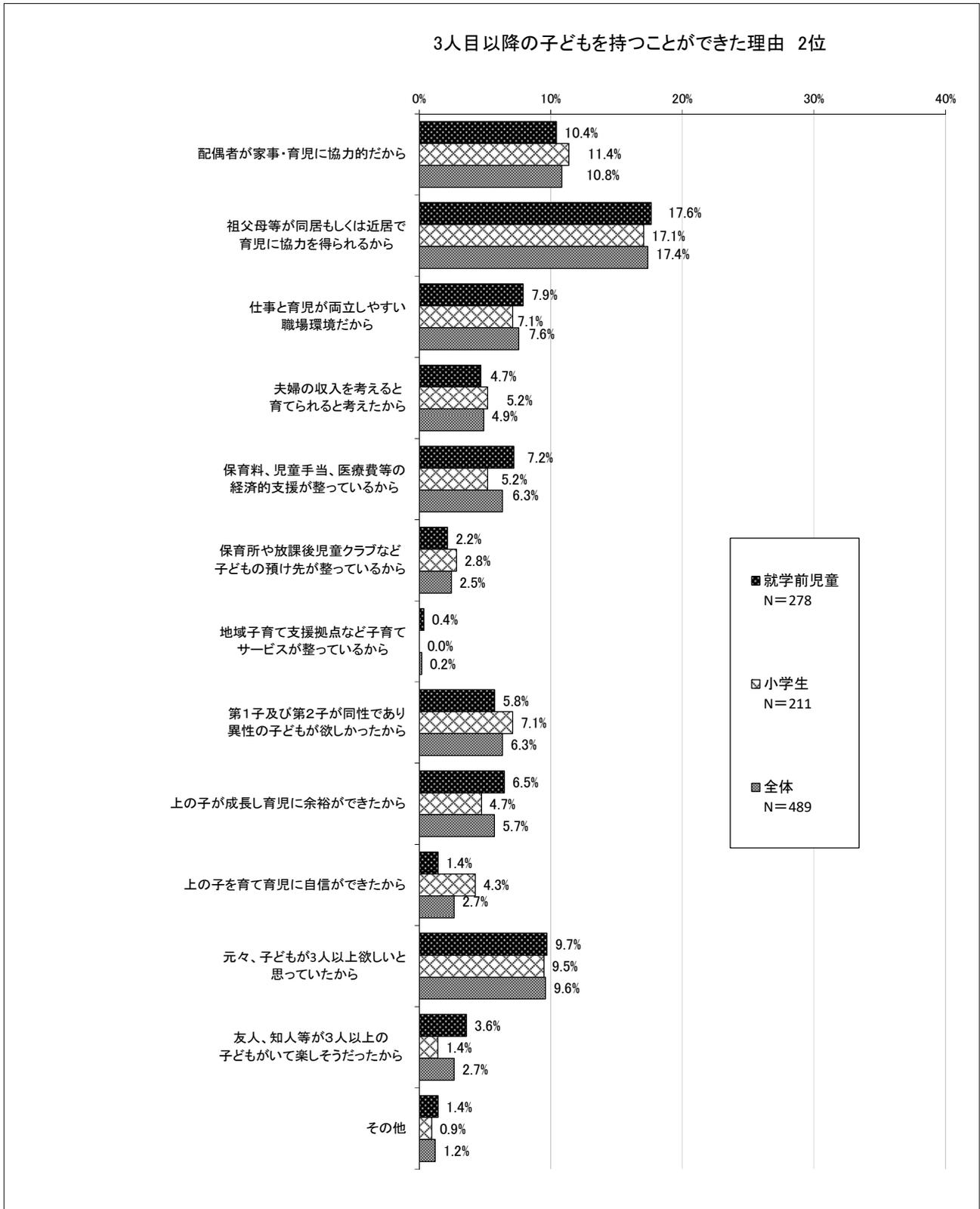
「配偶者が家事・育児に協力的だから」20.9%、「元々、子どもが3人以上欲しいと思っていたから」20.7%、「祖父母等が同居もしくは近居で育児に協力を得られるから」14.5%、「第1子及び第2子が同性であり異性の子どもが欲しかったから」10.8%が、主な理由としてあげられています。



※無回答者数はグラフ内には表示していません。

(4) 3人目以降の子どもを持つことができた理由：第2位（問11）

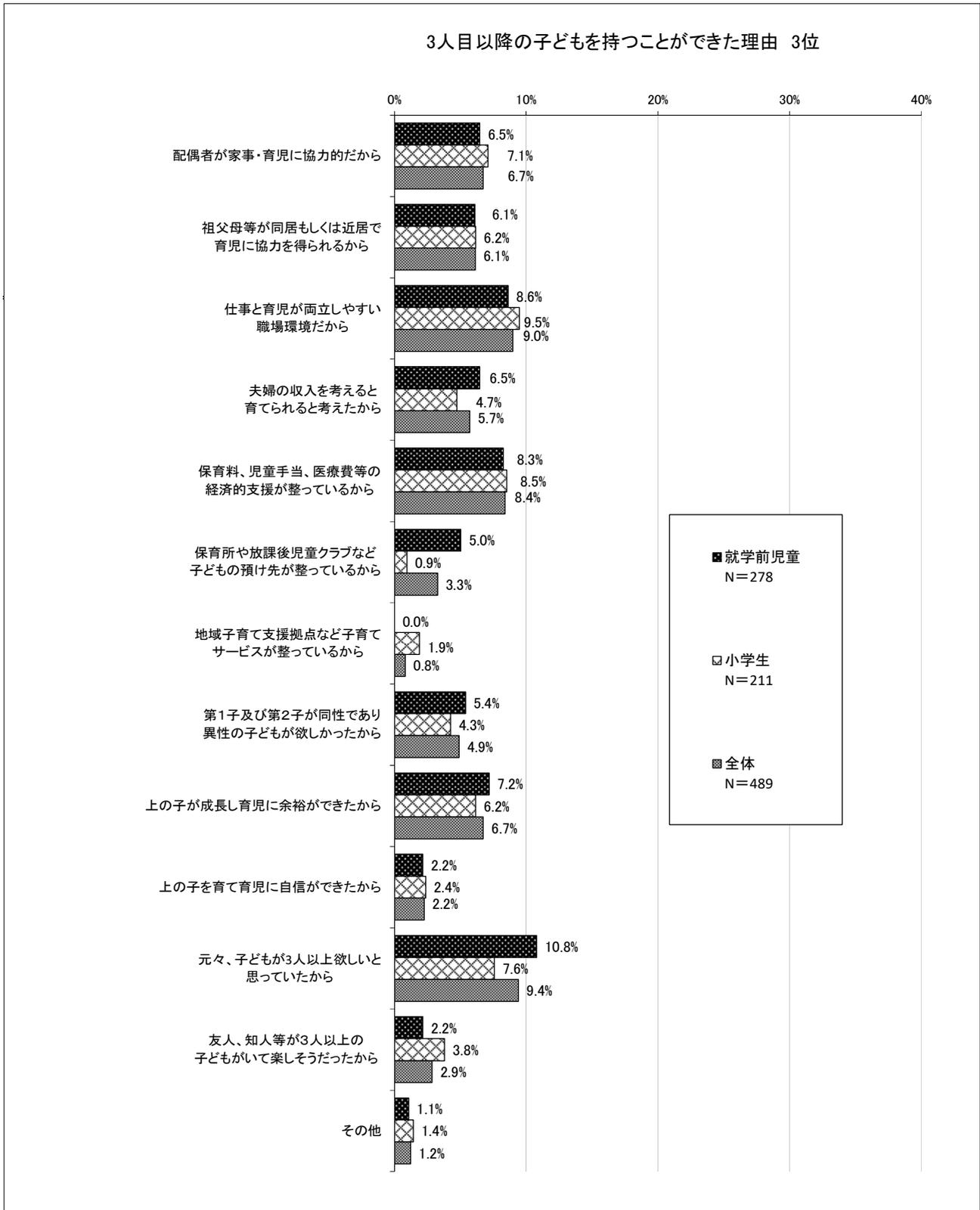
第1位の理由に比べて、主な理由の差はなくなっていますが、第2位の理由としては「祖父母等が同居もしくは近居で育児に協力を得られるから」が17.4%で一番にあげられています。



※無回答者数はグラフ内には表示していません。

(4) 3人目以降の子どもを持つことができた理由：第3位（問11）

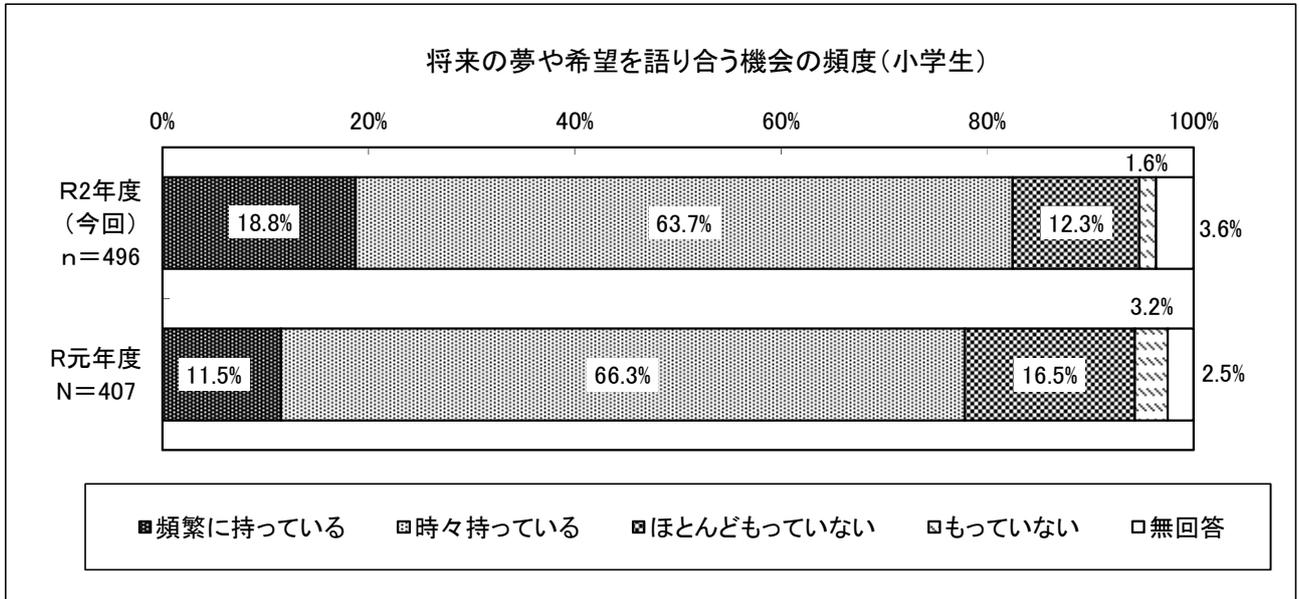
第3位の理由は、どの項目も10%以下の回答が多く大きな差はみられなくなっています。



※無回答者数はグラフ内には表示していません。

(5) 子どもと将来の夢や希望について語り合う機会の頻度 (小学生・問12)

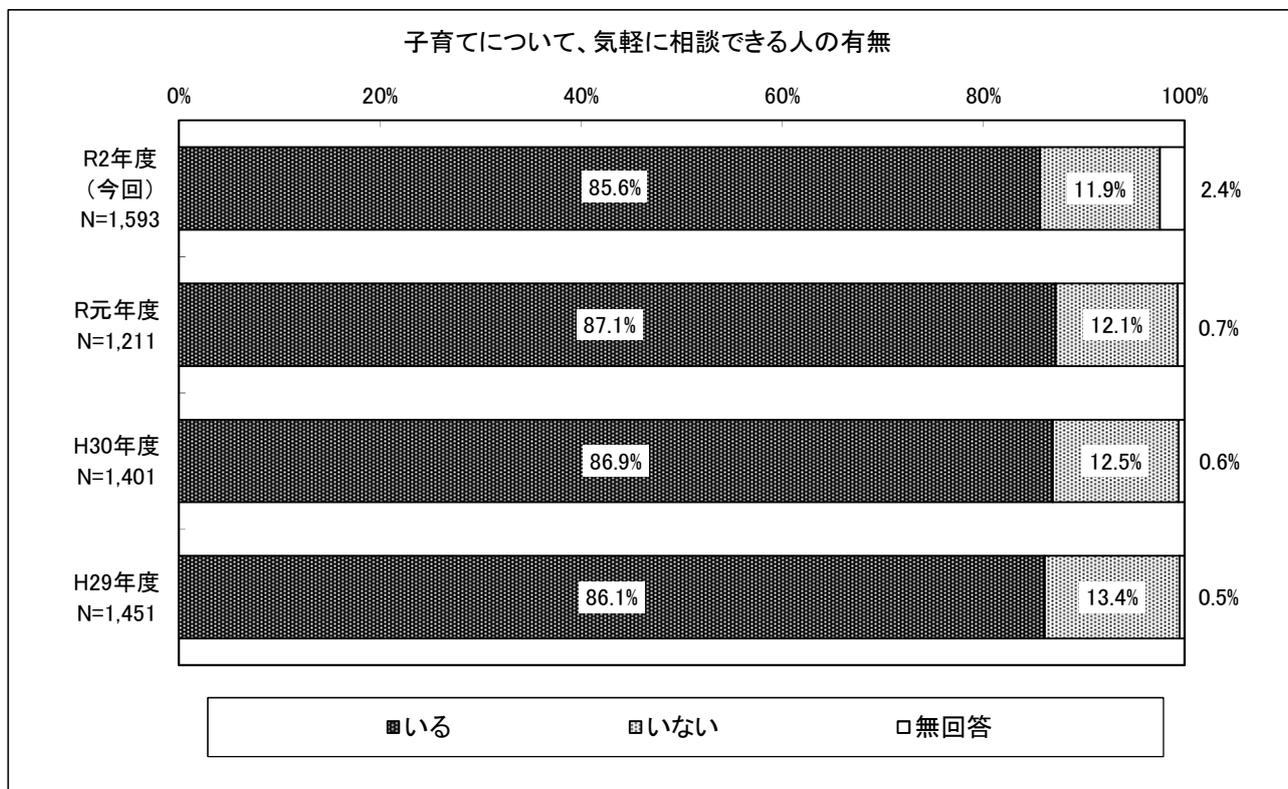
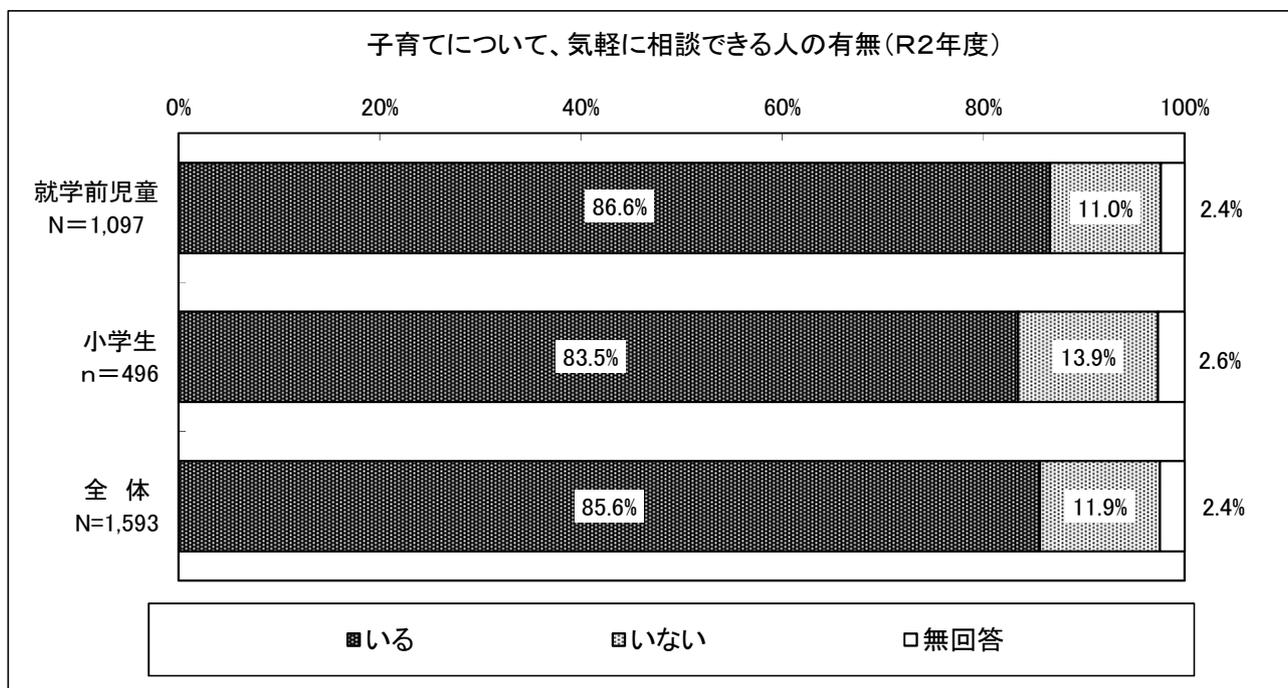
子どもと将来の夢や希望について語り合う機会を意識して持っている人（「頻繁に持っている」＋「時々持っている」）は82.5%とR元年度に比べて増加しています。一方、「ほとんどもっていない」は12.3%、「もっていない」は1.6%となっています。



3. 子育てについての不安・悩み・地域の人とのかかわり

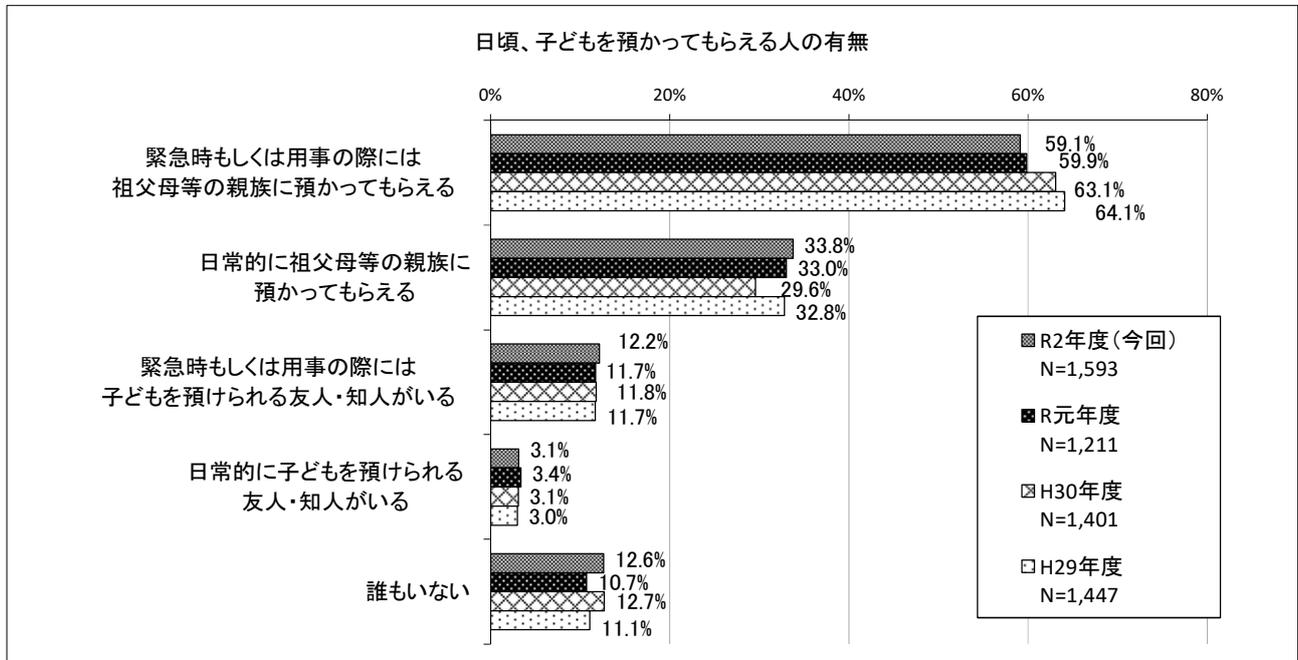
(1) 子育てについて、気軽に相談できる人の有無（就学前児童・問12、小学生・問13）

過去の調査同様に、1割を超える人は、「気軽に相談できる近所の人や友人がいない」と回答しています。



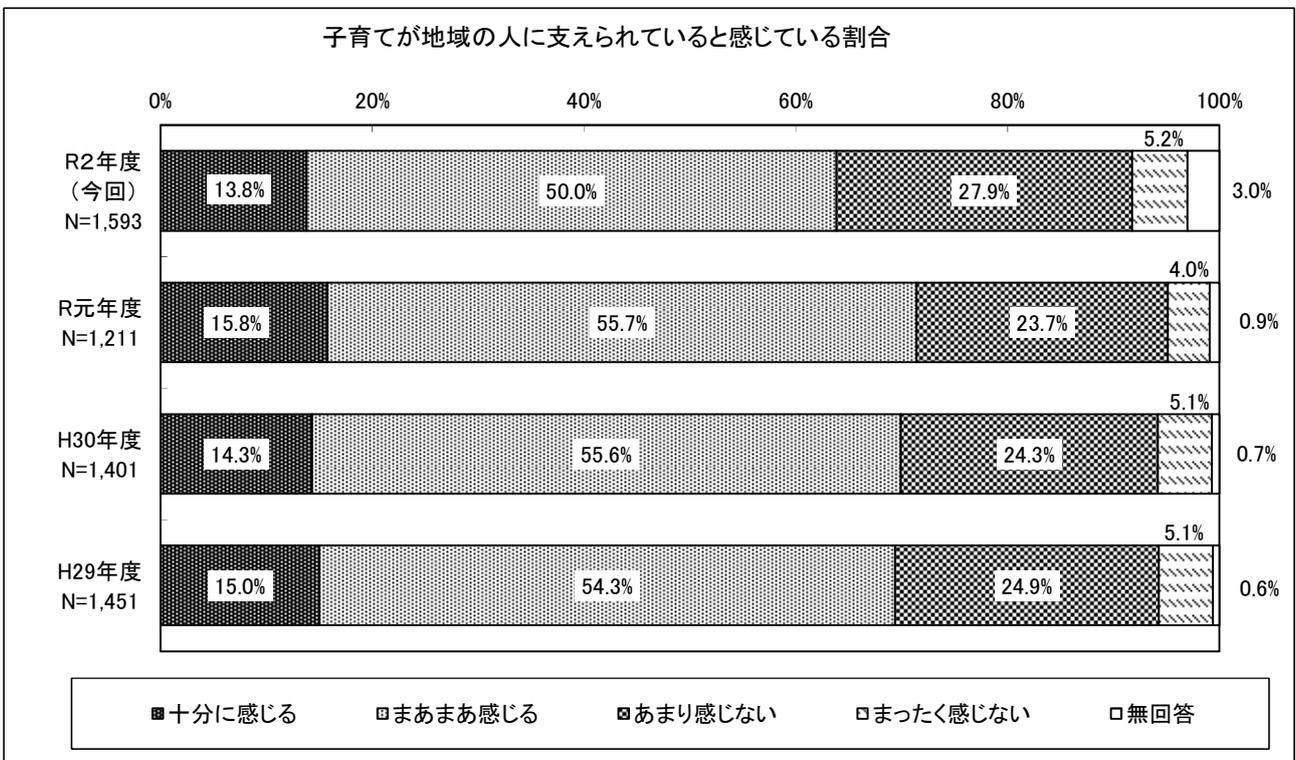
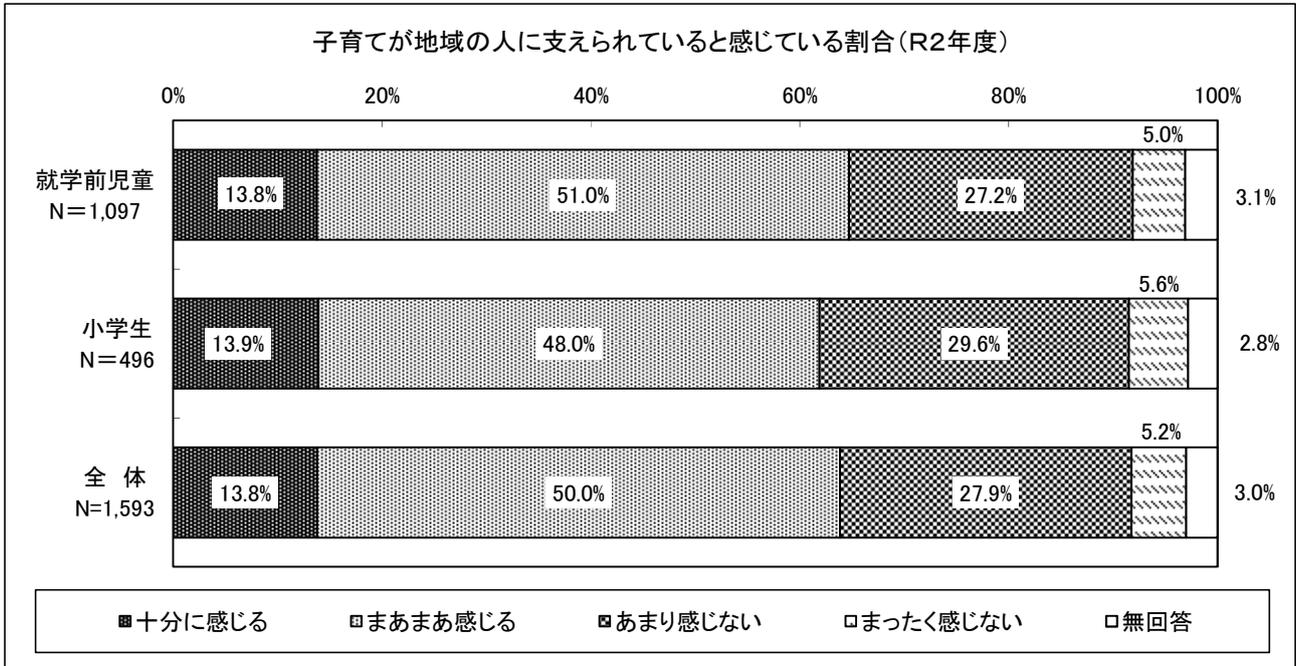
(2) 日頃、子どもを預かってもらえる人の有無：複数回答（就学前児童・問13、小学生・問14）

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」人は 59.1%、「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」人は 33.8%、「誰もいない」人は 12.6%となっています。「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」人の割合は年々減少しています。



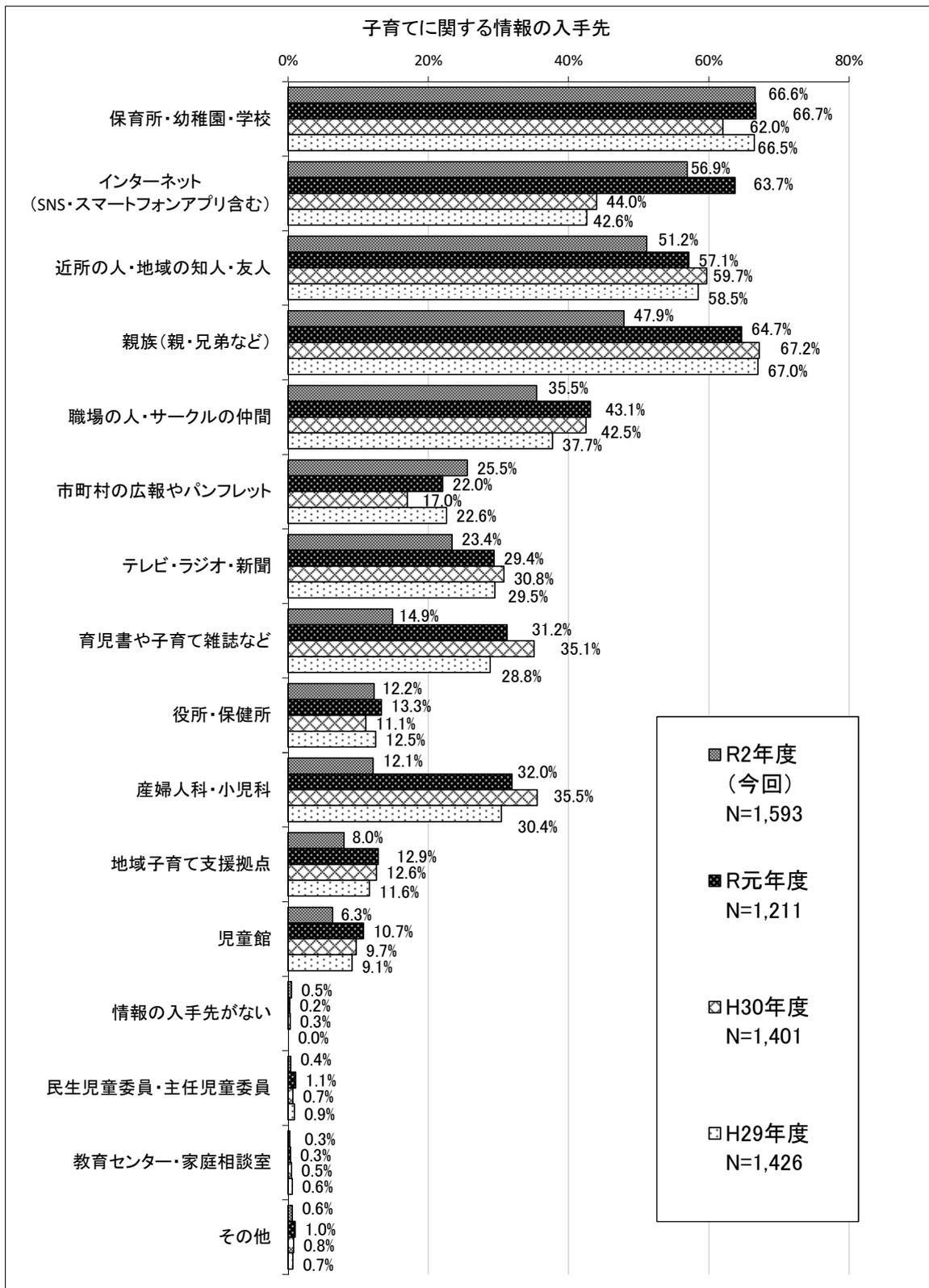
(3) 子育てが地域の人に支えられていると感じている割合（就学前児童・問14、小学生・問15）

子育てが地域の人に（または職場や社会の中で）支えられていると感じている（「十分に感じる」＋「まあまあ感じる」）と回答した人は 63.8%で、過去の調査と比較すると減少しています。感じていない（「あまり感じない」＋「まったく感じない」）と回答した人は 33.1%で、過去の調査より増加しています。



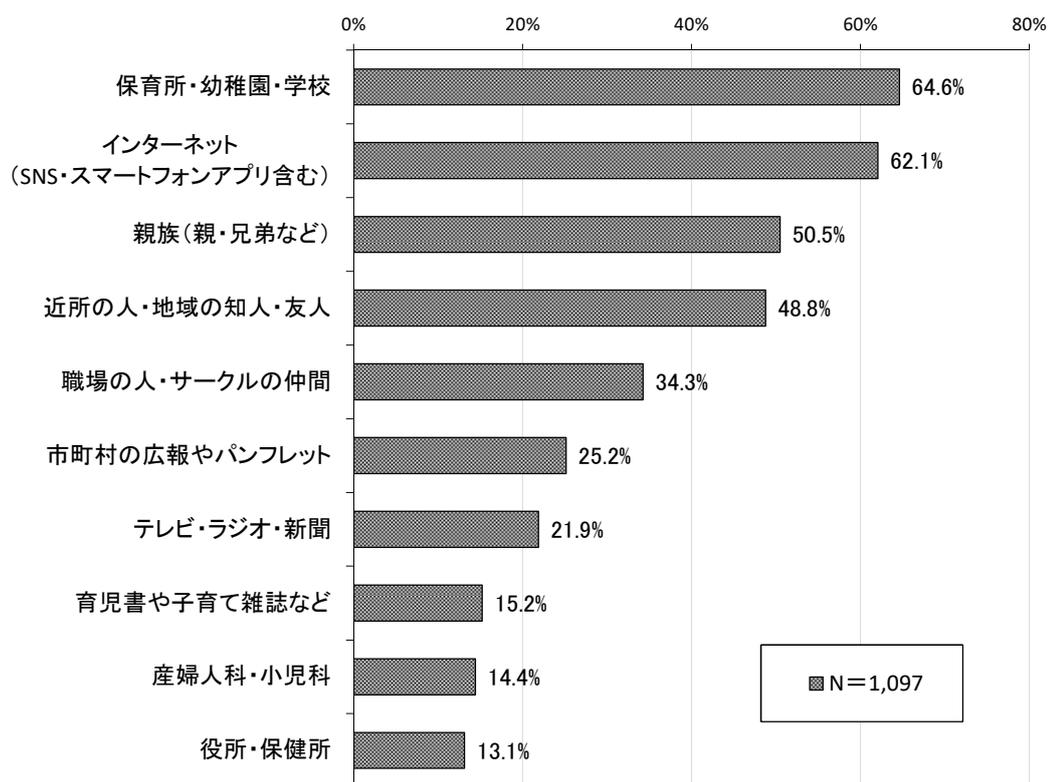
(4) 子育てに関する情報の入手先：複数回答（就学前児童・問15、小学生・問16）

最大の情報源は、「保育所・幼稚園・学校」が66.6%、次いで「インターネット（SNS・スマートフォンアプリ含む）」が56.9%の順となっています。

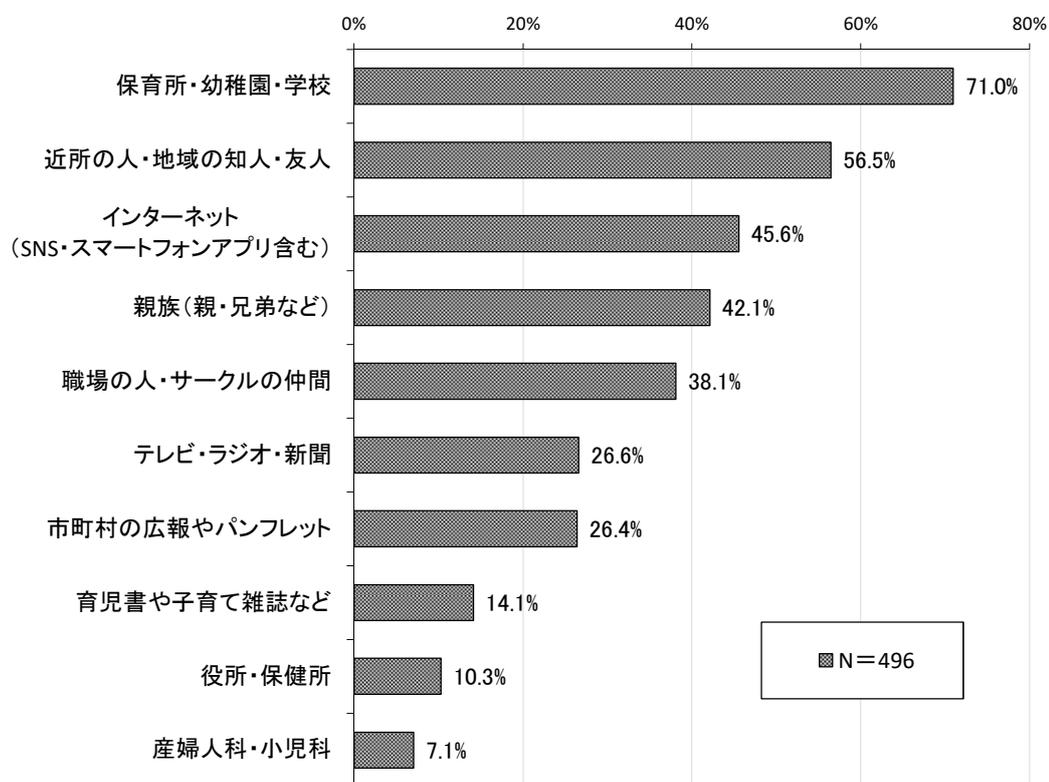


※無回答者数はグラフ内には表示していません。

【上位10項目】子育てに関する情報の入手先(就学前児童・R2年度)



【上位10項目】子育てに関する情報の入手先(小学生・R2年度)



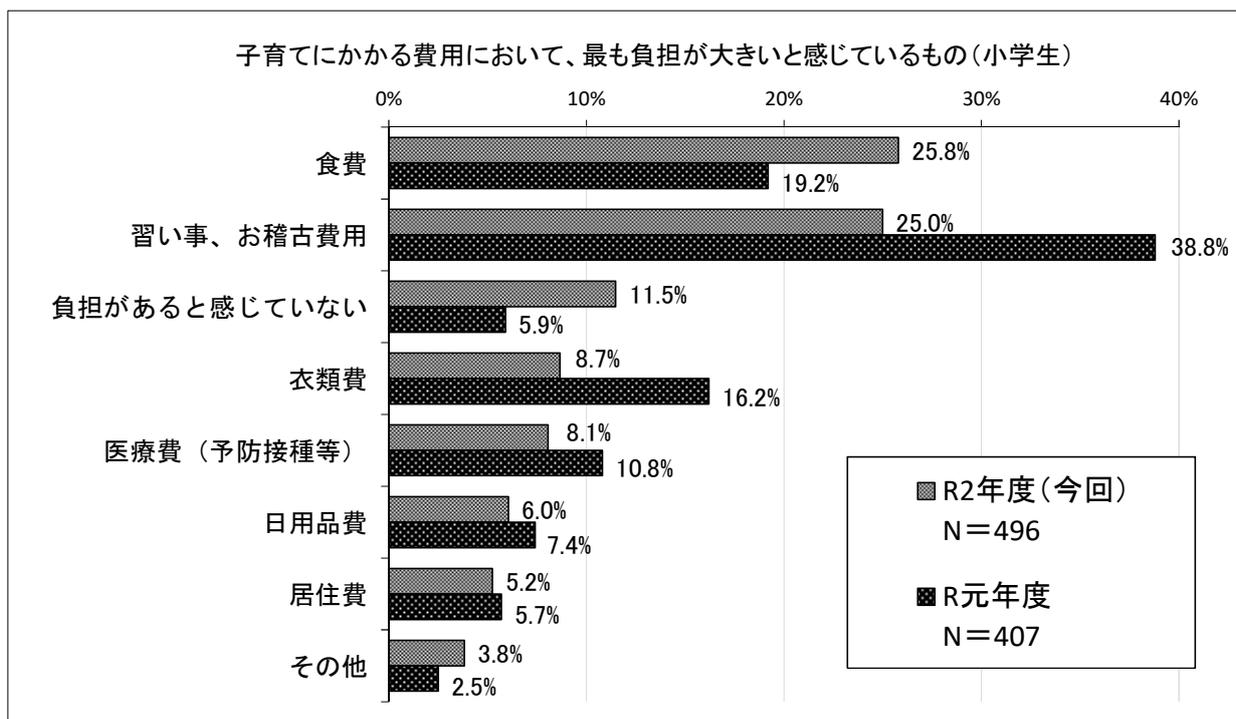
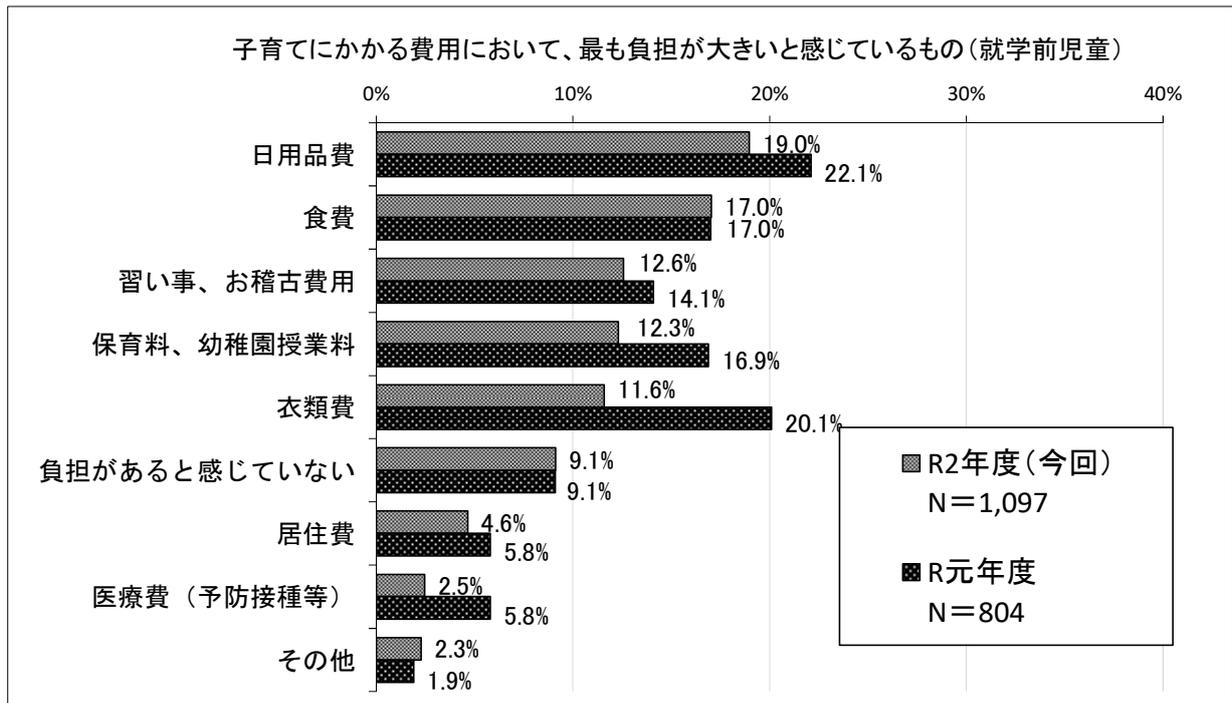
(5) 子育てにかかる費用において、最も負担が大きいと感じているもの

(就学前児童・問16、小学生・問17)

就学前児童で負担が大きいと感じているものは、「日用品費」19.0%、次いで「食費」17.0%、「習い事、お稽古費用」12.6%の順となっています。R元年度と比べると「食費」は変わりありませんが、他の項目は減少しています。特に「衣料費」は8.5ポイント減少しています。

小学生では、「食費」が25.8%と最も高く、次が「習い事、お稽古費用」の25.0%となっています。「習い事、お稽古費用」はR元年度から大幅（13.8ポイント）に減少しています。

なお、「その他」の中には、「将来の教育費」という記載も数件みられました。

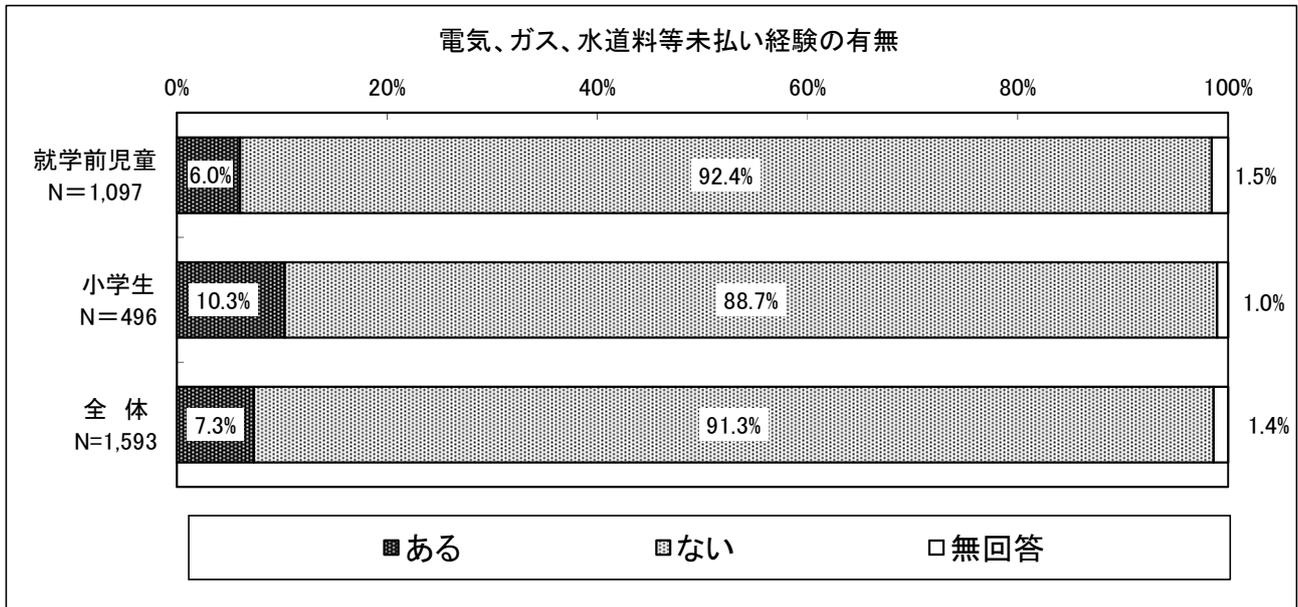


※無回答者数はグラフ内には表示していません。

【新設】

(6) 電気、ガス、水道料等の未払い経験の有無（就学前児童・問17、小学生・問18）

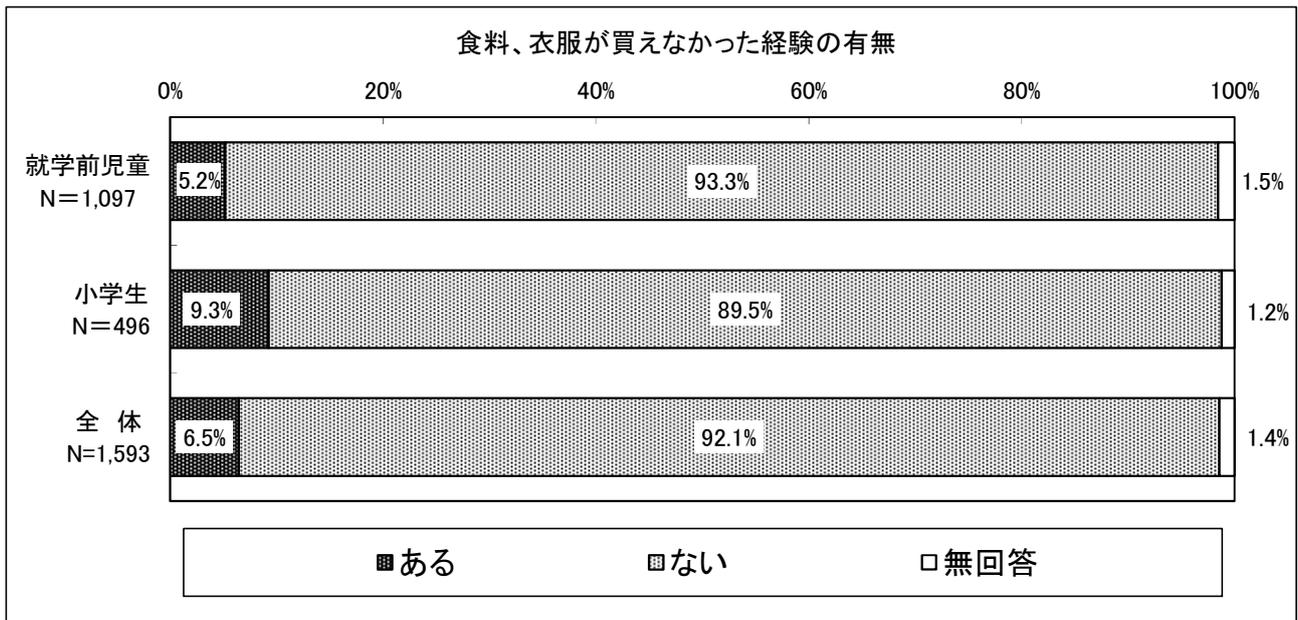
お子さんが生まれてからこれまでに電気、ガス、水道料等の未払い経験が「ある」と回答した人は7.3%となっています。



【新設】

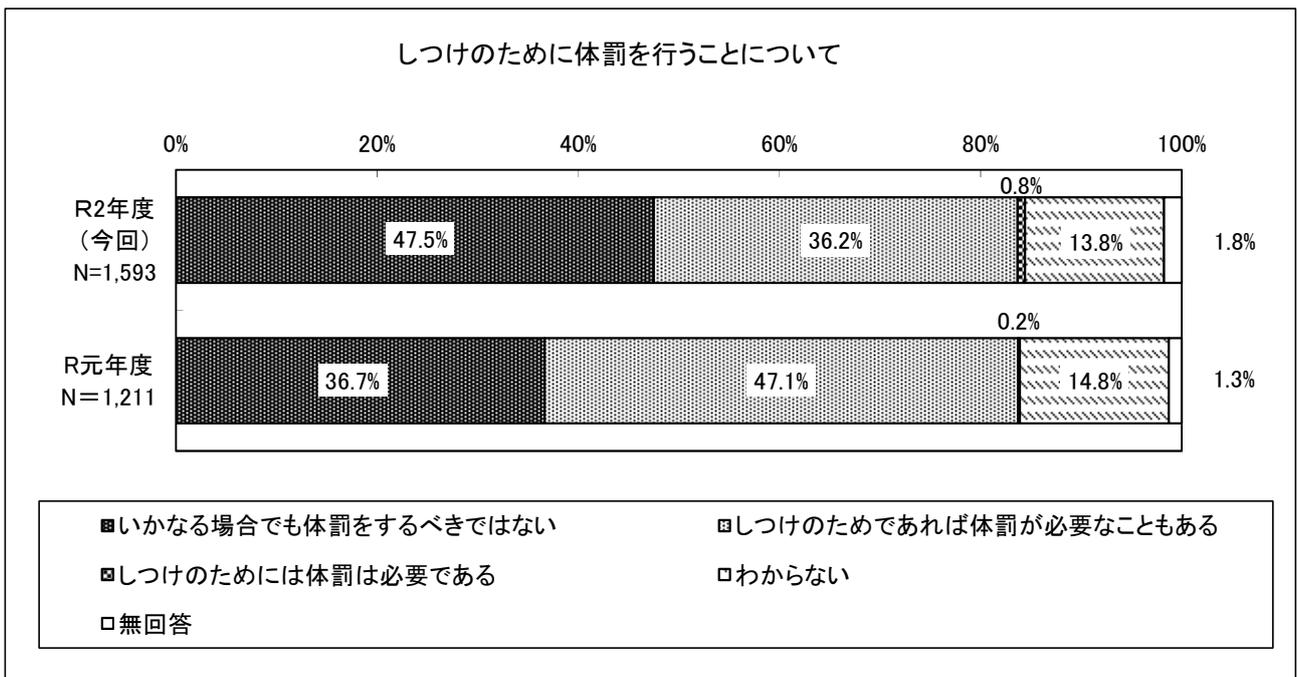
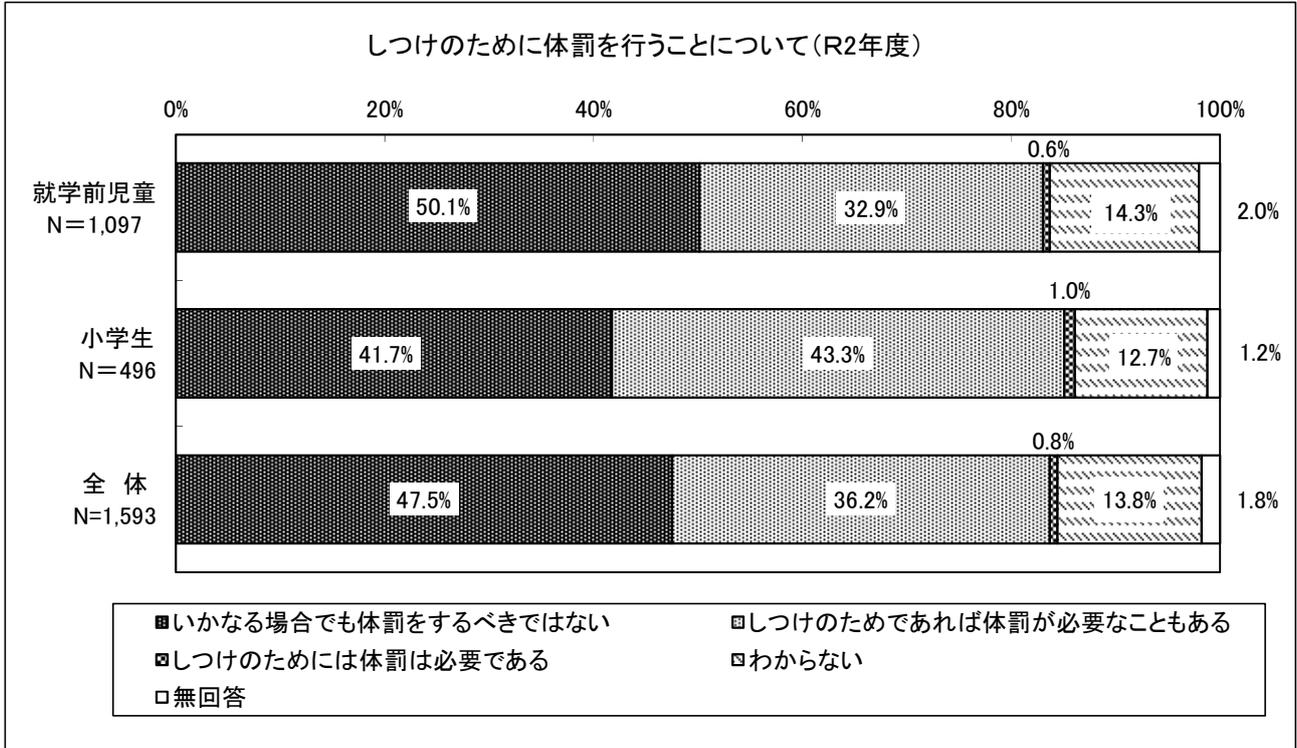
(7) 食料または衣服が買えなかった経験の有無（就学前児童・問18、小学生・問19）

お子さんが生まれてからこれまでに必要な食料または衣服が買えなかったことが「ある」と回答した人は6.5%となっています。



(8) しつけのために体罰を行うことについて (就学前児童・問 19、小学生・問 20)

しつけのために体罰を行うことについては、「いかなる場合でも体罰をするべきではない」が 47.5%、「しつけのためであれば体罰が必要なこともある」が 36.2%となっています。R 元年度と比べると「いかなる場合でも体罰をするべきではない」は 10.8 ポイント増加しています。

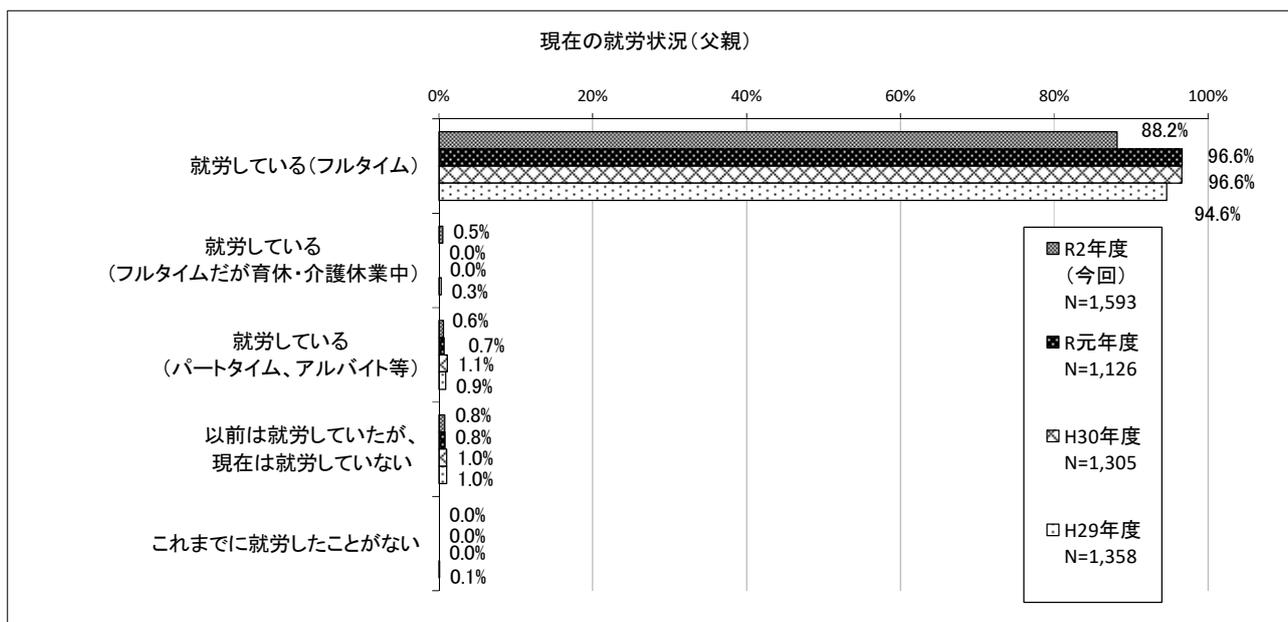


4. 子育てと仕事の両立

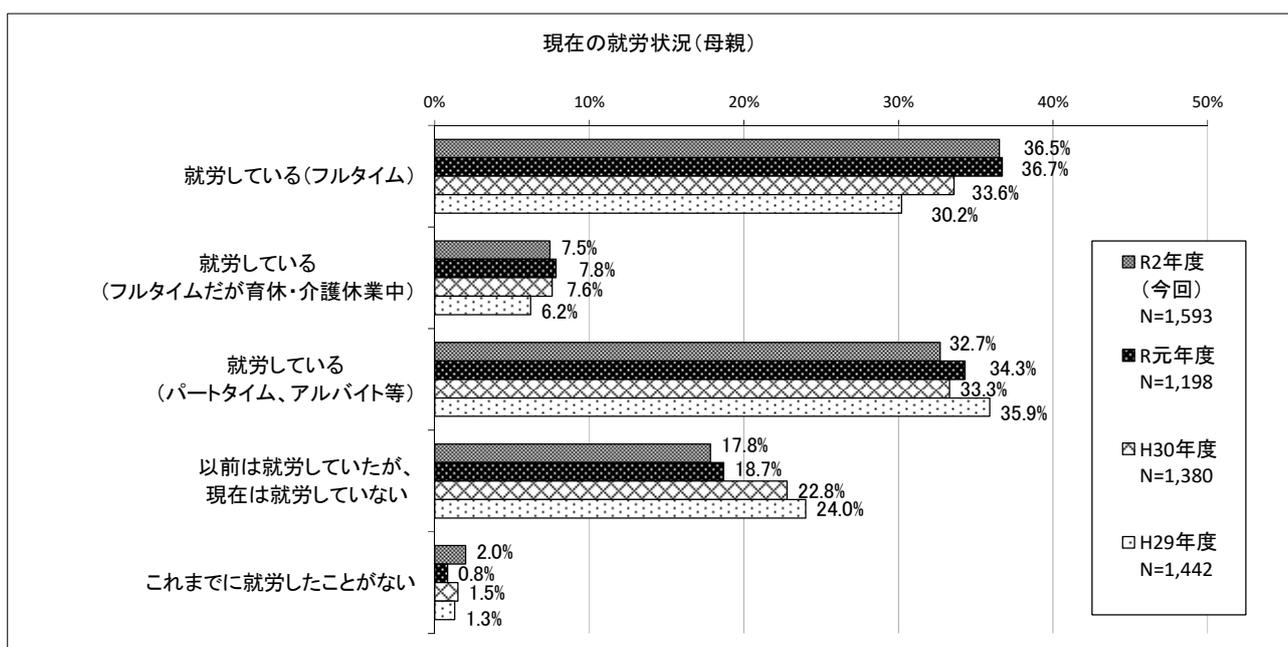
(1) 現在の就労状況（就学前児童・問20、小学生・問21）

父親は「就労している（フルタイム）」が88.2%を占めていますが、R元年度に比べて8.4ポイント減少しています。

母親の就労状況は「就労している（フルタイム）」36.5%、「就労している（パートタイム、アルバイト等）」は32.7%となっています。「以前は就労していたが、現在は就労していない」は4年連続で減少傾向となっています。



※「該当なし」、「無回答」は表示していません。

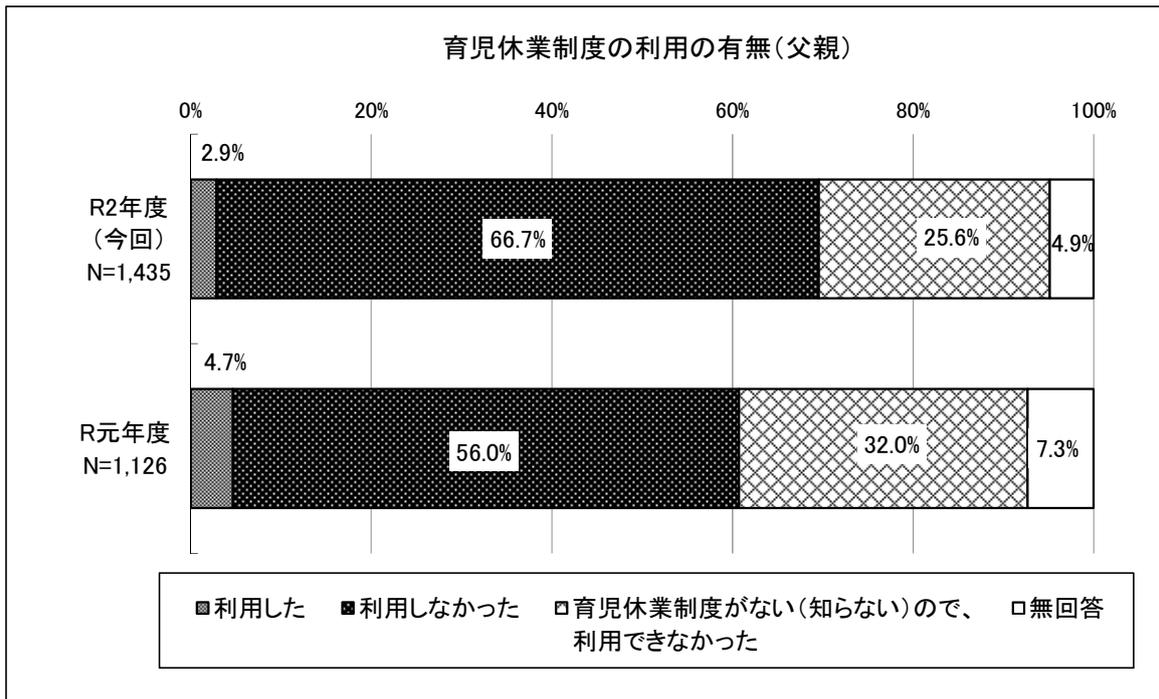
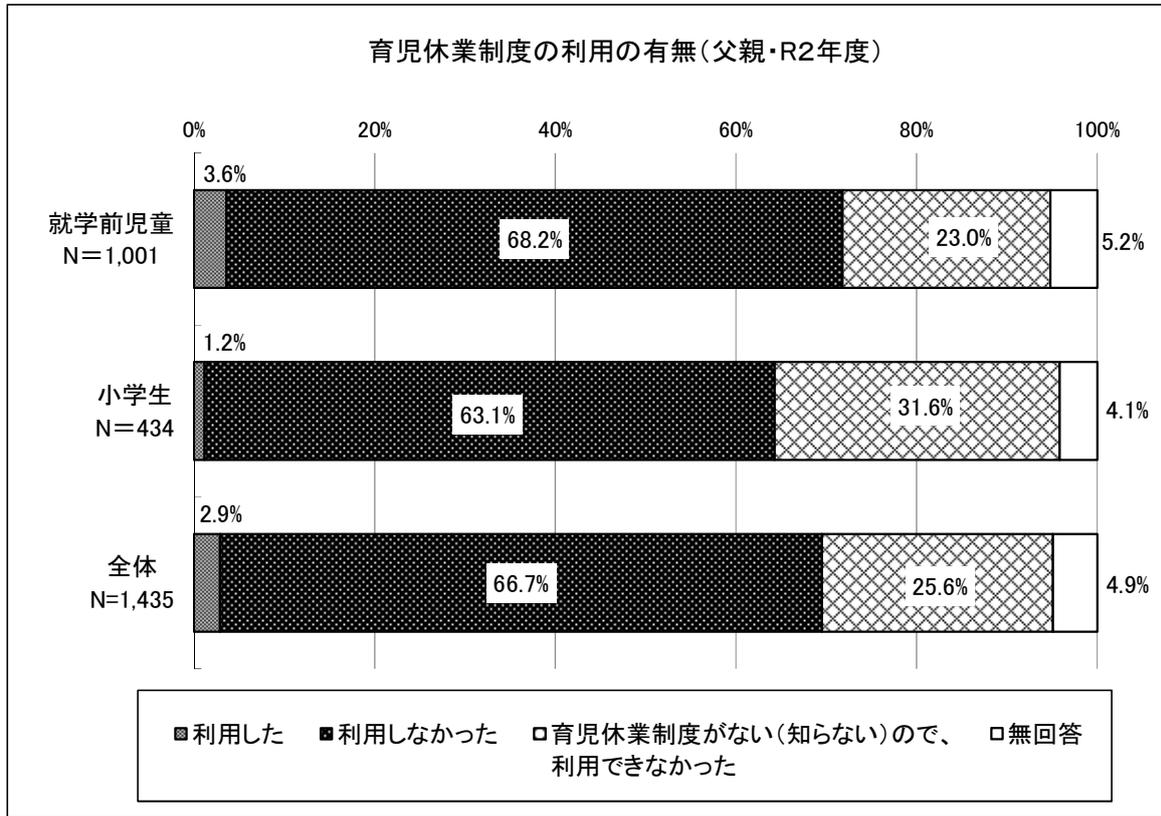


※無回答者数はグラフ内には表示していません。

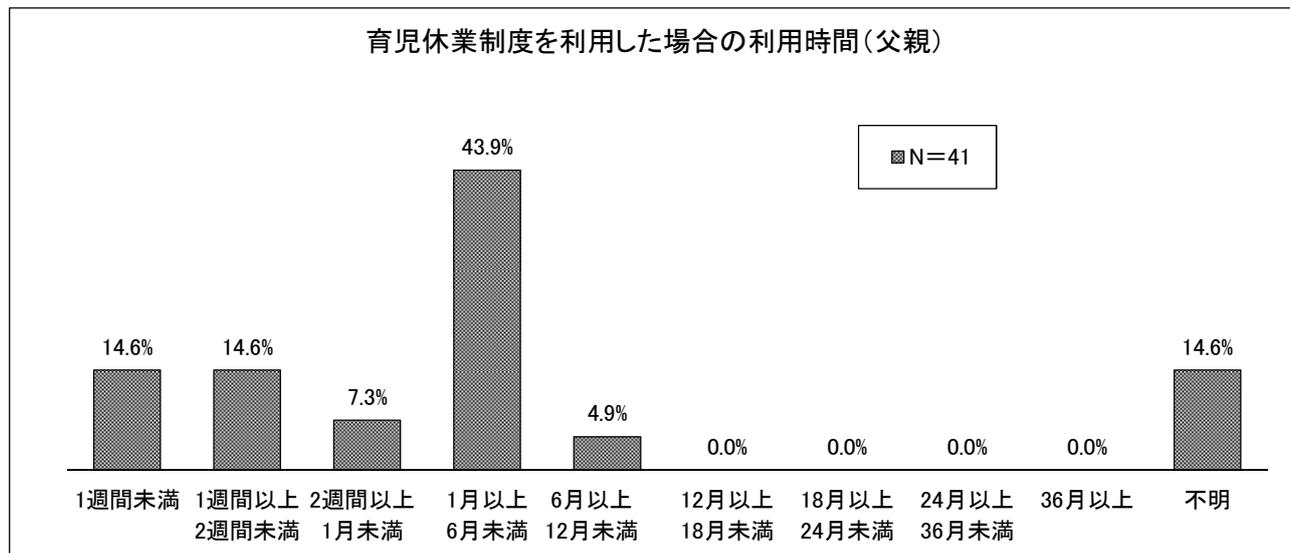
(2) 育児休業制度および育児短時間勤務制度の利用状況（就学前児童・問 21、小学生・問 22）

【父親・育児休業】

父親で育児休業制度を「利用した」と回答した人は 2.9%、「利用しなかった」と回答した人は 66.7%、「育児休業制度がない（知らない）ので利用できなかった」と回答した人は 25.6% となっています。育児休業制度を利用した人の割合は、R 元年度より 1.8 ポイント減少しています。

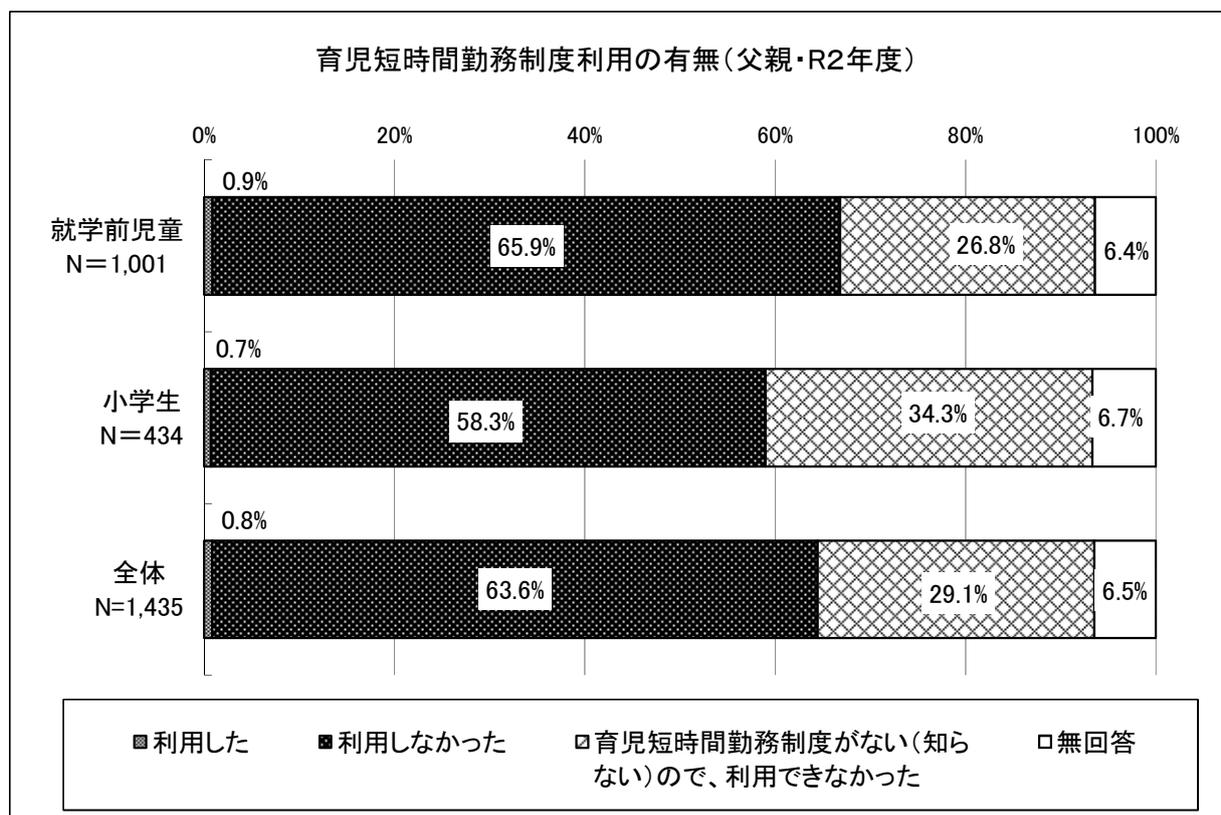


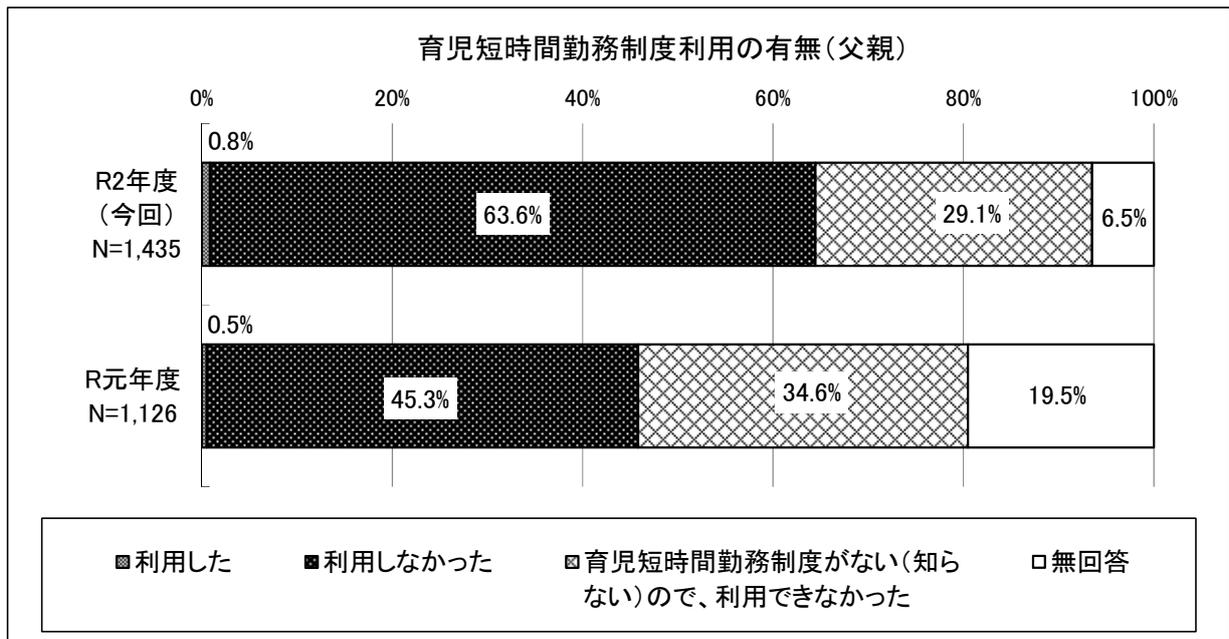
父親で育児休業制度を「利用した」と回答した人の利用期間を見てみると、「1月以上6月未満」が43.9%と最も多くなっています。次に「1週間未満」と「1週間以上2週間未満」がともに14.6%となっています。



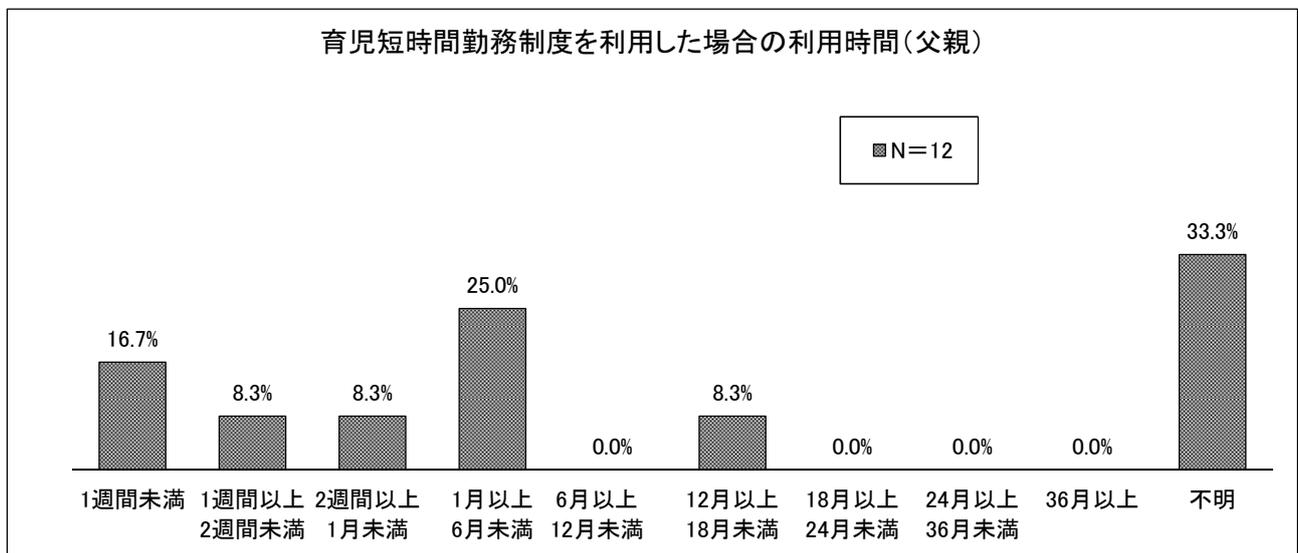
【父親・育児短時間勤務】

父親で育児短時間勤務制度を「利用した」と回答した人は0.8%、「利用しなかった」と回答した人は63.6%、「育児短時間勤務制度がない(知らない)ので利用できなかった」と回答した人は29.1%となっています。育児短時間勤務制度を利用した人の割合は依然として低い水準ではありますが、R元年度よりも0.3ポイント増加しています。



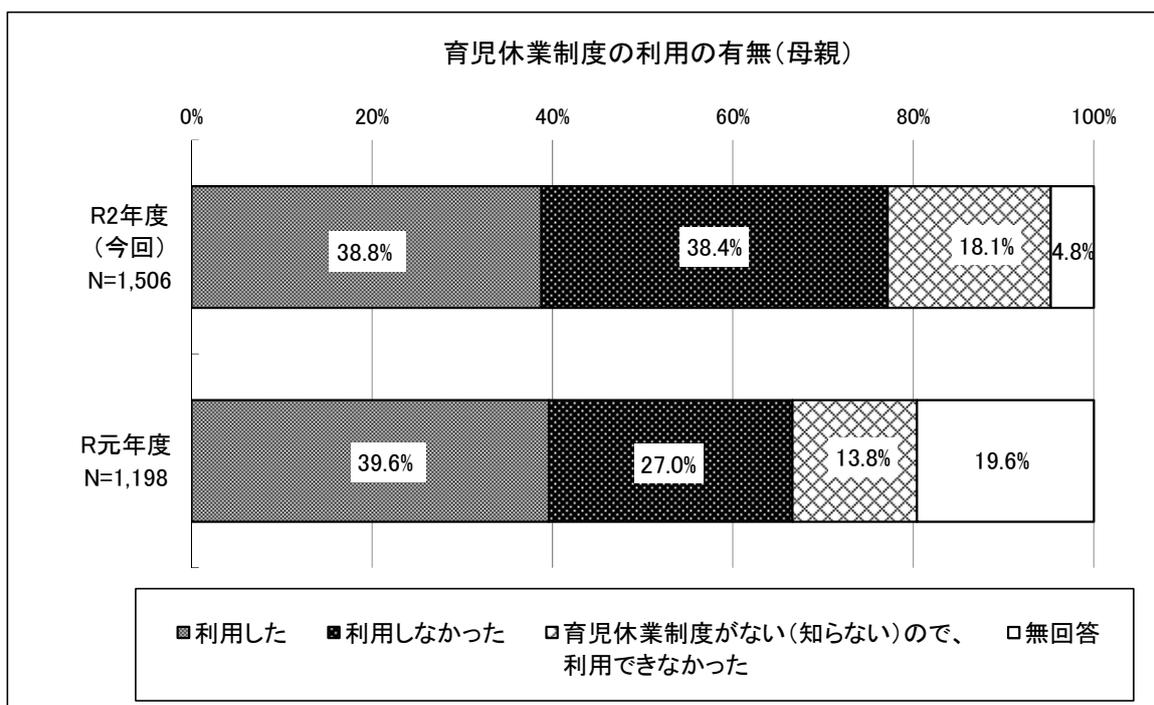
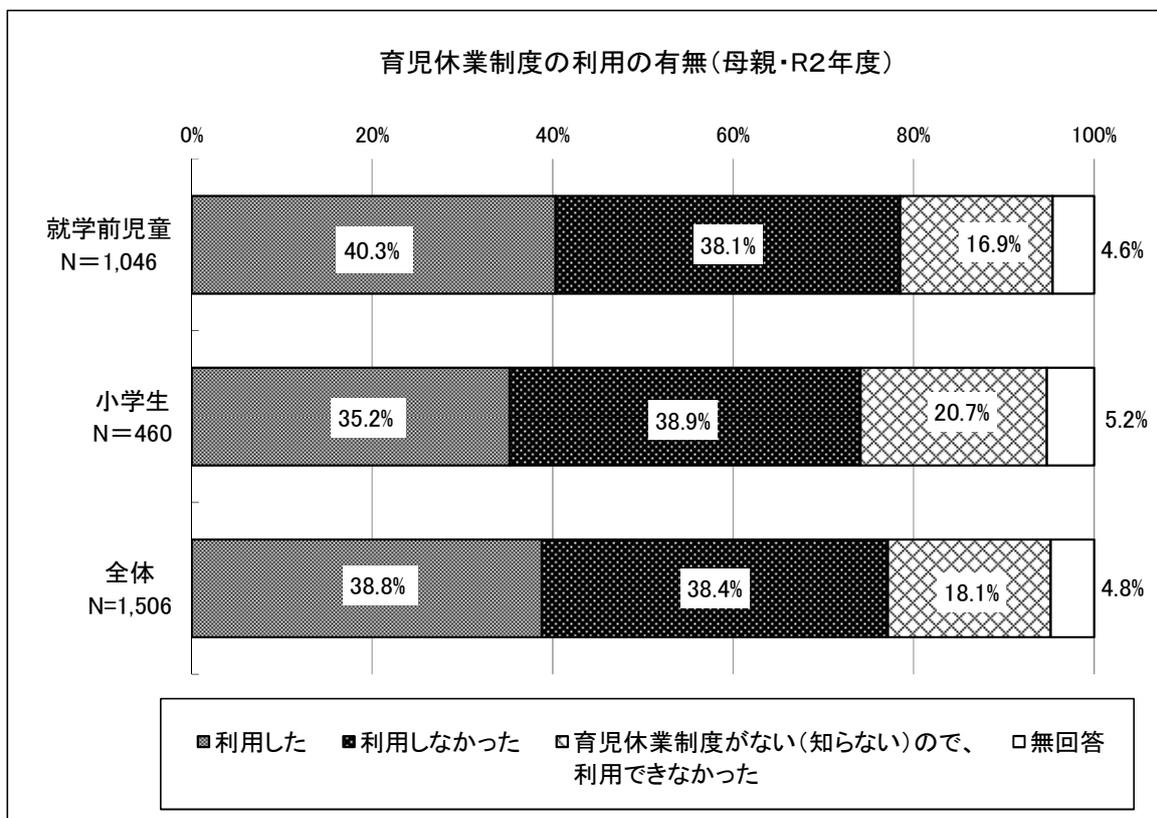


父親で育児短時間勤務制度を「利用した」と回答した人の利用期間を見てみると、「1月以上6月未満」が25.0%と最も多くなっています。次に「1週間未満」が16.7%、「1週間以上2週間未満」「2週間以上1月未満」「12月以上18月未満」がともに8.3%となっています。

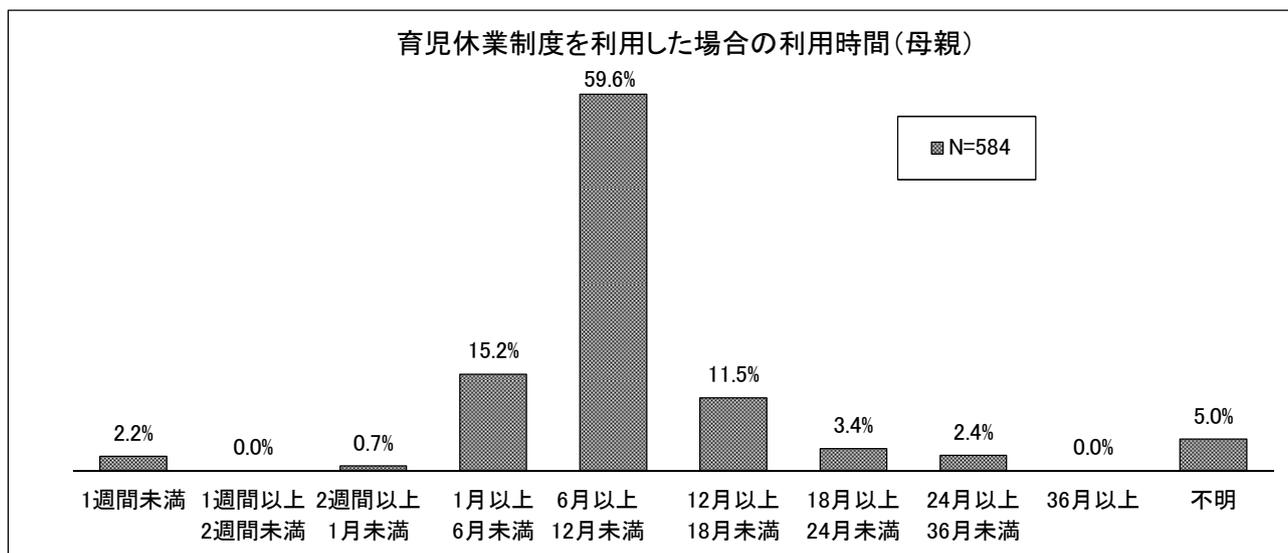


【母親・育児休業】

母親で育児休業制度を「利用した」と回答した人は 38.8%、「利用しなかった」と回答した人は 38.4%となっています。「育児休業制度がない（知らない）ので利用できなかった」と回答した人は 18.1%となっています。

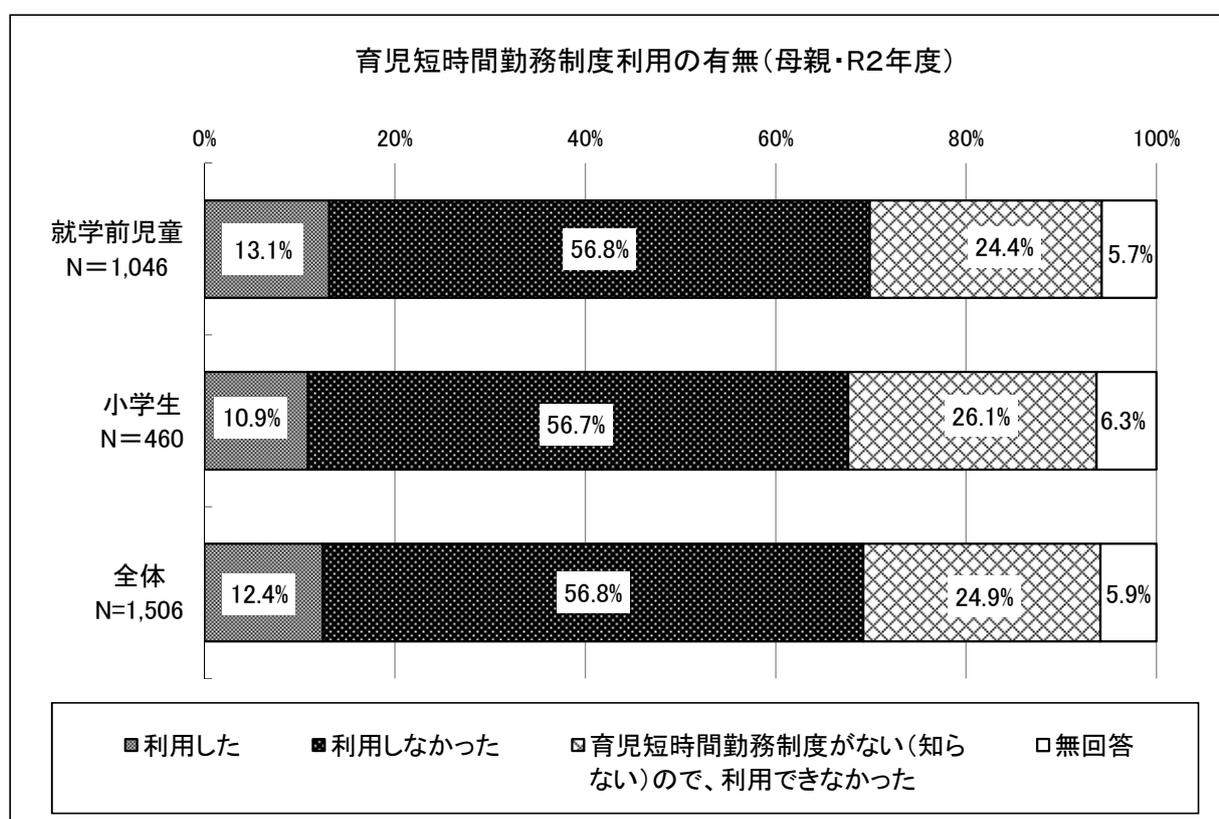


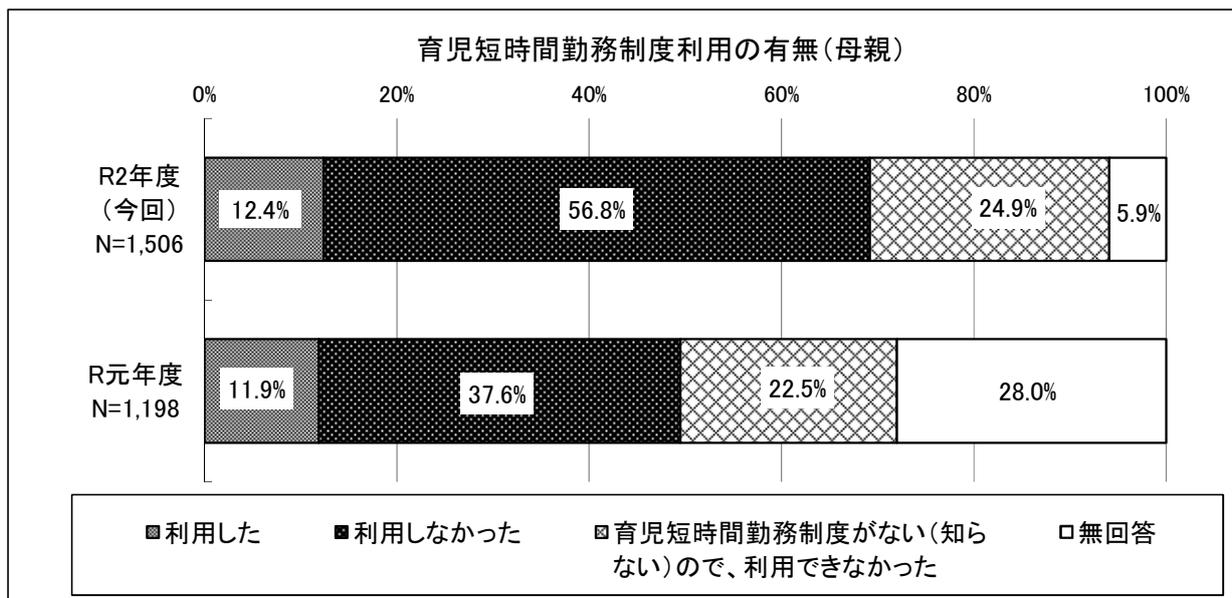
母親で育児休業制度を「利用した」と回答した人の利用期間を見てみると、「6 月以上 12 月未満」の 59.6%が最も多く、次に「1 月以上 6 月未満」の 15.2%、「12 月以上 18 月未満」11.5%となっています。



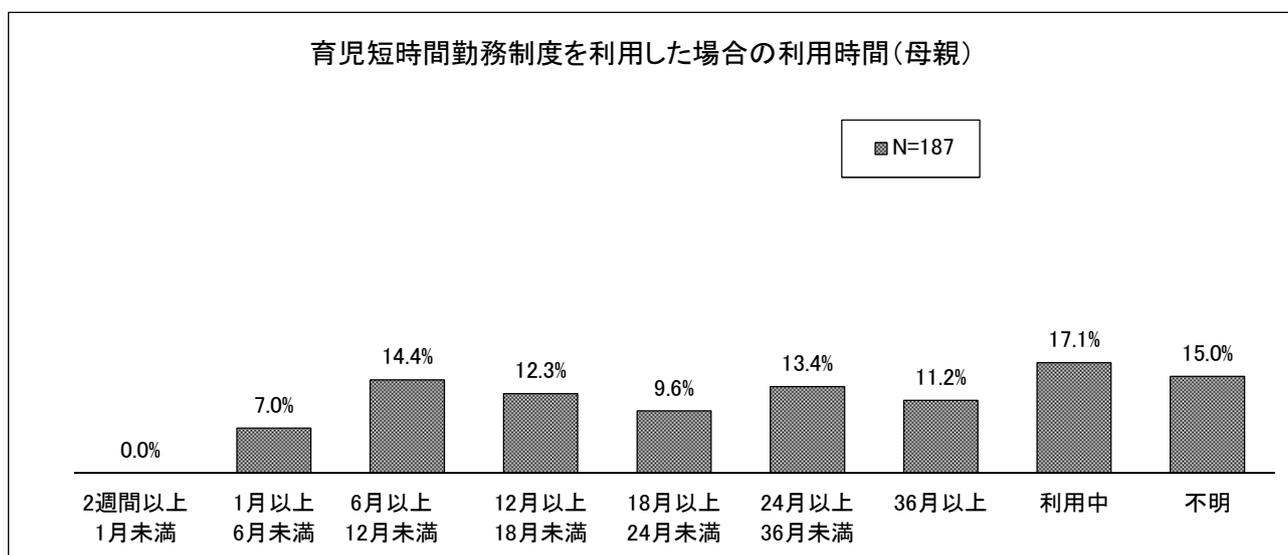
【母親・育児短時間勤務】

母親で育児短時間勤務制度を「利用した」と回答した人は 12.4%、「利用しなかった」と回答した人は 56.8%、「育児短時間勤務制度がない(知らない)ので、利用できなかった」と回答した人は 24.9%となっています。育児短時間勤務制度を利用した人は、R 元年度よりも 0.5 ポイント増加しています。





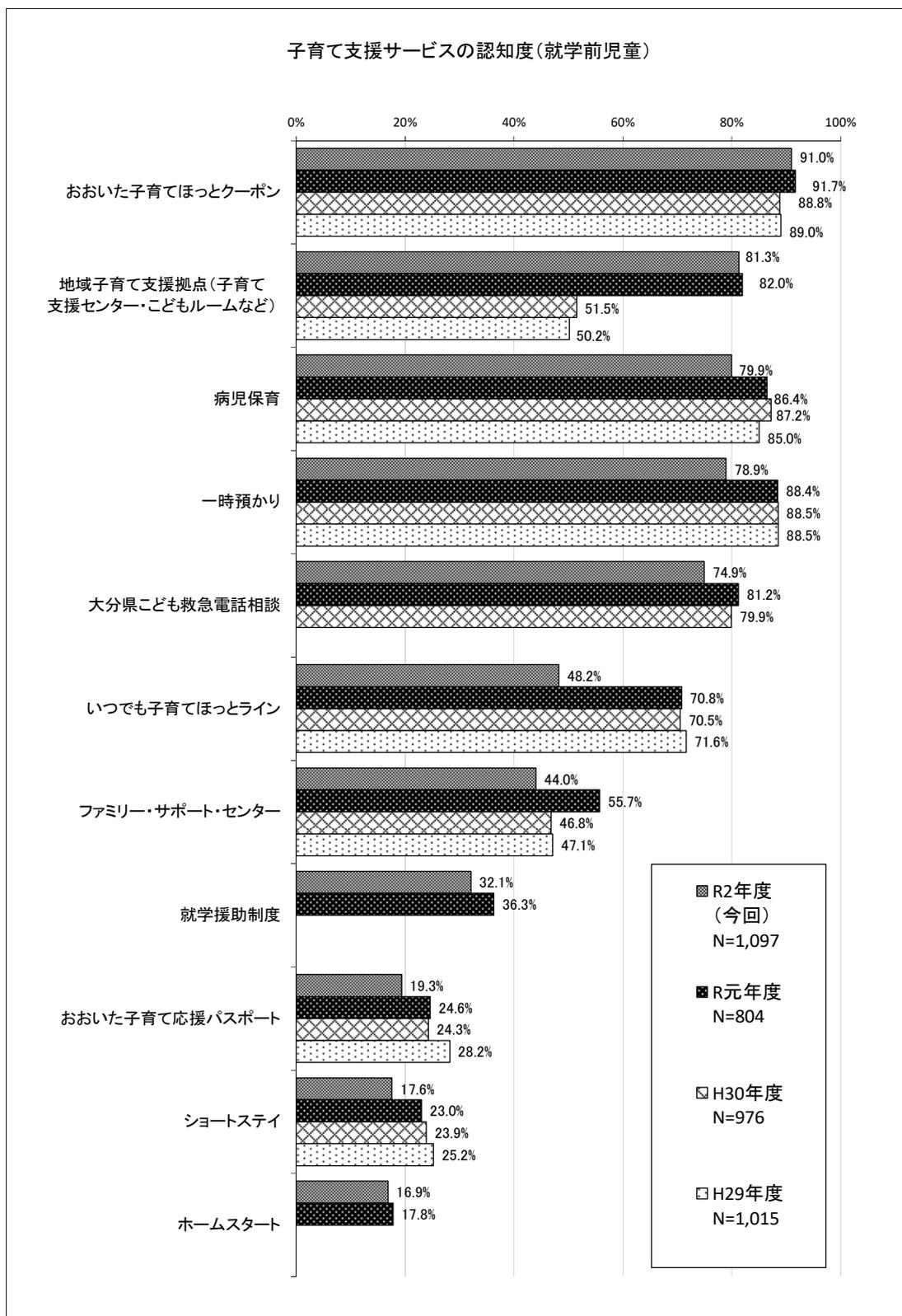
母親で育児短時間勤務制度を「利用した」と回答した人の利用期間を見てみると、「利用中」が最も多く17.1%で、次に「6月以上12月未満」の14.4%、「24月以上36月未満」が13.4%となっています。



5. 子育て支援サービスの認知度・利用度

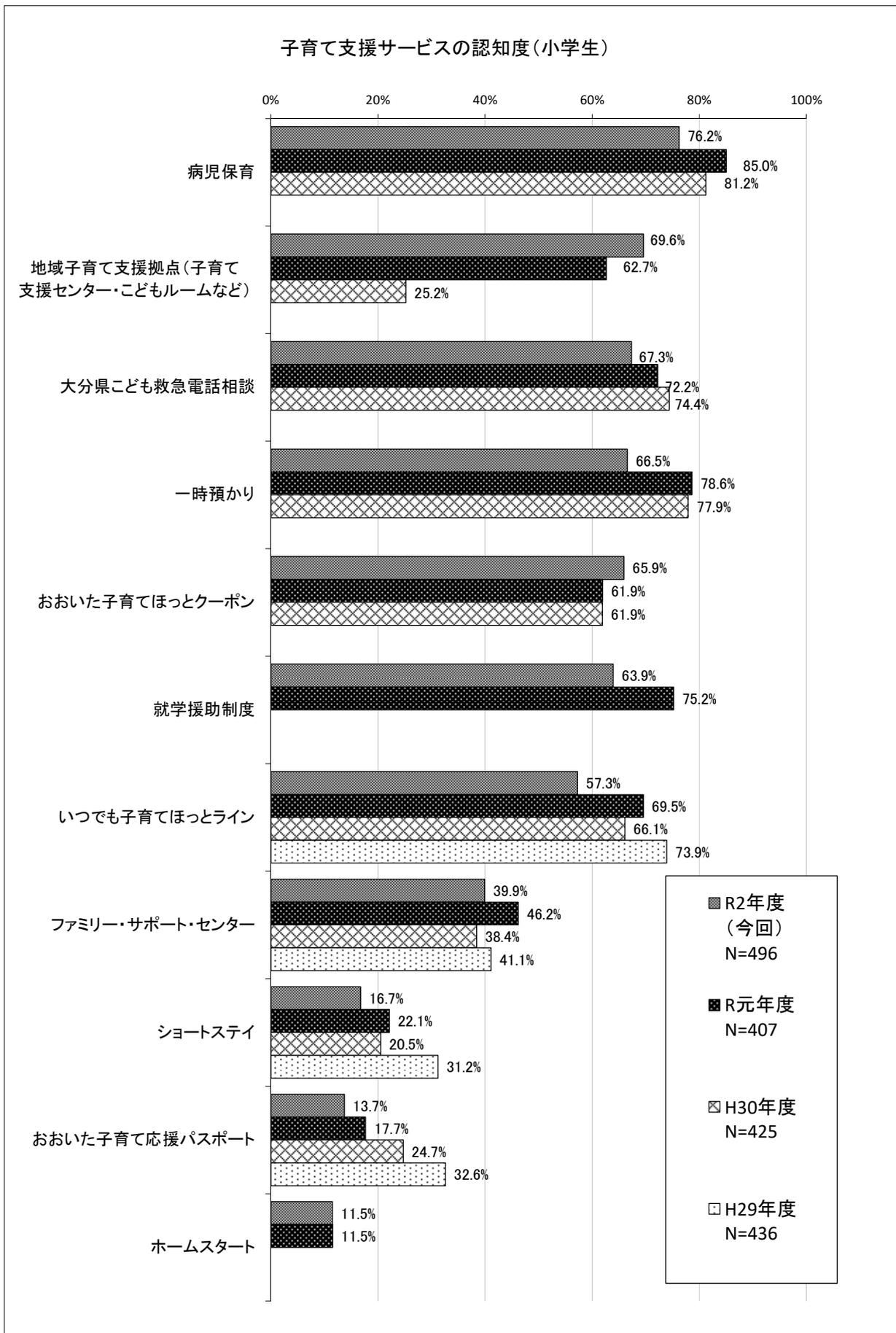
(1) 子育て支援サービスの認知度（就学前児童・問 22、小学生・問 23）

就学前児童の保護者に認知されている子育て支援サービスは、「おおいた子育てほっとクーポン」が91.0%、次いで「地域子育て支援拠点」が81.3%となっています。



※無回答者数はグラフ内には表示していません。

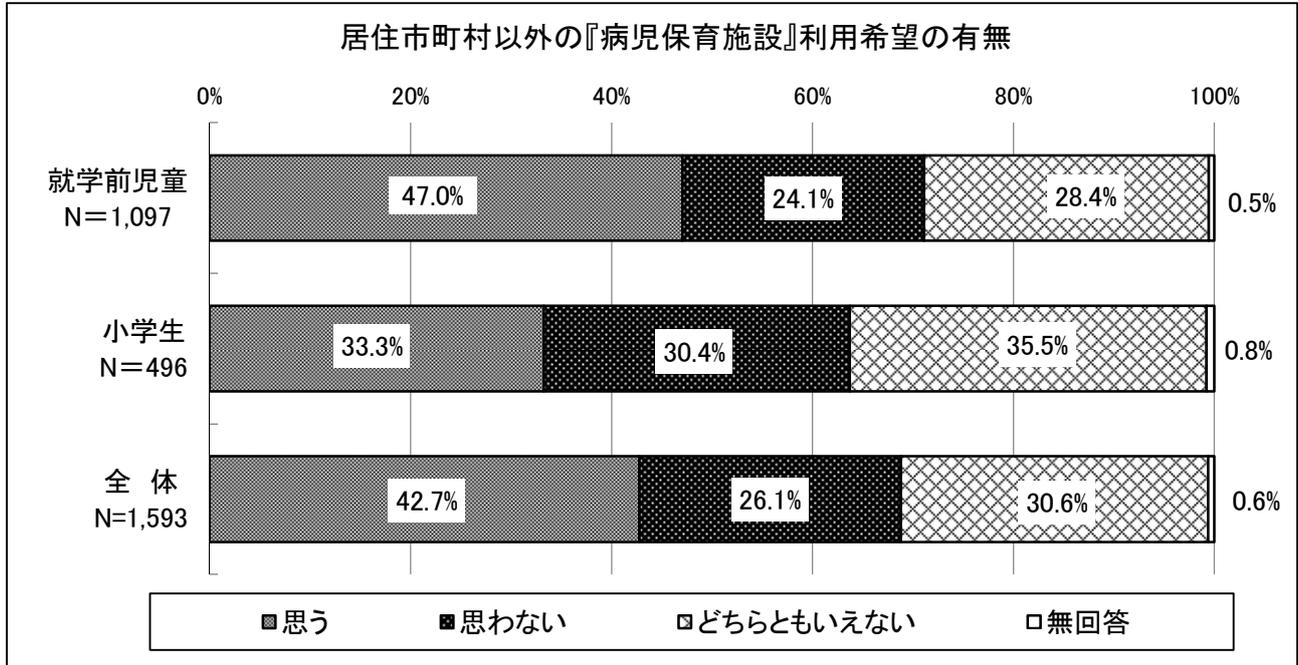
小学生の保護者に認知されている子育て支援サービスは、「病児保育」76.2%、次いで「地域子育て支援拠点」69.6%、「大分県子ども救急電話相談」67.3%の順となっています。



【新設】

(2) 居住市町村以外の「病児保育施設」利用希望の有無（就学前児童・問 23、小学生・問 24）

居住市町村以外の「病児保育施設」が利用できることとなった場合、必要な際は利用したいと「思う」と回答した人は 42.7%となっています。

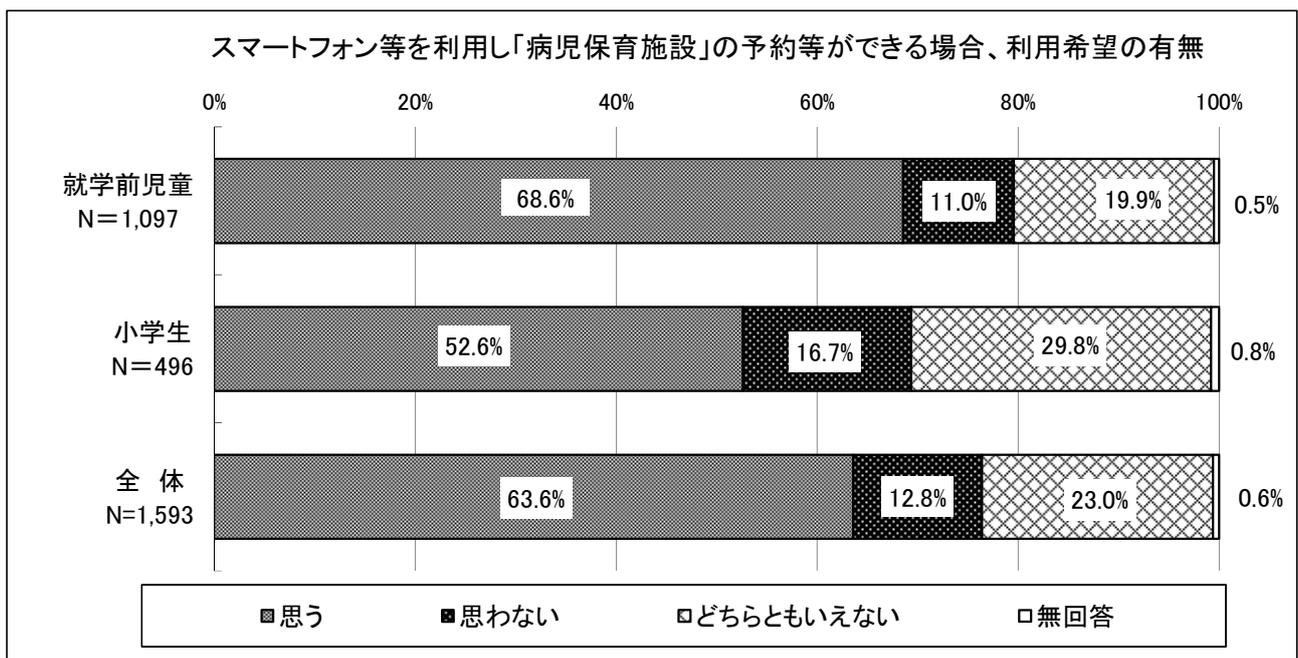


【新設】

(3) スマートフォン等を利用し「病児保育施設」の予約等ができる場合、利用希望の有無

(就学前児童・問 24、小学生・問 25)

スマートフォン等から「病児保育施設」の空き状況の確認・予約・キャンセルができることとなった場合、必要な際に利用したいと「思う」と回答した人は 63.6%となっています。

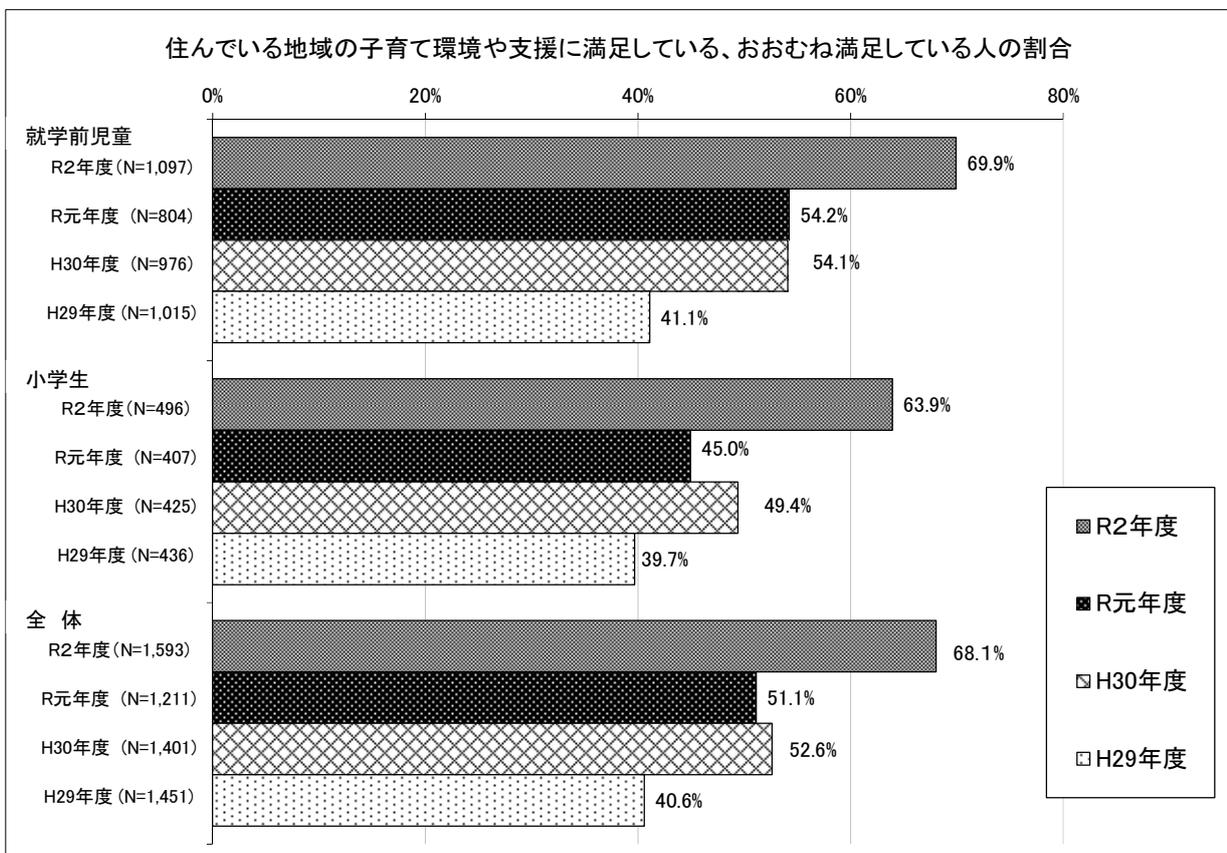
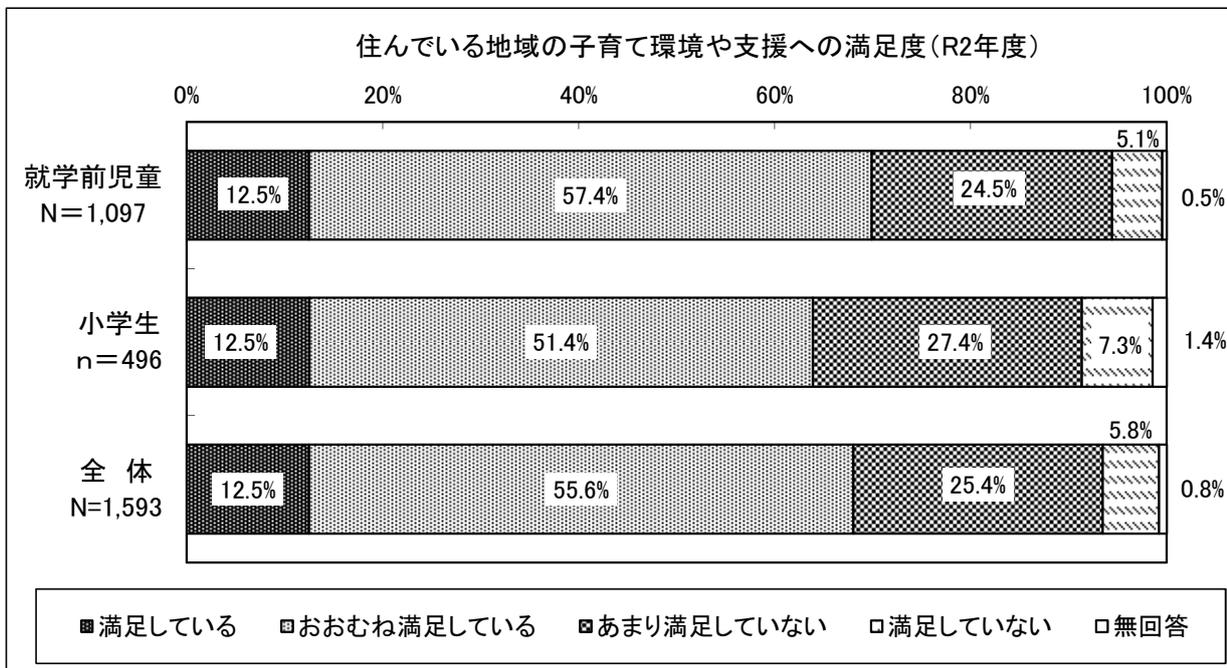


6. 地域の子育ての環境

(1) 住んでいる地域の子育て環境や支援への満足度（就学前児童・問 25、小学生・問 26）

住んでいる地域の子育ての環境や支援について「満足している」、「おおむね満足している」と感じている人は、就学前児童で 69.9%、小学生で 63.9%となっています。

全体では、68.1%となっており、R 元年度と比べると 17.0 ポイント増加しています。



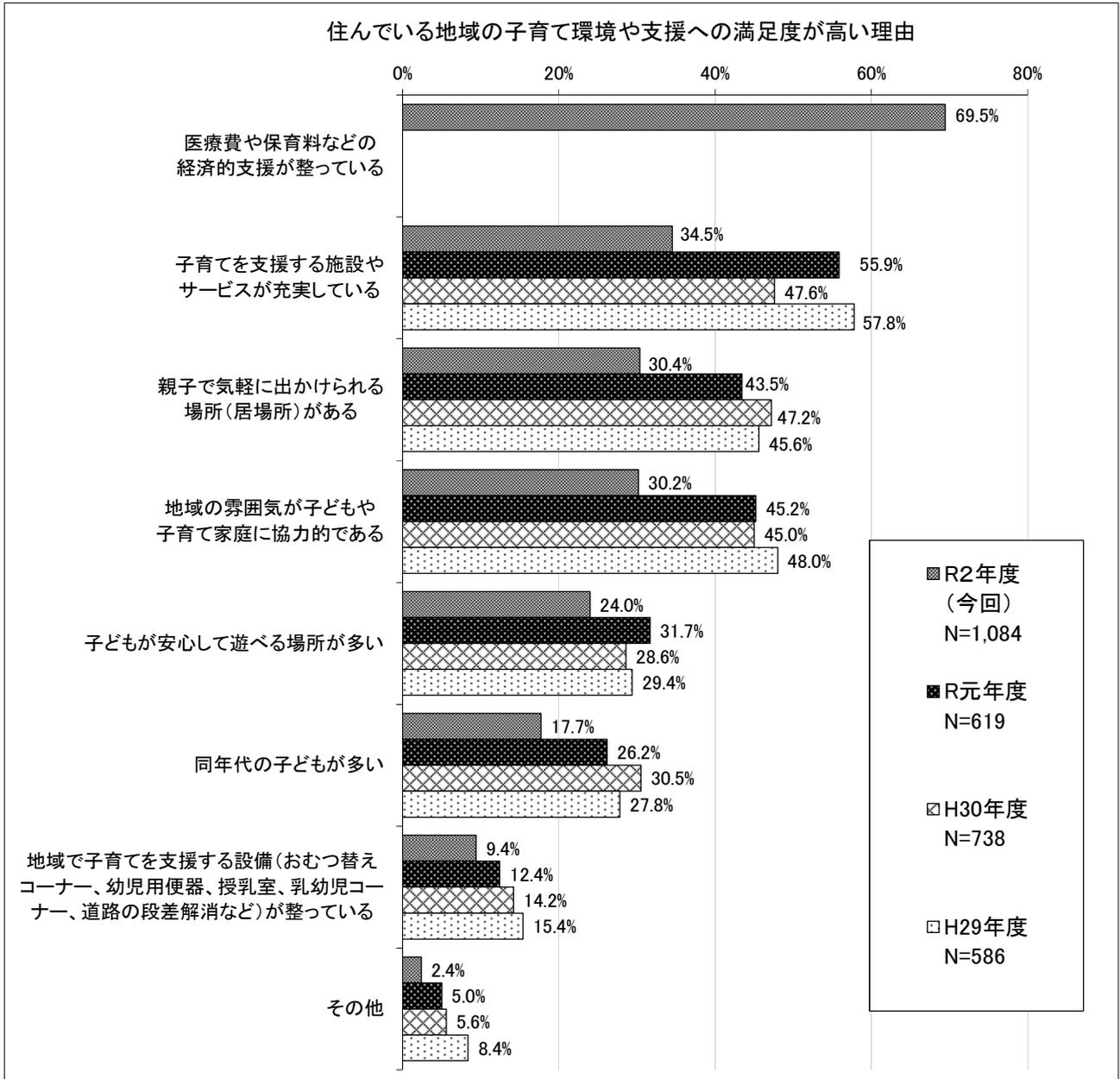
※R 元年度および平成 29 年度の満足度は、「満足度が高い」「やや高い」の合計になっています。

※H30 年度の満足度は、「とても満足」「まあまあ満足」の合計になっています

(2) 住んでいる地域の子育て環境や支援について満足している・おおむね満足している理由

: 複数回答 (就学前児童・問 25、小学生・問 26)

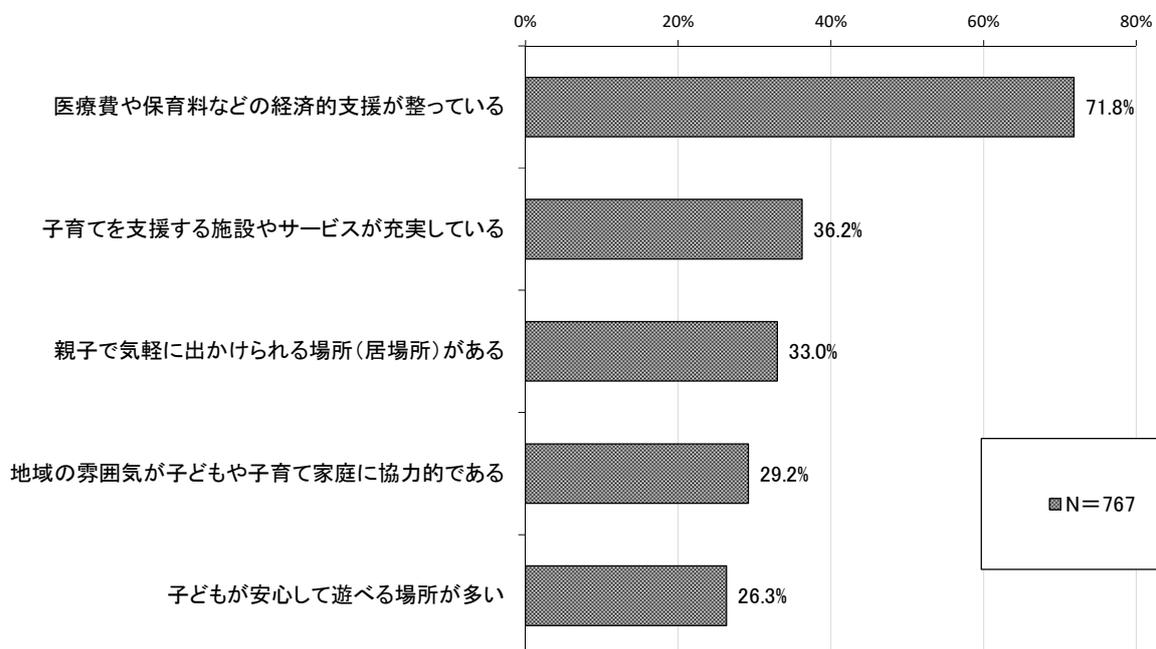
「満足している」、「おおむね満足している」の理由で最も多いのは、今年度新たに加えた選択項目の「医療費や保育料などの経済的支援が整っている」が69.5%で、過半数を占めています。次いで「子育てを支援する施設やサービスが充実している」が34.5%となっています。



※無回答者数はグラフ内には表示していません。

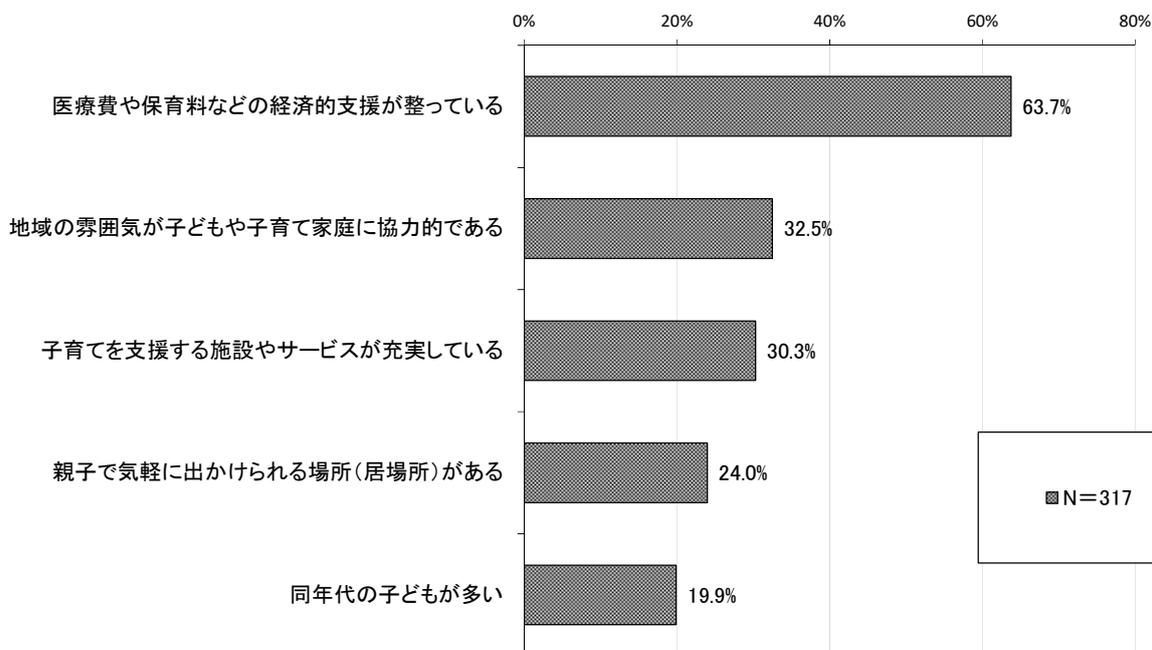
【上位5項目】

住んでいる地域の子育て環境や支援への満足度が高い理由(就学前児童・R2年度)



【上位5項目】

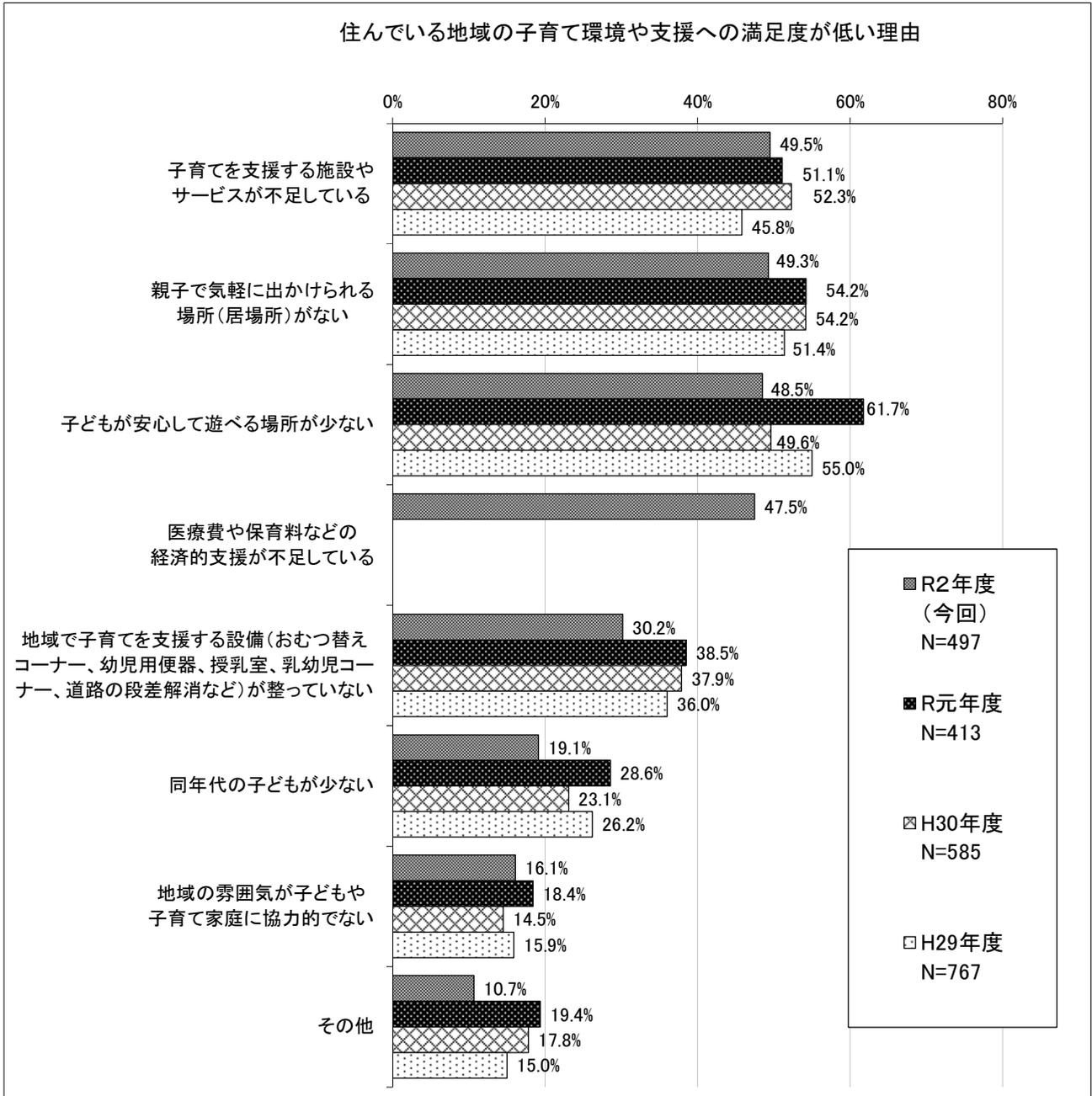
住んでいる地域の子育て環境や支援への満足度が高い理由(小学生・R2年度)



(3) 住んでいる地域の子育て環境や支援について

あまり満足していない・満足していない理由：複数回答（就学前児童・問 25、小学生・問 26）

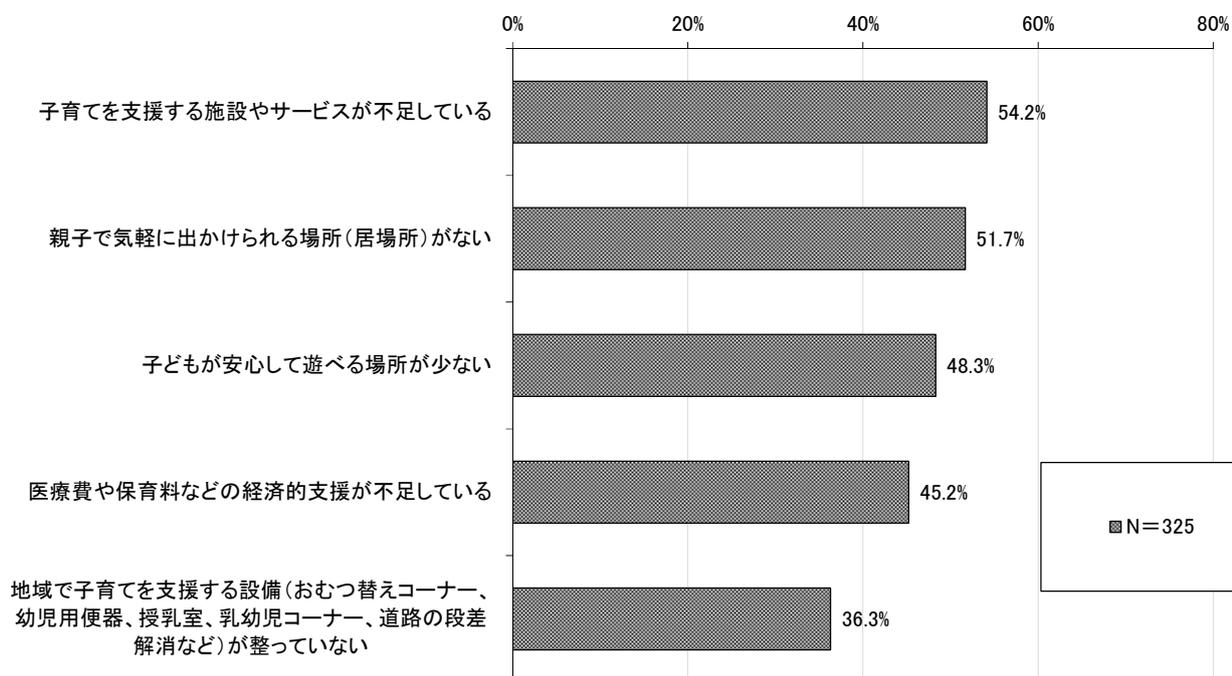
「あまり満足していない」、「満足していない」理由は、「子育てを支援する施設やサービスが不足している」が49.5%で最も多く、次いで「親子で気軽に出かけられる場所（居場所）がない」が49.3%、「子どもが安心して遊べる場が少ない」が48.5%となっています。



※無回答者数はグラフ内には表示していません。

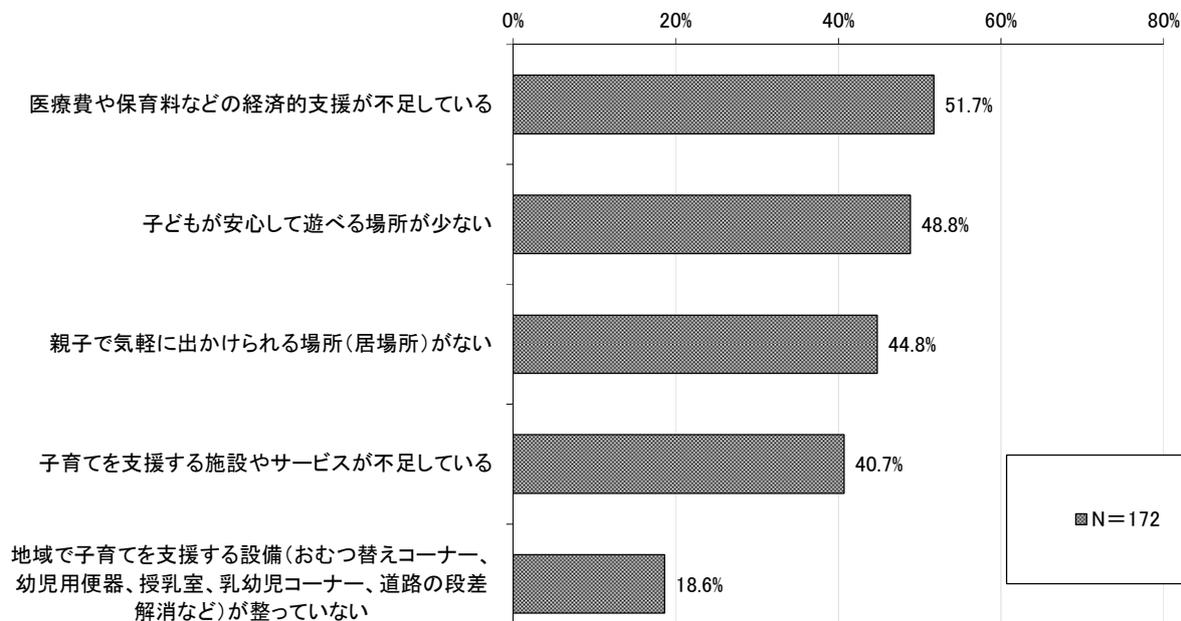
【上位5項目】

住んでいる地域の子育て環境や支援への満足度が低い理由(就学前児童・R2年度)



【上位5項目】

住んでいる地域の子育て環境や支援への満足度が低い理由(小学生・R2年度)



7. 主な調査項目の「その他」記述内容

原則として原文のまま掲載していますが、内容が同じ記述は一部まとめて掲載しています。
また、特定の個人・団体名が判別できる表現については、一部修正等を行っています。

2(2)理想よりも予定の子どもの数の方が少ない理由(問9・その他記述)

就学前 児童	給料が少ないから
	金銭面の将来がとても不安だから
	実家が遠方にあり、協力してもらえない人が少ない
	夫以外の協力者が望めない環境にある
	上の子の育児と下の子の育児を両立できるか少し心配だから
	同居の祖父が要介護、祖母が持病ありのため、身の回りの世話が必要であり、これ以上子育てする余裕があるか(金銭的、体力的、時間的に)分からないため
	保育園などへ預けることができるか不安だから
	今後、高齢での出産になるため、その点に対する不安。2人目の産休や今後どうするかなど
	第1子のお産の時にすでに42歳でしたので体力的にも経済的にも無理だと思いました
	夫婦間で話し合っていて決めています
	つわりがひどくお産も難産で大変だから
	近くに産婦人科がないので、上の子を見ながらの出産は難しい
	1人目を不妊治療で授かったので2人目以降できるか分からないので
	不妊治療がつかず、お金がかかる
	男児が産まれたから
	上2人が同性のため、3人目も同性の可能性を考えると踏み切れない
	息子2人と過ごす時間も大切にしたいから
	何となく3人までかなあとぼんやり考えています
	長男が難病のため
1人目に障がいがあり、2人目もその可能性が高そうで怖いから	
ひとり親のため	
現在妊娠中	
小学生	希望する保育園にすぐに預けられそうにないから
	妊娠しにくかったから
	3人目を望んだとき自分の年齢が35歳を超えることが怖かったから。出生前診断が今のように行われていなかった
	高齢だからリスクが心配。コロナで不安
	高齢出産になるため、2人目は悩んだあげくあきらめた
	2人出産したが長男は出産時の医療ミスにより死亡したため現在1人。もう怖いから出産したくない
	長男の子育てが大変だから
配偶者がいないため	
1人を大切に育てたいから	

2(3)理想とする子どもの数を実現するために必要なこと(問10・その他記述)

就学前 児童	会社の定時帰宅の推進、給料アップ
	基本的な労働環境(残業)の改善(子育てに関係なく)
	子どもを育てている世代に対しての上司の理解、職場のサポート、有休取得に対する理解等
	働き方の多様性、短時間勤務の延長、充実
	仕事の時間が短いのが当たり前の社会の実現
	望む子供の数は各家庭によるので、支援に頼るのではなく、責任を持つ意味も込めて自力で稼ぎたいが、復帰後は時短に病欠に、働き損でしかない程の収入しか得られず、時間も収入もギリギリな中、もう1人と思える余裕がない。職場は復帰後も温かく迎えてくれるが、収入面は非常に厳しい。復帰後の収入の安定やフレックス導入、在宅勤務等の選択肢が増えてほしい
	女性が子どもを産んだことを会社が評価してくれる社会にしてほしい
	家族の協力
	共働きの夫の家事育児の参加を世の中で推進する
	家事代行サービスの拡充。父親がもっと家事と育児に関わる主体性を養う教育の機会
	会社、親せきなどのコミュニティー全体において、父親の育児参加への理解があること
	公立幼稚園の拡充
	保育所以外で預かってもらえる場所が必要
	放課後から両親の仕事が終わるまで過ごせる場の充実、体制
	病児保育の充実
	出産後すぐの手厚い制度ではなく、高校、その先の進路に進んだ時の支援を手厚くするべきだと思う。将来への安心がないのに無責任に子どもは作れない
	祖父母の経済的支援をしているため、子どもへお金がかけにくい。一方で祖父母が同居していることで、保育所等へ預けずにすんでいる。祖父母同居への経済的支援をしていただけるともう1人子どもを持ちたいと考える
	出産手当金は42万では帝王切開で出産する人は足りないし、育休手当も支給が少なくかなり生活がきつい。そのため子どもをたくさん産めない
	女性の平均賃金のアップ
	大学までの学費援助
女性の体に関する講座など	
お母さんを支援する場所	
妊婦の頃から産後まで悩み相談ができ安心して出産をむかえられる社会であること	
ハイリスク妊娠で管理入院した場合の子どもと一緒に入院してもいい制度。なおその場合の入院費の支援	
不妊治療への手厚い支援	
不妊治療への理解と経済的なバックアップ	
不妊治療を数年続けていたが、2人目ができないので、実現は不可能	
遊ぶ所がほしい	
地域で、子どもを育てるという意識。健康な精神と身体	
年齢が若ければあと2人欲しかった	
本人のやる気、自覚	
勇気(子どもを産むのに命をかけている母親の)	
再婚	
コロナが落ち着くこと	

小学生	上司、会社、社会の理解と環境
	職場では、妊娠したり育児休暇を取ることが、人事の上で、ハンデであったり、迷惑なことと考える上司がいて、それを公言している。妊娠することが悪いことのように感じます
	女性自身の意識改革
	医療費無料、市によって違うから大変
	お金がかかるのは小さい間ではありません。大きくなってからの支援や所得での助成金など子どもを育てる人には平等に支給してほしいです
	学費の減額
	子ども＝お金がかかる。子ども＝大変という社会のイメージを無くすこと
	PTA活動や学校行事(役員等)が大変で仕事と両立できない。学校の出校家庭が少ないのでほぼ毎年のように役員がまわってくる。PTAが嫌なので子どもをこれ以上産みたくない(親同士の交流も気を使う)
	祖父母と同居する支援
	子どもを育てやすい社会
	1人っ子を可哀想と思わない世の中づくり→高齢者への指導
	本人の健康
	35才くらいまでに4人産みたかったが、もう40才なのでもう少し計画的に子作りすればよかった
	もう少し早く結婚し第1子を早く産むこと
後継の育成	
都会と田舎の教育格差、選択肢の数による	

2(4)3人目以降の子どもを持つことができた理由(問11・その他記述)

就学前 児童	子どもがかわいいから癒やされる
	上の子が可愛いから
	自分自身が3人兄弟で育ち楽しかったから
	双子だったから
	ほしいとは思っていたが、予定外で妊娠していた
小学生	上の子2人の雰囲気を見て3人目がいたらもっと楽しい家庭になると感じたから
	子どもが好きだから
	学校PTA役員や、学校行事を簡素化してほしい
	近所に住む子育てをしている母親が協力的だったから
	どれにも当てはまらないが産みたかった
	経済的に何とかなると思った
	双子がいたから
	授かったため
	後悔している
3人目が予定外だった	

6(2)住んでいる地域の子育ての環境や支援について満足している・おおむね満足している理由

(就学前児童・問25、小学生・問26・その他記述)

大分市	就学前児童	近くにスーパー、ドラッグストア、銀行などがあり、自宅からすぐ行ける距離にあるため 特に不満はなく、大分で子育てできてよかったと思っていますが、今、未満児クラスに子どもを預けており、保育料が高いのが家庭的には痛いと感じています。でも以上児にあがれば、無料になるので、その点はとてもありがたいです
別府市	就学前児童	困っていることがない 保育料が無償化したこと 特に不便を感じてないから
	小学生	近所に祖父母がいるため、何かあっても、預けられる場所があり、また、相談できる場所があるため
中津市	就学前児童	特に困ることがないので
	小学生	小児科が選べるだけあり、小児救急センターもあり安心 近くに眺めのよい場所がありよく一緒に散歩できるから
日田市	就学前児童	雨の日でも運動できる施設があるとおおむね満足満足しているにできる 給付金がもらえた
佐伯市	就学前児童	不便があっても、不満に思うことがあまりありません
竹田市	就学前児童	田舎なのでのびのび育っている 保育園の先生が何でも相談にのってくれる
	小学生	特に困った事はない 保育園にすぐ入れたため
宇佐市	就学前児童	市の方がやさしいので問い合わせしやすい
	小学生	副食費を市が補助してくださったり、市の方も子育て家庭に協力的である 他市と比較して自分の住んでいる(生まれ育った)地域が遜色無いだけで、決して満足はしていない
由布市	小学生	自然が多くてよい
国東市	小学生	車が混むことなく時間的にのんびりゆったりと過ごせるため
玖珠町	就学前児童	特に何もないが不満でもない

6(3)住んでいる地域の子育ての環境や支援についてあまり満足していない・満足していない理由

(就学前児童・問25、小学生・問26・その他記述)

大分市	就学前児童	支援を受けていると実感することが1度もない 小児救急電話相談に電話したとき、とても対応のよい人もいたがとても冷たい人もいて悲しかった
別府市	就学前児童	歩いていけるような公園がない 子どもへの経済的支援が少ない。2人目、3人目にはもっと支援があってほしい 市町村や地域だけでの問題ではないと思います。国を含めて少子化対策など言っているからには、もっと子供がほしい人が子供をもっても経済的に困らないくらいの対策をしてくれないと、少子化は進む一方だと思います。ウチは今5人いますが、もっと経済的な支援やらがしっかりしていたらまだまだ子供はほしいです。現状はそうはいかないので、祖父母にも援助してもらいながら共働きです。お金があるところにはありますが、ないところにはないが現状だと思います。親のエゴで子供たちには我慢や不自由はさせたくありませんから。もっと色んなところからの声を拾っていただきたいです 予防接種や健康診断の連絡が来ない
	小学生	小学校の預かりが対応できない時がある 小児科の数が少なすぎる どんな支援があるか分からない
中津市	就学前児童	色々なことを提案してもムダ。改善依頼してもムダ。何も変わらない。あてにはできない。できることなら他市に移りたい 出産祝い金などが全くない。令和3年4月までは10万円だそうです、ずっと続けてほしい そもそも産科が少なく妊娠出産に不安がある
	小学生	中津市は子育てほっとクーポンの「フッ素塗布」が使えない、絵本等実際そんなに買わない。予防接種の助成やフッ素などに使わないと余る。もったいない。意味がない
日田市	就学前児童	何があるのかわからない 広くて大きな公園がほしい 療育がない。障がい児の入れる施設が少ない
	小学生	交通の便が悪い 適合しないから ほぼ皆働いているご近所さんを含め、このご時世に「他の家に訪問し、また訪問され」の会費収集は時間タイミングを合わせるのに大変です
佐伯市	就学前児童	交通マナー、喫煙マナーが悪い
臼杵市	小学生	小児科が1つしかない。選べない
津久見市	就学前児童	児童館が古く、市全体がすたれている感じ。物価も高くショッピングモールも少ない。育児用品を売っている所がない。住みにくい、育てにくい市と思う 小児科医が1人しかいない 幼稚園や保育園の案内などがどこからもなく、入れたい所が分からない。唯一1カ所の園だけ案内が届いた
竹田市	就学前児童	竹田市に産婦人科がない。子ども用品を買える店があまりない
杵築市	就学前児童	保育園の対応、遅く連れてきて早くお迎え、なるべく預けないでと言う雰囲気 給食費支援がない
	小学生	杵築市は他と比べると経済的支援が不足していると思う
宇佐市	就学前児童	3人以上産んだのに市は評価してくれない あまり子育てに力をいれていないように感じる 学習塾などの選択肢が少ない 通学路や外灯がなく危ない 病院が遠い。安心院から宇佐までの往復と予防接種の待ち時間が3時間以上。離乳食中は準備片付けがあつたりと1日バタバタになります。宇佐で行われる健診も同じです。親もとても疲れます

豊後大野市	就学前児童	出産時に祝い金があればよいと思う
由布市	就学前児童	小児科が少ない。大分市や別府市へ行くことが多い
		小児科や病児保育等遠い 小児科がない
国東市	就学前児童	小児科が少なすぎる 公園が少なすぎる
	小学生	公園がない(少ない)、習い事(スイミング、ダンス、バレエ、プログラミング等) 単独の幼稚園が少ない。こども園や保育園が多い。就学前には幼稚園でしっかり生活習慣を身につけたい
姫島村	就学前児童	遊具が全くない
	小学生	習い事もなく遠方に行く援助もない
日出町	就学前児童	優先順位があるのはわかりますが、入所したい保育園・こども園に入所できずに家から少し遠い場所に通っている。優先順位の中に「家と保育園の距離が近い人」が優先と記載しているにも関わらず、家と保育園の距離が遠い人の方が入れているのは少し不満がある。現在通っている保育園も、第2子妊娠中に切迫早産になり、自宅安静している時も「〇〇ちゃん(上の子)が泣いて仕事にならないので、早く迎えに来てください」や「熱があるので迎えに来て下さい」と連絡あり迎えに行くのと全く無くて元気だったりと不満がある。他にも理不尽な対応が多く、役場に相談したが話を聞くだけで特に何もしてもらえなかった
九重町	就学前児童	子育てしながら仕事をしたくても見つからない
玖珠町	就学前児童	医療機関が整っていない。救急や大きな病院など遠くまで行かなくてはいけない
	小学生	給食費などすべて無料にするべきですよ 小児救急病院がない
地域不明	就学前児童	職場環境。小さい子どもがいても、休日出勤や夜の時間外勤務がある

第3章 資料

1. 調査結果データ(令和2年度)

備考 SA:単数回答 MA:複数回答

1. あて名のお子さんご家族の状況について

問1 お住まいの市町村

R2年	SA	大分市	別府市	中津市	日田市	佐伯市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後高田市	杵築市
就学前児童	人	169	101	111	107	106	39	32	34	28	42
	%	15.4%	9.2%	10.1%	9.8%	9.7%	3.6%	2.9%	3.1%	2.6%	3.8%
小学生	人	77	42	46	58	45	17	13	15	15	19
	%	15.5%	8.5%	9.3%	11.7%	9.1%	3.4%	2.6%	3.0%	3.0%	3.8%
全体	人	246	143	157	165	151	56	45	49	43	61
	%	15.4%	9.0%	9.9%	10.4%	9.5%	3.5%	2.8%	3.1%	2.7%	3.8%

R2年	SA	宇佐市	豊後大野市	由布市	国東市	姫島村	日出町	九重町	玖珠町	無回答	総計
就学前児童	人	107	35	44	33	7	38	22	40	2	1,097
	%	9.8%	3.2%	4.0%	3.0%	0.6%	3.5%	2.0%	3.6%	0.2%	100.0%
小学生	人	49	15	20	15	5	16	16	12	1	496
	%	9.9%	3.0%	4.0%	3.0%	1.0%	3.2%	3.2%	2.4%	0.2%	100.0%
全体	人	156	50	64	48	12	54	38	52	3	1,593
	%	9.8%	3.1%	4.0%	3.0%	0.8%	3.4%	2.4%	3.3%	0.2%	100.0%

問2 この調査にご回答いただいている方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。

R2年	SA	父親	母親	その他	無回答	全体
就学前児童	人	135	960	2	0	1,097
	%	12.3%	87.5%	0.2%	0.0%	100.0%
小学生	人	65	425	5	1	496
	%	13.1%	85.7%	1.0%	0.2%	100.0%
全体	人	200	1,385	7	1	1,593
	%	12.6%	86.9%	0.4%	0.1%	100.0%

問3 あて名のお子さんの年齢(令和2年4月1日現在の年齢)を教えてください。

R2年	SA	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	無回答	総計
就学前児童	人	145	141	168	162	209	270	2	1,097
	%	13.2%	12.9%	15.3%	14.8%	19.1%	24.6%	0.2%	100.0%

R2年	SA	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	無回答	総計
小学生	人	82	78	81	84	86	83	2	496
	%	16.5%	15.7%	16.3%	16.9%	17.3%	16.7%	0.4%	100.0%

問4 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いますか。また、2人以上いる場合、末子の年齢(令和2年4月1日現在の年齢)を記入してください。

子どもの人数

R2年	SA	1人	2人	3人	4人	5人	6人	無回答	総計
就学前児童	人	299	515	213	47	13	5	5	1,097
	%	27.3%	46.9%	19.4%	4.3%	1.2%	0.5%	0.5%	100.0%
小学生	人	69	211	166	33	9	3	5	496
	%	13.9%	42.5%	33.5%	6.7%	1.8%	0.6%	1.0%	100.0%
全体	人	368	726	379	80	22	8	10	1,593
	%	23.1%	45.6%	23.8%	5.0%	1.4%	0.5%	0.6%	100.0%

2人以上お子さんがいる場合の末子の年齢(令和2年4月1日現在の年齢)

R2年	SA	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳
就学前児童	人	188	141	137	111	96	93	11	0	0	0
	%	23.3%	17.8%	17.3%	14.0%	12.1%	11.7%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%
小学生	人	12	17	13	27	42	35	36	57	54	30
	%	2.8%	4.0%	3.1%	6.4%	10.0%	8.3%	8.5%	13.5%	12.8%	7.1%
全体	人	200	158	150	138	138	128	47	57	54	30
	%	16.5%	13.0%	12.3%	11.4%	11.4%	10.5%	3.9%	4.7%	4.4%	2.5%

R2年	SA	10歳	11歳	12歳	無回答	総計
就学前児童	人	0	0	0	16	793
	%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	100.0%
小学生	人	34	32	21	12	422
	%	8.1%	7.6%	5.0%	2.8%	100.0%
全体	人	34	32	21	28	1,215
	%	2.8%	2.6%	1.7%	2.3%	100.0%

問5 あて名のお子さんとの父母及び祖父母との同居・近居(概ね30分以内程度で行き来できる範囲)の状況について、お子さんからみた関係でお答えください。(複数回答)

R2年	MA	父母同居	父同居	母同居	祖父同居	祖母同居	祖父近居	祖母近居	無回答	対象者数
就学前児童	人	976	7	83	140	181	652	711	13	1,097
	%	89.0%	0.6%	7.6%	12.8%	16.5%	59.4%	64.8%	1.2%	
小学生	人	419	5	52	71	91	272	303	12	496
	%	84.5%	1.0%	10.5%	14.3%	18.3%	54.8%	61.1%	2.4%	
全体	人	1,395	12	135	211	272	924	1,014	25	1,593
	%	87.6%	0.8%	8.5%	13.2%	17.1%	58.0%	63.7%	1.6%	

問6 あて名のお子さんの身の回りの世話などを主にしている方はどなたですか。お子さんから見た関係でお答えください。

R2年	SA	主に父親	主に母親	主に祖父母	その他	無回答	総計
就学前児童	人	24	1,030	15	26	2	1,097
	%	2.2%	93.9%	1.4%	2.4%	0.2%	100.0%
小学生	人	11	463	15	6	1	496
	%	2.2%	93.3%	3.0%	1.2%	0.2%	100.0%
全体	人	35	1,493	30	32	3	1,593
	%	2.2%	93.7%	1.9%	2.0%	0.2%	100.0%

2. 少子化・子育てに対する意識について

問7 あなたの理想とする子どもの数は何人ですか。

理想の子どもの数

R2年	SA	1人	2人	3人	4人	5人以上	わからない	子どもをほしいとは思わない	無回答	総計
就学前児童	人	20	372	546	69	26	62	0	2	1,097
	%	1.8%	33.9%	49.8%	6.3%	2.4%	5.7%	0.0%	0.2%	100.0%
小学生	人	11	163	239	30	12	38	0	3	496
	%	2.2%	32.9%	48.2%	6.0%	2.4%	7.7%	0.0%	0.6%	100.0%
全体	人	31	535	785	99	38	100	0	5	1,593
	%	1.9%	33.6%	49.3%	6.2%	2.4%	6.3%	0.0%	0.3%	100.0%

問8 あなたが実際に予定している子どもの数は何人ですか。現在いるお子さんの数と今後予定している子どもの数をあわせた数をお答えください。

R2年	SA	1人	2人	3人	4人	5人以上	わからない	子どもをほしいとは思わない	無回答	総計
就学前児童	人	112	493	322	60	18	87	4	1	1,097
	%	10.2%	44.9%	29.4%	5.5%	1.6%	7.9%	0.4%	0.1%	100.0%
小学生	人	49	202	174	28	8	24	8	3	496
	%	9.9%	40.7%	35.1%	5.6%	1.6%	4.8%	1.6%	0.6%	100.0%
全体	人	161	695	496	88	26	111	12	4	1,593
	%	10.1%	43.6%	31.1%	5.5%	1.6%	7.0%	0.8%	0.3%	100.0%

問9 問7、問8で「理想」よりも「予定」の子どもの数の方が少なかった方にお聞きます。その理由として何があげられますか。(複数回答)

R2年	MA	子育てや教育にお金がかかりすぎるから	自分の仕事(勤めや家業)が忙しいから	家が狭いから	高齢で生むのはいやだから	欲しいけれどもできないから	健康上の理由から	これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	夫(妻)の家事・育児への協力が得られないから	一番末の子が夫(妻)の定年退職までに成人してほしいから
就学前児童	人	213	88	26	73	50	35	84	31	14
	%	62.1%	25.7%	7.6%	21.3%	14.6%	10.2%	24.5%	9.0%	4.1%
小学生	人	88	36	11	53	30	18	23	13	8
	%	56.4%	23.1%	7.1%	34.0%	19.2%	11.5%	14.7%	8.3%	5.1%
全体	人	301	124	37	126	80	53	107	44	22
	%	60.3%	24.8%	7.4%	25.3%	16.0%	10.6%	21.4%	8.8%	4.4%
R2年	MA	夫(妻)が望まないから	子どもがのびのび育つ社会環境ではないから	自分や夫婦の生活を大切にしたいから	その他	対象者数				
就学前児童	人	24	16	8	49	343				
	%	7.0%	4.7%	2.3%	14.3%					
小学生	人	14	10	4	9	156				
	%	9.0%	6.4%	2.6%	5.8%					
全体	人	38	26	12	58	499				
	%	7.6%	5.2%	2.4%	11.6%					

※就学前の母数の数は問7で理想よりも予定の子どもの人数が少なかった343人

※小学生の母数の数は問7で理想よりも予定の子どもの人数が少なかった156人

問10 あなたが、理想とする子どもの数を実現するために必要なことは何だと思えますか。(複数回答)

R2年	MA	経済的な支援	保育所の充実をはじめとした子どもを預かる事業の拡充	出産・育児のための休業・短時間勤務制度の取得促進	出産・子育てによる退職後に就業を希望する場合の再就職支援	仕事と子育ての両立の推進に取り組む事業所への支援	小児医療体制整備など子どもへの健康支援	妊娠・出産の支援体制、周産期医療体制の充実	ファミリー向け賃貸住宅の優先入居
就学前児童	人	834	464	343	166	340	201	153	58
	%	76.0%	42.3%	31.3%	15.1%	31.0%	18.3%	13.9%	5.3%
小学生	人	364	191	132	66	144	125	65	34
	%	73.4%	38.5%	26.6%	13.3%	29.0%	25.2%	13.1%	6.9%
全体	人	1198	655	475	232	484	326	218	92
	%	75.2%	41.1%	29.8%	14.6%	30.4%	20.5%	13.7%	5.8%
R2年	MA	夫婦や親子を対象とした地域における子育て支援事業の推進	子育てを支援する設備(おもむ替えコーナー、幼児用便器、授乳室、乳幼児コーナー、道路の段差解消など)、交通機関などにおけるバリアフリーの推進	自然・社会体験、ボランティア、スポーツ活動など子どものための事業の促進	様々な悩みをワンストップで受けられる相談窓口(電話相談含む)	その他	対象者数		
就学前児童	人	85	111	39	31	46	1,097		
	%	7.7%	10.1%	3.6%	2.8%	4.2%			
小学生	人	41	20	27	29	24	496		
	%	8.3%	4.0%	5.4%	5.8%	4.8%			
全体	人	126	131	66	60	70	1,593		
	%	7.9%	8.2%	4.1%	3.8%	4.4%			

問11 3人目以降のお子さんを持つことができた理由として何があげられますか。最もあてはまると思われるものから順に3つまで数字を記入してください。

1位

R2年	MA	配偶者が家事・育児に協力的だから	祖父母等が同居もしくは近居で育児に協力を得られるから	仕事と育児が両立しやすい職場環境だから	夫婦の収入を考えると育てられると考えたから	保育料、児童手当、医療費等の経済的支援が整っているから	保育所や放課後児童クラブなど子どもの預け先が整っているから	地域子育て支援拠点など子育てサービスが整っているから	第1子及び第2子が同性であり異性の子どもが欲しかったから
就学前児童	人	67	41	6	4	3	2	1	36
	%	24.1%	14.7%	2.2%	1.4%	1.1%	0.7%	0.4%	12.9%
小学生	人	35	30	8	5	4	5	1	17
	%	16.6%	14.2%	3.8%	2.4%	1.9%	2.4%	0.5%	8.1%
全体	人	102	71	14	9	7	7	2	53
	%	20.9%	14.5%	2.9%	1.8%	1.4%	1.4%	0.4%	10.8%
R2年	MA	上の子が成長し育児に余裕ができたから	上の子を育て育児に自信ができたから	元々、子どもが3人以上欲しいと思っていたから	友人、知人等が3人以上の子どもがいて楽しそうだったから	その他	無回答	対象者数	
就学前児童	人	5	4	52	5	22	30	278	
	%	1.8%	1.4%	18.7%	1.8%	7.9%	10.8%		
小学生	人	9	3	49	3	22	20	211	
	%	4.3%	1.4%	23.2%	1.4%	10.4%	9.5%		
全体	人	14	7	101	8	44	50	489	
	%	2.9%	1.4%	20.7%	1.6%	9.0%	10.2%		

2位

R2年	MA	配偶者が家事・育児に協力的だから	祖父母等が同居もしくは近居で育児に協力を得られるから	仕事と育児が両立しやすい職場環境だから	夫婦の収入を考えると育てられると考えたから	保育料、児童手当、医療費等の経済的支援が整っているから	保育所や放課後児童クラブなど子どもの預け先が整っているから	地域子育て支援拠点など子育てサービスが整っているから	第1子及び第2子が同性であり異性の子どもが欲しかったから
就学前児童	人	29	49	22	13	20	6	1	16
	%	10.4%	17.6%	7.9%	4.7%	7.2%	2.2%	0.4%	5.8%
小学生	人	24	36	15	11	11	6	0	15
	%	11.4%	17.1%	7.1%	5.2%	5.2%	2.8%	0.0%	7.1%
全体	人	53	85	37	24	31	12	1	31
	%	10.8%	17.4%	7.6%	4.9%	6.3%	2.5%	0.2%	6.3%
R2年	MA	上の子が成長し育児に余裕ができたから	上の子を育て育児に自信ができたから	元々、子どもが3人以上欲しいと思っていたから	友人、知人等が3人以上の子どもがいて楽しそうだったから	その他	無回答	対象者数	
就学前児童	人	18	4	27	10	4	59	278	
	%	6.5%	1.4%	9.7%	3.6%	1.4%	21.2%		
小学生	人	10	9	20	3	2	49	211	
	%	4.7%	4.3%	9.5%	1.4%	0.9%	23.2%		
全体	人	28	13	47	13	6	108	489	
	%	5.7%	2.7%	9.6%	2.7%	1.2%	22.1%		

※就学前の母数の数は問4で子どもの人数が3人以上と回答した278人

※小学生の母数の数は問4で子どもの人数が3人以上と回答した211人

3位

R2年	MA	配偶者が家事・育児に協力的だから	祖父母等が同居もしくは近居で育児に協力を得られるから	仕事と育児が両立しやすい職場環境だから	夫婦の収入を考えると考えたから	保育料、児童手当、医療費等の経済的支援が整っているから	保育所や放課後児童クラブなど子どもの預け先が整っているから	地域子育て支援拠点など子育てサービスが整っているから	第1子及び第2子が同性であり異性の子どもが欲しかったから
就学前児童	人	18	17	24	18	23	14	0	15
	%	6.5%	6.1%	8.6%	6.5%	8.3%	5.0%	0.0%	5.4%
小学生	人	15	13	20	10	18	2	4	9
	%	7.1%	6.2%	9.5%	4.7%	8.5%	0.9%	1.9%	4.3%
全体	人	33	30	44	28	41	16	4	24
	%	6.7%	6.1%	9.0%	5.7%	8.4%	3.3%	0.8%	4.9%
R2年	MA	上の子が成長し育児に余裕ができたから	上の子を育て育児に自信ができたから	元々、子どもが3人以上欲しいと思っていたから	友人、知人等が3人以上の子どもがいて楽しそうだったから	その他	無回答	対象者数	
就学前児童	人	20	6	30	6	3	84	278	
	%	7.2%	2.2%	10.8%	2.2%	1.1%	30.2%		
小学生	人	13	5	16	8	3	75	211	
	%	6.2%	2.4%	7.6%	3.8%	1.4%	35.5%		
全体	人	33	11	46	14	6	159	489	
	%	6.7%	2.2%	9.4%	2.9%	1.2%	32.5%		

※就学前の母数の数は問4で子どもの人数が3人以上と回答した278人

※小学生の母数の数は問4で子どもの人数が3人以上と回答した211人

問12 子どもと将来の夢や希望について語りあう機会を、意識もっていますか。(小学生のみの設問)

R2年	SA	頻繁に持っている	時々持っている	ほとんど持っていない	持っていない	無回答	総計
小学生	人	93	316	61	8	18	496
	%	18.8%	63.7%	12.3%	1.6%	3.6%	100.0%

3. 子育てについての不安・悩み・地域の人のかわりについて

問12、13 子育てについて、気軽に相談できる近所の人や友人がいますか。

R2年	SA	いる	いない	無回答	総計
就学前児童	人	950	121	26	1,097
	%	86.6%	11.0%	2.4%	100.0%
小学生	人	414	69	13	496
	%	83.5%	13.9%	2.6%	100.0%
全体	人	1,364	190	39	1,593
	%	85.6%	11.9%	2.4%	100.0%

問13、問14 日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。(複数回答)

R2年	MA	日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる	日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる	緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる	誰もいない	対象者数
就学前児童	人	363	676	28	116	141	1,097
	%	33.1%	61.6%	2.6%	10.6%	12.9%	
小学生	人	175	266	22	78	60	496
	%	35.3%	53.6%	4.4%	15.7%	12.1%	
全体	人	538	942	50	194	201	1,593
	%	33.8%	59.1%	3.1%	12.2%	12.6%	

問14、問15 子育てが地域の人に(または職場や社会の中で)支えられていると感じますか。

R2年	SA	十分に感じる	まあまあ感じる	あまり感じない	まったく感じない	無回答	総計
就学前児童	人	151	559	298	55	34	1,097
	%	13.8%	51.0%	27.2%	5.0%	3.1%	100.0%
小学生	人	69	238	147	28	14	496
	%	13.9%	48.0%	29.6%	5.6%	2.8%	100.0%
全体	人	220	797	445	83	48	1,593
	%	13.8%	50.0%	27.9%	5.2%	3.0%	100.0%

問15、16 子育てに関する情報をどのように入手されていますか。(複数回答)

R2年	MA	親族(親・兄弟など)	近所の人・地域の知人・友人	職場の人・サークルの仲間	保育所・幼稚園・学校	産婦人科・小児科	地域子育て支援拠点	児童館	民生児童委員・主任児童委員	役所・保健所
就学前児童	人	554	535	376	709	158	127	67	2	144
	%	50.5%	48.8%	34.3%	64.6%	14.4%	11.6%	6.1%	0.2%	13.1%
小学生	人	209	280	189	352	35	0	34	4	51
	%	42.1%	56.5%	38.1%	71.0%	7.1%	0.0%	6.9%	0.8%	10.3%
全体	人	763	815	565	1061	193	127	101	6	195
	%	47.9%	51.2%	35.5%	66.6%	12.1%	8.0%	6.3%	0.4%	12.2%
R2年	MA	市町村の広報やパンフレット	テレビ・ラジオ・新聞	インターネット(SNS・スマートフォンアプリ含む)	育児書や子育て雑誌など	情報の入手先がない	教育センター・家庭相談室	その他	対象者数	
就学前児童	人	276	240	681	167	4	0	6	1,097	
	%	25.2%	21.9%	62.1%	15.2%	0.4%	0.0%	0.5%		
小学生	人	131	132	226	70	4	4	4	496	
	%	26.4%	26.6%	45.6%	14.1%	0.8%	0.8%	0.8%		
全体	人	407	372	907	237	8	4	10	1,593	
	%	25.5%	23.4%	56.9%	14.9%	0.5%	0.3%	0.6%		

※就学前の回答項目には「教育センター・家庭相談室」はないため回答は0%

※小学生の回答項目には「地域子育て支援拠点」はないため回答は0%

問16、17 子育てにかかる費用において、最も負担が大きいと感じているものは何ですか。

R2年	MA	食費	衣類費	居住費	日用品費	保育料、幼稚園授業料	医療費(予防接種等)	習い事、お稽古費用	負担があると感じない	その他	無効無回答	総計
就学前児童	人	187	127	51	208	135	27	138	100	25	99	1,097
	%	17.0%	11.6%	4.6%	19.0%	12.3%	2.5%	12.6%	9.1%	2.3%	9.0%	100.0%
小学生	人	128	43	26	30	0	40	124	57	19	29	496
	%	25.8%	8.7%	5.2%	6.0%	0.0%	8.1%	25.0%	11.5%	3.8%	5.8%	100.0%
全体	人	315	170	77	238	135	67	262	157	44	128	1,593
	%	19.8%	10.7%	4.8%	14.9%	8.5%	4.2%	16.4%	9.9%	2.8%	8.0%	100.0%

※小学生の回答項目には「保育料、幼稚園授業料」はないため回答数は0%

問17、18 あなたのご家庭では、お子さんが生まれてからこれまでに電気、ガス、水道等の未払いの経験がありますか。

R2年	SA	ある	ない	無回答	総計
就学前児童	人	66	1,014	17	1,097
	%	6.0%	92.4%	1.5%	100.0%
小学生	人	51	440	5	496
	%	10.3%	88.7%	1.0%	100.0%
全体	人	117	1,454	22	1,593
	%	7.3%	91.3%	1.4%	100.0%

問18、19 あなたのご家庭では、お子さんが生まれてからこれまでに必要な食料または衣服が買えなかったことがありますか。

R2年	SA	ある	ない	無回答	総計
就学前 児童	人	57	1,023	17	1,097
	%	5.2%	93.3%	1.5%	100.0%
小学生	人	46	444	6	496
	%	9.3%	89.5%	1.2%	100.0%
全体	人	103	1,467	23	1,593
	%	6.5%	92.1%	1.4%	100.0%

問19、20 あなたは、家庭でのしつけのために体罰を行うことについて、どのように思いますか。

R2年	SA	いかなる 場合でも 体罰をす るべきで はない	しつけのた めであれ ば体罰が 必要なこ ともある	しつけのた めには体 罰は必要 である	わから ない	無回答	総計
就学前 児童	人	550	361	7	157	22	1,097
	%	50.1%	32.9%	0.6%	14.3%	2.0%	100.0%
小学生	人	207	215	5	63	6	496
	%	41.7%	43.3%	1.0%	12.7%	1.2%	100.0%
全体	人	757	576	12	220	28	1,593
	%	47.5%	36.2%	0.8%	13.8%	1.8%	100.0%

4.子育てと仕事の両立について

問20、21 現在の就労状況を(自営業、家族従事者含む)お伺いします。

(1) 父親

R2年	SA	就労して いる(フル タイム)	就労して いる(フル タイムだが 育休・介護 休業中)	就労して いる(パー トタイム、 アルバイト 等)	以前は就 労していた が、現在 は就労し ていない	これまでに 就労したこ とがない	無回答	総計
就学前 児童	人	980	6	7	8	0	96	1,097
	%	89.3%	0.5%	0.6%	0.7%	0.0%	8.8%	100.0%
小学生	人	425	2	3	4	0	62	496
	%	85.7%	0.4%	0.6%	0.8%	0.0%	12.5%	100.0%
全体	人	1,405	8	10	12	0	158	1,593
	%	88.2%	0.5%	0.6%	0.8%	0.0%	9.9%	100.0%

(2) 母親

R2年	SA	就労して いる(フル タイム)	就労して いる(フル タイムだが 育休・介護 休業中)	就労して いる(パー トタイム、 アルバイト 等)	以前は就 労していた が、現在 は就労し ていない	これまでに 就労したこ とがない	無回答	総計
就学前 児童	人	366	112	351	217	19	32	1,097
	%	33.4%	10.2%	32.0%	19.8%	1.7%	2.9%	100.0%
小学生	人	216	7	170	67	13	23	496
	%	43.5%	1.4%	34.3%	13.5%	2.6%	4.6%	100.0%
全体	人	582	119	521	284	32	55	1,593
	%	36.5%	7.5%	32.7%	17.8%	2.0%	3.5%	100.0%

問21、22 問20、21で「1」～「4」(現在就労している、または以前就労していた)に○をつけた方にお伺いします。

(1)これまでに、あなたのお子さんについて、『育児休業制度』を利用したことがありますか。複数のお子さんについて育児休業制度を利用した場合には、一番最近利用した際の状況でお答え下さい。

①育児休業制度の利用(父親)

R2年	SA	利用した	利用しなかった	育児休業制度がない(知らない)ので、利用できなかった	無回答	総計
就学前児童	人	36	683	230	52	1,001
	%	3.6%	68.2%	23.0%	5.2%	100.0%
小学生	人	5	274	137	18	434
	%	1.2%	63.1%	31.6%	4.1%	100.0%
全体	人	41	957	367	70	1,435
	%	2.9%	66.7%	25.6%	4.9%	100.0%

②育児休業制度の利用(母親)

R2年	SA	利用した	利用しなかった	育児休業制度がない(知らない)ので、利用できなかった	無回答	総計
就学前児童	人	422	399	177	48	1,046
	%	40.3%	38.1%	16.9%	4.6%	100.0%
小学生	人	162	179	95	24	460
	%	35.2%	38.9%	20.7%	5.2%	100.0%
全体	人	584	578	272	72	1,506
	%	38.8%	38.4%	18.1%	4.8%	100.0%

(2)これまでに、あなたのお子さんについて、『育児短時間勤務制度』を利用したことがありますか。複数のお子さんについて育児短時間勤務制度を利用した場合には、一番最近利用した際の状況でお答え下さい。

①育児短時間勤務制度の利用(父親)

R2年	SA	利用した	利用しなかった	育児休業制度がない(知らない)ので、利用できなかった	無回答	総計
就学前児童	人	9	660	268	64	1,001
	%	0.9%	65.9%	26.8%	6.4%	100.0%
小学生	人	3	253	149	29	434
	%	0.7%	58.3%	34.3%	6.7%	100.0%
全体	人	12	913	417	93	1,435
	%	0.8%	63.6%	29.1%	6.5%	100.0%

②育児短時間勤務制度の利用(母親)

R2年	SA	利用した	利用しなかった	育児休業制度がない(知らない)ので、利用できなかった	無回答	総計
就学前児童	人	137	594	255	60	1,046
	%	13.1%	56.8%	24.4%	5.7%	100.0%
小学生	人	50	261	120	29	460
	%	10.9%	56.7%	26.1%	6.3%	100.0%
全体	人	187	855	375	89	1,506
	%	12.4%	56.8%	24.9%	5.9%	100.0%

5.子育て支援サービスの認知度・利用度について

問22, 23 下記のサービスを知っていたり、利用したことはありますか

1	A 知っている			
	SA	就学前児童	小学生	全体
お お いた ク ー ボ ン 子 育 て ほ っ と	人	998	327	1,325
	%	91.0%	65.9%	83.2%
	B 利用している・利用したことがある			
	SA	就学前児童	小学生	全体
	人	890	252	1,142
	%	81.1%	50.8%	71.7%
	C今後も利用したい又は必要時に利用したい			
	SA	就学前児童	小学生	全体
	人	920	319	1,239
	%	83.9%	64.3%	77.8%

2	A 知っている			
	SA	就学前児童	小学生	全体
お お いた パ ス ポ ー ト 子 育 て 応 援	人	212	68	280
	%	19.3%	13.7%	17.6%
	B 利用している・利用したことがある			
	SA	就学前児童	小学生	全体
	人	79	20	99
	%	7.2%	4.0%	6.2%
	C今後も利用したい又は必要時に利用したい			
	SA	就学前児童	小学生	全体
	人	684	273	957
	%	62.4%	55.0%	60.1%

3	A 知っている			
	SA	就学前児童	小学生	全体
も 育 地 ル て 域 ー 支 子 ム 援 育 セ な タ ン ター ・ 支 援 拠 点 こ ど 子	人	892	345	1,237
	%	81.3%	69.6%	77.7%
	B 利用している・利用したことがある			
	SA	就学前児童	小学生	全体
	人	611	233	844
	%	55.7%	47.0%	53.0%
	C今後も利用したい又は必要時に利用したい			
	SA	就学前児童	小学生	全体
	人	704	227	931
	%	64.2%	45.8%	58.4%

4	A 知っている			
	SA	就学前児童	小学生	全体
病 児 保 育	人	877	378	1,255
	%	79.9%	76.2%	78.8%
	B 利用している・利用したことがある			
	SA	就学前児童	小学生	全体
	人	123	53	176
	%	11.2%	10.7%	11.0%
	C今後も利用したい又は必要時に利用したい			
	SA	就学前児童	小学生	全体
	人	607	185	792
	%	55.3%	37.3%	49.7%

5	A 知っている			
	SA	就学前児童	小学生	全体
一 時 預 か り	人	866	330	1,196
	%	78.9%	66.5%	75.1%
	B 利用している・利用したことがある			
	SA	就学前児童	小学生	全体
	人	227	77	304
	%	20.7%	15.5%	19.1%
	C今後も利用したい又は必要時に利用したい			
	SA	就学前児童	小学生	全体
	人	608	183	791
	%	55.4%	36.9%	49.7%

6	A 知っている			
	SA	就学前児童	小学生	全体
大 分 県 こ ど も 救 急 電 話 相 談	人	822	334	1,156
	%	74.9%	67.3%	72.6%
	B 利用している・利用したことがある			
	SA	就学前児童	小学生	全体
	人	413	127	540
	%	37.6%	25.6%	33.9%
	C今後も利用したい又は必要時に利用したい			
	SA	就学前児童	小学生	全体
	人	777	282	1,059
	%	70.8%	56.9%	66.5%

7	A 知っている			
	SA	就学前児童	小学生	全体
い っ つ で も 子 育 て ほ っ と ラ イ ン	人	529	284	813
	%	48.2%	57.3%	51.0%
	B 利用している・利用したことがある			
	SA	就学前児童	小学生	全体
	人	29	20	49
	%	2.6%	4.0%	3.1%
	C今後も利用したい又は必要時に利用したい			
	SA	就学前児童	小学生	全体
	人	580	209	789
	%	52.9%	42.1%	49.5%

8	A 知っている			
	SA	就学前児童	小学生	全体
サ ポ ー ト ・ セ ン タ ー フ ァ ミ リ ー	人	483	198	681
	%	44.0%	39.9%	42.7%
	B 利用している・利用したことがある			
	SA	就学前児童	小学生	全体
	人	40	14	54
	%	3.6%	2.8%	3.4%
	C今後も利用したい又は必要時に利用したい			
	SA	就学前児童	小学生	全体
	人	418	156	574
	%	38.1%	31.5%	36.0%

9	A 知っている			
	SA	就学前児童	小学生	全体
	人	185	57	242
	%	16.9%	11.5%	15.2%
	B 利用している・利用したことがある			
	SA	就学前児童	小学生	全体
	人	7	4	11
	%	0.6%	0.8%	0.7%
	C 今後も利用したい又は必要時に利用したい			
	SA	就学前児童	小学生	全体
人	301	114	415	
%	27.4%	23.0%	26.1%	

10	A 知っている			
	SA	就学前児童	小学生	全体
	人	193	83	276
	%	17.6%	16.7%	17.3%
	B 利用している・利用したことがある			
	SA	就学前児童	小学生	全体
	人	3	2	5
	%	0.3%	0.4%	0.3%
	C 今後も利用したい又は必要時に利用したい			
	SA	就学前児童	小学生	全体
人	318	113	431	
%	29.0%	22.8%	27.1%	

11	A 知っている			
	SA	就学前児童	小学生	全体
	人	352	317	669
	%	32.1%	63.9%	42.0%
	B 利用している・利用したことがある			
	SA	就学前児童	小学生	全体
	人	42	67	109
	%	3.8%	13.5%	6.8%
	C 今後も利用したい又は必要時に利用したい			
	SA	就学前児童	小学生	全体
人	523	217	740	
%	47.7%	43.8%	46.5%	

問23. 24 『病児保育施設』は、現在、居住市町村にある施設のみ利用が可能ですが、他の市町村の施設が利用できることとなった場合、必要な際は利用したいと思いますか。

R2年	SA	思う	思わない	どちらとも いえない	無回答	総計
就学前 児童	人	516	264	311	6	1,097
	%	47.0%	24.1%	28.4%	0.5%	100.0%
小学生	人	165	151	176	4	496
	%	33.3%	30.4%	35.5%	0.8%	100.0%
全体	人	681	415	487	10	1,593
	%	42.7%	26.1%	30.6%	0.6%	100.0%

問24. 25 『病児保育施設』の空き状況がスマートフォン等から確認でき、予約・キャンセルができることとなった場合、必要な際は利用したいと思いますか。

R2年	SA	思う	思わない	どちらとも いえない	無回答	総計
就学前 児童	人	752	121	218	6	1,097
	%	68.6%	11.0%	19.9%	0.5%	100.0%
小学生	人	261	83	148	4	496
	%	52.6%	16.7%	29.8%	0.8%	100.0%
全体	人	1,013	204	366	10	1,593
	%	63.6%	12.8%	23.0%	0.6%	100.0%

6.地域の子育て環境について

問25、26(1) あなたのお住まいの地域における子育ての環境や支援について満足していますか。

R2年	SA	満足している	おおむね満足している	あまり満足していない	満足していない	無回答	総計
就学前児童	人	137	630	269	56	5	1,097
	%	12.5%	57.4%	24.5%	5.1%	0.5%	100.0%
小学生	人	62	255	136	36	7	496
	%	12.5%	51.4%	27.4%	7.3%	1.4%	100.0%
全体	人	199	885	405	92	12	1,593
	%	12.5%	55.6%	25.4%	5.8%	0.8%	100.0%

問25、26(2) (1)で「1. 満足している」「2. おおむね満足している」と答えた方にお聞きします。どういった点でそのように感じますか。(複数回答)

R2年	MA	子育てを支援する施設やサービスが充実している	医療費や保育料などの経済的支援が整っている	地域の雰囲気や子どもや子育て家庭に協力的である	親子で気軽に出かけられる場所(居場所)がある	子どもが安心して遊べる場所が多い	地域で子育てを支援する設備(トイレ内のおむつ替えコーナーや幼児用便器、乳幼児コーナー、道路の段差解消など)が整っている	同年代の子どもが多い	その他	対象者数
就学前児童	人	278	551	224	253	202	84	129	18	767
	%	36.2%	71.8%	29.2%	33.0%	26.3%	11.0%	16.8%	2.3%	
小学生	人	96	202	103	76	58	18	63	8	317
	%	30.3%	63.7%	32.5%	24.0%	18.3%	5.7%	19.9%	2.5%	
全体	人	374	753	327	329	260	102	192	26	1,084
	%	34.5%	69.5%	30.2%	30.4%	24.0%	9.4%	17.7%	2.4%	

※就学前の母数は問25(1)で「1. 満足している」「2. おおむね満足している」と回答した767人。

※小学生の母数は問26(1)で「1. 満足している」「2. おおむね満足している」と回答した317人。

問25、26(3) (1)で「3. あまり満足していない」「4. 満足していない」と答えた方にお聞きします。どういった点でそのように感じますか。(複数回答)

R2年	MA	子育てを支援する施設やサービスが不足している	医療費や保育料などの経済的支援が不足している	地域の雰囲気や子どもや子育て家庭に協力的でない	親子で気軽に出かけられる場所(居場所)がない	子どもが安心して遊べる場所が少ない	地域で子育てを支援する設備(おむつ替えコーナー、幼児用便器、授乳室、乳幼児コーナー、道路の段差解消など)が整っていない	同年代の子どもが少ない	その他	対象者数
就学前児童	人	176	147	49	168	157	118	64	35	325
	%	54.2%	45.2%	15.1%	51.7%	48.3%	36.3%	19.7%	10.8%	
小学生	人	70	89	31	77	84	32	31	18	172
	%	40.7%	51.7%	18.0%	44.8%	48.8%	18.6%	18.0%	10.5%	
全体	人	246	236	80	245	241	150	95	53	497
	%	49.5%	47.5%	16.1%	49.3%	48.5%	30.2%	19.1%	10.7%	

※就学前の母数は問25(1)で「3. あまり満足していない」「4. 満足していない」と回答した325人。

※小学生の母数は問26(1)で「3. あまり満足していない」「4. 満足していない」と回答した172人。

2. 調査依頼・調査票

「子ども・子育て県民意識調査」へのご協力お願い

子育て中の保護者の皆さま

日頃より県政の運営にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

大分県では、平成21年度から「子育て満足度日本一」の実現を目指し、より多くの子どもの笑顔を育み、生んで良かった、生まれて良かった、住んで良かったと思える県づくりに取り組んでいます。

令和2年3月には「おおいた子ども・子育て応援プラン（第4期計画）」を策定し、家庭、地域、学校及び企業等の皆さまにご協力をいただきながら、県民総参加による子ども・子育て支援を進めているところです。

今回のこの調査は、プランをきめ細かく評価し、着実に推進するために、皆さまの子育てに関する実態や子育て支援に対するご意見・ご要望などをお伺いするもので、毎年実施しています。

県内全市町村の住民基本台帳の中から就学前のお子さん又は小学生を無作為に抽出し、その保護者を調査対象としています。

ご回答いただいた調査内容は、県の子育て支援施策の検討にのみ利用し、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他に漏れたり、他の目的に利用されたりすることは一切ありません。

今後の子育て環境の整備を考えていくうえで大切な調査となりますので、調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和2年12月

大分県福祉保健部こども未来課

子ども・子育て県民意識調査

いただいた回答は、大分県の子ども・子育て支援施策の検討に利用します。

回答時間は10～15分程度です。
ご協力をお願いいたします。



【調査票ご記入にあたってのお願い】

- 1 このアンケート調査は、封筒のあて名のお子さんの保護者の方がご記入ください。
- 2 特にことわりのある場合以外は、封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。
- 3 回答は、選択肢の番号に○をつけてお選びいただく場合と、数字などを記入していただく場合があります。選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので注意書きに従ってください。該当する回答がない場合でも、一番近いと思われるものを必ず選択してください。
- 4 回答方法は、この調査票、またはインターネットの2種類あります。
- 5 調査票でご回答いただく場合は、同封の返信用封筒に、ご回答いただいたこの調査票を三つ折りにして入れ、切手を貼らずに投函してください。
- 6 インターネットでご回答いただく場合は、下記URL または QR コードから回答ページにアクセスしてください。

【回答用 URL】

<https://www.egov-oita.pref.oita.jp/rjnOME1x>



インターネットでの回答には、この表紙右上に記載の6ケタの調査識別番号の入力が必要です。この番号は、重複回答を防ぐために活用するものでランダムに割り振られており、回答者個人と結びついていません。

- 7 調査票の投函及びインターネットの回答は、いずれも **12月25日(金)** までをお願いいたします。(インターネットでご回答いただいた方は、調査票の返送は不要です。)

この調査についてご不明な点やご質問がありましたら、お手数ですが下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】



おおいた子育て支援

大分県福祉保健部 こども未来課 こども企画班

直通電話：097-506-2718

受付時間：月～金曜日（祝日を除く）8時30分～17時15分

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です

1 あて名のお子さんご家族の状況について

問1 どちらの市町村にお住まいですか。【1つに〇】

1 大分市	2 別府市	3 中津市	4 日田市
5 佐伯市	6 臼杵市	7 津久見市	8 竹田市
9 豊後高田市	10 杵築市	11 宇佐市	12 豊後大野市
13 由布市	14 国東市	15 姫島村	16 日出町
17 九重町	18 玖珠町		

問2 この調査にご回答いただいている方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。【1つに〇】

1 父親	2 母親	3 その他（	）
------	------	--------	---

問3 あて名のお子さんの年齢（令和2年4月1日現在）を教えてください。【1つに〇】

1 0歳	2 1歳	3 2歳
4 3歳	5 4歳	6 5歳

問4 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いますか。2人以上いる場合は、末子の年齢（令和2年4月1日現在の年齢）を記入してください。（※末子：最後に生まれた子）

<input type="text"/>	人	末子の年齢	<input type="text"/>	歳
----------------------	---	-------	----------------------	---

問5 あて名のお子さんと父母及び祖父母との同居・近居（概ね30分以内程度で行き来できる範囲）の状況について、お子さんからみた関係でお答えください。【あてはまる番号すべてに〇】
該当しない場合は、〇を付けなくて結構です。

【父】	1 同居	2 近居
【母】	1 同居	2 近居
【父方祖父】	1 同居	2 近居
【父方祖母】	1 同居	2 近居
【母方祖父】	1 同居	2 近居
【母方祖母】	1 同居	2 近居

問6 家庭内で、あて名のお子さんの身の回りの世話などを主に行っている方はどなたですか。
お子さんからみた関係でお答えください。【1つに〇】

- 1 主に父親 2 主に母親 3 主に祖父母 4 その他（ ）

2 少子化・子育てに対する意識について

問7 あなたの理想とする子どもの数は何人ですか。【1つに〇】

- 1 1人 2 2人 3 3人 4 4人
5 5人以上 6 わからない 7 子どもをほしいとは思わない

問8 あなたが実際に予定している子どもの数は何人ですか。現在いるお子さんの数と今後予定している子どもの数を合わせた数をお答えください。【1つに〇】

- 1 1人 2 2人 3 3人 4 4人
5 5人以上 6 わからない 7 子どもをほしいとは思わない

問9 問7及び問8で「理想」よりも「予定」の子ども数の方が少なかった方にお伺いします。
その他の方は問10に進んでください。

その理由として何があげられますか。【3つまで〇】

- 1 子育てや教育にお金がかかりすぎるから
2 自分の仕事（勤めや家業）が忙しいから
3 家が狭いから
4 高年齢で生むのはいやだから
5 欲しいけれどもできないから
6 健康上の理由から
7 これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから
8 夫（妻）の家事・育児への協力が得られないから
9 一番末の子が夫（妻）の定年退職までに成人してほしいから
10 夫（妻）が望まないから
11 子どもがのびのび育つ社会環境ではないから
12 自分や夫婦の生活を大切にしたいから
13 その他（ ）

問 10 あなたが、理想とする子どもの数を実現するために必要なことは何だと思いますか。

【3つまで〇】

- 1 経済的な支援
- 2 保育所の充実をはじめとした子どもを預かる事業の拡充
- 3 出産・育児のための休業・短時間勤務制度の取得促進
- 4 出産・子育てによる退職後に就業を希望する場合の再就職支援
- 5 仕事と子育ての両立の推進に取り組む事業所への支援
- 6 小児医療体制整備など子どもへの健康支援
- 7 妊娠・出産の支援体制、周産期医療体制の充実
- 8 ファミリー向け賃貸住宅の優先入居
- 9 夫婦や親子を対象とした地域における子育て支援事業の推進
- 10 子育てを支援する設備（おむつ替えコーナー、幼児用便器、授乳室、乳幼児コーナー、道路の段差解消など）、交通機関などにおけるバリアフリーの推進
- 11 自然・社会体験、ボランティア、スポーツ活動など子どものための事業の促進
- 12 様々な悩みをワンストップで受けられる相談窓口（電話相談含む）
- 13 その他（ ）

問 11 **3人以上お子さんがいる方にお伺いします。その他の方は問12に進んでください。**

3人目以降のお子さんを持つことができた理由として何があげられますか。
最もあてはまると思われるものから順に3つまで数字を記入してください。

- 1 配偶者が家事・育児に協力的だから
- 2 祖父母等が同居もしくは近居で育児に協力を得られるから
- 3 仕事と育児が両立しやすい職場環境だから
- 4 夫婦の収入を考えると育てられると考えたから
- 5 保育料、児童手当、医療費等の経済的支援が整っているから
- 6 保育所や放課後児童クラブなど子どもの預け先が整っているから
- 7 地域子育て支援拠点※¹など子育てサービスが整っているから
- 8 第1子及び第2子が同性であり異性の子どもが欲しかったから
- 9 上の子が成長し育児に余裕ができたから
- 10 上の子を育て育児に自信ができたから
- 11 元々、子どもが3人以上欲しいと思っていたから
- 12 友人、知人等が3人以上の子どもがいて楽しそうだったから
- 13 その他（ ）

【回答欄(最もあてはまるものから順に番号を記入してください)】

第1位	第2位	第3位

※1 「地域子育て支援拠点」

子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる場です。設置している市町村によって、「子育て支援センター」、「こどもルーム」、「ひろば」などの名称で呼ばれています。

3 子育てについての不安・悩み・地域の人とのかかわりについて



問 12 子育てについて、気軽に相談できる近所の人や友人がいますか。【1つに〇】

- 1 いる 2 いない

問 13 日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。【あてはまる番号すべてに〇】

- 1 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる
2 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる
3 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる
4 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる
5 誰もいない

問 14 (1) 子育てが地域の人に（または職場や社会の中で）支えられていると感じますか。

【1つに〇】

- 1 十分に感じる
2 まあまあ感じる
3 あまり感じない
4 まったく感じない
- (3) へ

(2) (1)で「1」または「2」に〇を付けた方にお伺いします。

子育てが地域の人に支えられていると感じる理由について教えてください。(自由記載)

(3) (1)で「3」または「4」に〇を付けた方にお伺いします。

子育てが地域の人に支えられていると感じない理由について教えてください。(自由記載)

問 15 子育てに関する情報をどこから入手されていますか。【あてはまる番号すべてに○】

1 親族（親・兄弟など）	2 近所の人・地域の知人・友人
3 職場の人・サークルの仲間	4 保育所・幼稚園・学校
5 産婦人科・小児科	6 地域子育て支援拠点
7 児童館	8 民生児童委員・主任児童委員
9 役所・保健所	10 市町村の広報やパンフレット
11 テレビ・ラジオ・新聞	
12 インターネット（SNS（Facebook や Twitter など）・スマートフォンアプリ含む）	
13 育児書や子育て雑誌など	14 情報の入手先がない
15 その他（	）

問 16 子育てにかかる費用において、最も負担が大きいと感じているものは何ですか。

【1つに○】

1 食費	2 衣類費	3 居住費
4 日用品費	5 保育料、幼稚園授業料	6 医療費（予防接種等）
7 習い事、お稽古費用	8 負担があると感じていない	
9 その他（		）

問 17 あなたのご家庭では、お子さんが生まれてからこれまでに電気、ガス、水道料等の未払いの経験がありますか。【1つに○】

1 ある	2 ない
------	------

問 18 あなたのご家庭では、お子さんが生まれてからこれまでに必要な食料または衣服が買えなかったことがありますか。【1つに○】

1 ある	2 ない
------	------

問 19 あなたは、家庭でしつけのために体罰を行うことについて、どのように思いますか。

【1つに○】

1 いかなる場合でも体罰をするべきではない
2 しつけのためであれば体罰が必要なこともある
3 しつけのためには体罰は必要である
4 わからない

4 子育てと仕事の両立について



問 20 現在の就労状況を（自営業、家族従業者含む）お伺いします。【1つに〇】

※ひとり親家庭の方は、該当する項目のみ回答してください。

父 親	母 親
1 就労している（フルタイム） 2 就労している （フルタイムだが育休・介護休業中） 3 就労している （パートタイム、アルバイト等） 4 以前は就労していたが、現在は就労 していない 5 これまでに就労したことがない ⇒7 ページの問 22 へ	1 就労している（フルタイム） 2 就労している （フルタイムだが育休・介護休業中） 3 就労している （パートタイム、アルバイト等） 4 以前は就労していたが、現在は就労 していない 5 これまでに就労したことがない ⇒7 ページの問 22 へ

問 21 問20 で「1」～「4」(現在就労している、または以前就労していた)に〇を付けた方にお伺い
 します。その他の方は問 22 に進んでください。

※ひとり親家庭の方は、該当する項目のみ回答してください。

- (1) これまでに、あなたのお子さんについて、『育児休業制度』を利用したことがありますか。
 複数のお子さんについて育児休業制度を利用した場合は、一番最近利用した際の状況でお答
 えください。【1つに〇】

父 親	母 親
1 利用した [利用期間] □ 歳 □ ヶ月～ □ 歳 □ ヶ月 2 利用しなかった 3 育児休業制度がない（知らない）ので 利用できなかった	1 利用した [利用期間] □ 歳 □ ヶ月～ □ 歳 □ ヶ月 2 利用しなかった 3 育児休業制度がない（知らない）ので 利用できなかった

- (2) これまでに、あなたのお子さんについて、『育児短時間勤務制度』を利用したことがありま
 すか。複数のお子さんについて育児短時間勤務制度を利用した場合は、一番最近利用した際の
 状況でお答えください。【1つに〇】

父 親	母 親
1 利用した [利用期間] □ 歳 □ ヶ月～ □ 歳 □ ヶ月 2 利用しなかった 3 育児短時間勤務制度がない（知らない） ので利用できなかった	1 利用した [利用期間] □ 歳 □ ヶ月～ □ 歳 □ ヶ月 2 利用しなかった 3 育児短時間勤務制度がない（知らない） ので利用できなかった

5 子育て支援サービスの認知度・利用度について

問 22 下記のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。サービスごとに、A、B、Cの「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

サービスの種類	A 知っていますか 「1 はい」→B、Cへ 「2 いいえ」→Cへ	B 利用していますか 又は 利用したことが ありますか	C 今後も(は) 利用したいですか 又は 必要時に利用 したいですか
①おおいた子育てほっとクーポン※ ²	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
②おおいた子育て応援パスポート※ ³	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
③地域子育て支援拠点 (子育て支援センター・こどもルームなど)	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
④病児保育※ ⁴	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
⑤一時預かり※ ⁵	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
⑥大分県こども救急電話相談※ ⁶	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
⑦いつでも子育てほっとライン※ ⁷	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
⑧ファミリー・サポート・センター※ ⁸	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
⑨ホームスタート※ ⁹	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
⑩ショートステイ※ ¹⁰	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
⑪就学援助制度※ ¹¹	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ

※ 2 「おおいた子育てほっとクーポン」

3歳の誕生日の前日まで子育て支援サービスに使えるクーポンを出生時に市町村の子育て支援窓口で配布している事業です。

※ 3 「おおいた子育て応援パスポート」

子育て中や妊娠中の方が、「子育て応援店」でパスポートを提示すると、お店・施設が独自に提供する商品の割引やサービスなど様々な特典が受けられる事業です。

※ 4 「病児保育」

病気や病気の回復期で、保育所などでの保育が困難な子どもを病院などで預かることです。

※ 5 「一時預かり」

冠婚葬祭、保護者の育児疲れや病気等のため、一時的に家庭での子育てが困難になったときに、子どもを日中、保育所等で預かることです。

※ 6 「大分県こども救急電話相談」(電話：#8000 または 097-503-8822)

こどもが病気やケガで心配なときや、病院へ行った方が良いかどうか判断に迷ったときなどに、看護師が相談に応じる県の電話相談。

受付時間：月曜日～土曜日は午後7時から翌朝8時まで

日曜・祝日は、午前9時から午後5時までと午後7時から翌朝8時までです。

※ 7 「いつでも子育てほっとライン」(電話：0120-462-110)

子育てに関する悩みを受け付ける県の電話相談。24時間365日相談に応じています。

※ 8 「ファミリー・サポート・センター」

保護者の病気や買い物等の用事の際に地域の人たちが会員制で有料で子育てを助け合う制度です。

※ 9 「ホームスタート」

未就学児がいる家庭に、研修を受けた地域の子育て経験者が、週に1回2時間程度、無料で訪問し、「傾聴」(親の気持ちを受け止めて話を聴くこと)と「協働」(親と一緒に家事や育児、外出などをすること)をする新しい家庭訪問型子育て支援ボランティアのしくみです。

※ 10 「ショートステイ」

保護者の病気など一時的に家庭での子育てが困難になったときに、児童養護施設などにおいて、子どもを宿泊により預かることです。(原則7日以内)

※ 11 「就学援助制度」

経済的な理由で小中学校や義務教育学校への就学が困難な児童・生徒の保護者の方に、学用品費の一部や給食費などを援助するものです。



アンケートはあと少しです。
最後までよろしくお願いします。

子ども・子育て県民意識調査

いただいた回答は、大分県の子ども・子育て支援施策の検討に利用します。

回答時間は10～15分程度です。
ご協力をお願いいたします。



【調査票ご記入にあたってのお願い】

- 1 このアンケート調査は、封筒のあて名のお子さんの保護者の方がご記入ください。
- 2 特にことわりのある場合以外は、封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。
- 3 回答は、選択肢の番号に○をつけてお選びいただく場合と、数字などを記入していただく場合があります。選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので注意書きに従ってください。該当する回答がない場合でも、一番近いと思われるものを必ず選択してください。
- 4 回答方法は、この調査票、またはインターネットの2種類あります。
- 5 調査票でご回答いただく場合は、同封の返信用封筒に、ご回答いただいたこの調査票を三つ折りにして入れ、切手を貼らずに投函してください。
- 6 インターネットでご回答いただく場合は、下記URL または QR コードから回答ページにアクセスしてください。

【回答用 URL】

<https://www.egov-oita.pref.oita.jp/MVyX8x09>



インターネットでの回答には、この表紙右上に記載の6ケタの調査識別番号の入力が必要です。この番号は、重複回答を防ぐために活用するものでランダムに割り振られており、回答者個人と結びついていません。

- 7 調査票の投函及びインターネットの回答は、いずれも **12月25日(金)** までをお願いいたします。(インターネットでご回答いただいた方は、調査票の返送は不要です。)

この調査についてご不明な点やご質問がありましたら、お手数ですが下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】



おおいた子育て支援

大分県福祉保健部 こども未来課 こども企画班

直通電話：097-506-2718

受付時間：月～金曜日（祝日を除く）8時30分～17時15分

1 あて名のお子さんご家族の状況について

問1 どちらの市町村にお住まいですか。【1つに〇】

1 大分市	2 別府市	3 中津市	4 日田市
5 佐伯市	6 臼杵市	7 津久見市	8 竹田市
9 豊後高田市	10 杵築市	11 宇佐市	12 豊後大野市
13 由布市	14 国東市	15 姫島村	16 日出町
17 九重町	18 玖珠町		

問2 この調査にご回答いただいている方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。【1つに〇】

1 父親	2 母親	3 その他 ()
------	------	-----------

問3 あて名のお子さんの学年を記入してください。

小学校	<input type="text"/>	年生
-----	----------------------	----

問4 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いますか。2人以上いる場合は、末子の年齢（令和2年4月1日現在の年齢）を記入してください。（※末子：最後に生まれた子）

<input type="text"/>	人	末子の年齢	<input type="text"/>	歳
----------------------	---	-------	----------------------	---

問5 あて名のお子さんと父母及び祖父母との同居・近居（概ね30分以内程度で行き来できる範囲）の状況について、お子さんからみた関係でお答えください。【**あてはまる番号すべてに〇**】
該当しない場合は、〇を付けなくて結構です。

【父】	1 同居	2 近居
【母】	1 同居	2 近居
【父方祖父】	1 同居	2 近居
【父方祖母】	1 同居	2 近居
【母方祖父】	1 同居	2 近居
【母方祖母】	1 同居	2 近居

問6 家庭内で、あて名のお子さんの身の回りの世話などを主に行っている方はどなたですか。
お子さんからみた関係でお答えください。【1つに〇】

- | | | | |
|--------|--------|---------|-----------|
| 1 主に父親 | 2 主に母親 | 3 主に祖父母 | 4 その他 () |
|--------|--------|---------|-----------|

2 少子化・子育てに対する意識について

問7 あなたの理想とする子どもの数は何人ですか。【1つに〇】

- | | | | |
|--------|---------|-----------------|------|
| 1 1人 | 2 2人 | 3 3人 | 4 4人 |
| 5 5人以上 | 6 わからない | 7 子どもをほしいとは思わない | |

問8 あなたが実際に予定している子どもの数は何人ですか。現在いるお子さんの数と今後予定している子どもの数を合わせた数をお答えください。【1つに〇】

- | | | | |
|--------|---------|-----------------|------|
| 1 1人 | 2 2人 | 3 3人 | 4 4人 |
| 5 5人以上 | 6 わからない | 7 子どもをほしいとは思わない | |

問9 問7及び問8で「理想」よりも「予定」の子ども数の方が少なかった方にお伺いします。
その他の方は問10に進んでください。

その理由として何があげられますか。【3つまで〇】

- | |
|-------------------------------|
| 1 子育てや教育にお金がかかりすぎるから |
| 2 自分の仕事（勤めや家業）が忙しいから |
| 3 家が狭いから |
| 4 高年齢で生むのはいやだから |
| 5 欲しいけれどもできないから |
| 6 健康上の理由から |
| 7 これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから |
| 8 夫（妻）の家事・育児への協力が得られないから |
| 9 一番末の子が夫（妻）の定年退職までに成人してほしいから |
| 10 夫（妻）が望まないから |
| 11 子どもがのびのび育つ社会環境ではないから |
| 12 自分や夫婦の生活を大切にしたいから |
| 13 その他 () |

問 10 あなたが、理想とする子どもの数を実現するために必要なことは何だと思いますか。

【3つまで〇】

- 1 経済的な支援
- 2 保育所の充実をはじめとした子どもを預かる事業の拡充
- 3 出産・育児のための休業・短時間勤務制度の取得促進
- 4 出産・子育てによる退職後に就業を希望する場合の再就職支援
- 5 仕事と子育ての両立の推進に取り組む事業所への支援
- 6 小児医療体制整備など子どもへの健康支援
- 7 妊娠・出産の支援体制、周産期医療体制の充実
- 8 ファミリー向け賃貸住宅の優先入居
- 9 夫婦や親子を対象とした地域における子育て支援事業の推進
- 10 子育てを支援する設備（おむつ替えコーナー、幼児用便器、授乳室、乳幼児コーナー、道路の段差解消など）、交通機関などにおけるバリアフリーの推進
- 11 自然・社会体験、ボランティア、スポーツ活動など子どものための事業の促進
- 12 様々な悩みをワンストップで受けられる相談窓口（電話相談含む）
- 13 その他（ ）

問 11 **3人以上お子さんがいる方にお伺いします。その他の方は問12に進んでください。**

3人目以降のお子さんを持つことができた理由として何があげられますか。
最もあてはまると思われるものから順に3つまで数字を記入してください。

- 1 配偶者が家事・育児に協力的だから
- 2 祖父母等が同居もしくは近居で育児に協力を得られるから
- 3 仕事と育児が両立しやすい職場環境だから
- 4 夫婦の収入を考えると育てられると考えたから
- 5 保育料、児童手当、医療費等の経済的支援が整っているから
- 6 保育所や放課後児童クラブなど子どもの預け先が整っているから
- 7 地域子育て支援拠点※¹など子育てサービスが整っているから
- 8 第1子及び第2子が同性であり異性の子どもが欲しかったから
- 9 上の子が成長し育児に余裕ができたから
- 10 上の子を育て育児に自信ができたから
- 11 元々、子どもが3人以上欲しいと思っていたから
- 12 友人、知人等が3人以上の子どもがいて楽しそうだったから
- 13 その他（ ）

【回答欄(最もあてはまるものから順に番号を記入してください)】

第1位	第2位	第3位

※1 「地域子育て支援拠点」

子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる場です。設置している市町村によって、「子育て支援センター」、「こどもルーム」、「ひろば」などの名称で呼ばれています。

問 12 子どもと将来の夢や希望について語りあう機会を、意識してもっていますか。

【1つに〇】

- 1 頻繁に持っている
- 2 時々持っている
- 3 ほとんどもっていない
- 4 もっていない

3 子育てについての不安・悩み・地域の人とのかかわりについて



問 13 子育てについて、気軽に相談できる近所の人や友人がいますか。【1つに〇】

- 1 いる
- 2 いない

問 14 日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。【あてはまる番号すべてに〇】

- 1 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる
- 2 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる
- 3 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる
- 4 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる
- 5 誰もいない

問 15 (1) 子育てが地域の人に（または職場や社会の中で）支えられていると感じますか。

【1つに〇】

- | | | |
|---|------------|-----------|
| { | 1 十分に感じる | } → (3) へ |
| | 2 まあまあ感じる | |
| | 3 あまり感じない | |
| | 4 まったく感じない | |

(2) (1)で「1」または「2」に〇を付けた方にお伺いします。

子育てが地域の人に支えられていると感じる理由について教えてください。（自由記載）

(3) (1)で「3」または「4」に○を付けた方にお伺いします。

子育てが地域の人に支えられていると感じない理由について教えてください。(自由記載)

問 16 子育てに関する情報をどこから入手されていますか。【あてはまる番号すべてに○】

1 親族（親・兄弟など）	2 近所の人・地域の知人・友人
3 職場の人・サークルの仲間	4 学校・保育所・幼稚園
5 産婦人科・小児科	6 児童館
7 民生児童委員・主任児童委員	8 教育センター・家庭相談室
9 役所・保健所	10 市町村の広報やパンフレット
11 テレビ・ラジオ・新聞	
12 インターネット（SNS（Facebook や Twitter など）・スマートフォンアプリ含む）	
13 育児書や子育て雑誌など	14 情報の入手先がない
15 その他（	）

問 17 子育てにかかる費用において、最も負担が大きいと感じているものは何ですか。

【1つに○】

1 食費	2 衣類費	3 居住費
4 日用品費	5 医療費（予防接種等）	6 習い事、お稽古費用
7 負担があると感じていない		
8 その他（		）

問 18 あなたのご家庭では、お子さんが生まれてからこれまでに電気、ガス、水道料等の未払いの経験がありますか。【1つに○】

1 ある	2 ない
------	------

問 19 あなたのご家庭では、お子さんが生まれてからこれまでに必要な食料または衣服が買えなかったことがありますか。【1つに○】

1 ある	2 ない
------	------

問 20 あなたは、家庭でしつけのために体罰を行うことについて、どのように思いますか。

【1つに○】

1 いかなる場合でも体罰をするべきではない
2 しつけのためであれば体罰が必要なこともある
3 しつけのためには体罰は必要である
4 わからない

4 子育てと仕事の両立について



問 21 現在の就労状況を（自営業、家族従業者含む）お伺いします。【1つに〇】

※ひとり親家庭の方は、該当する項目のみ回答してください。

父 親	母 親
1 就労している（フルタイム） 2 就労している （フルタイムだが育休・介護休業中） 3 就労している （パートタイム、アルバイト等） 4 以前は就労していたが、現在は就労 していない 5 これまでに就労したことがない ⇒7 ページの問 23 へ	1 就労している（フルタイム） 2 就労している （フルタイムだが育休・介護休業中） 3 就労している （パートタイム、アルバイト等） 4 以前は就労していたが、現在は就労 していない 5 これまでに就労したことがない ⇒7 ページの問 23 へ

問 22 問21で「1」～「4」(現在就労している、または以前就労していた)に〇を付けた方にお伺い
 します。その他の方は問 23 に進んでください。

※ひとり親家庭の方は、該当する項目のみ回答してください。

- (1) これまでに、あなたのお子さんについて、『育児休業制度』を利用したことがありますか。
 複数のお子さんについて育児休業制度を利用した場合は、一番最近利用した際の状況でお答
 えください。【1つに〇】

父 親	母 親
1 利用した [利用期間] □ 歳 □ ヶ月～ □ 歳 □ ヶ月 2 利用しなかった 3 育児休業制度がない（知らない）ので 利用できなかった	1 利用した [利用期間] □ 歳 □ ヶ月～ □ 歳 □ ヶ月 2 利用しなかった 3 育児休業制度がない（知らない）ので 利用できなかった

- (2) これまでに、あなたのお子さんについて、『育児短時間勤務制度』を利用したことがあります
 か。複数のお子さんについて育児短時間勤務制度を利用した場合は、一番最近利用した際の
 状況でお答えください。【1つに〇】

父 親	母 親
1 利用した [利用期間] □ 歳 □ ヶ月～ □ 歳 □ ヶ月 2 利用しなかった 3 育児短時間勤務制度がない（知らない） ので利用できなかった	1 利用した [利用期間] □ 歳 □ ヶ月～ □ 歳 □ ヶ月 2 利用しなかった 3 育児短時間勤務制度がない（知らない） ので利用できなかった

5 子育て支援サービスの認知度・利用度について

問 23 下記のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。サービスごとに、A、B、Cの「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

サービスの種類	A 知っていますか 「1 はい」→B、Cへ 「2 いいえ」→Cへ	B 利用していますか 又は 利用したことが ありますか	C 今後も(は) 利用したいですか 又は 必要時に利用 したいですか
①おおいた子育てほっとクーポン※ ²	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
②おおいた子育て応援パスポート※ ³	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
③地域子育て支援拠点 (子育て支援センター・こどもルームなど)	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
④病児保育※ ⁴	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
⑤一時預かり※ ⁵	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
⑥大分県こども救急電話相談※ ⁶	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
⑦いつでも子育てほっとライン※ ⁷	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
⑧ファミリー・サポート・センター※ ⁸	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
⑨ホームスタート※ ⁹	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
⑩ショートステイ※ ¹⁰	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
⑪就学援助制度※ ¹¹	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ

※ 2 「おおいた子育てほっとクーポン」

3歳の誕生日の前日まで子育て支援サービスに使えるクーポンを出生時に市町村の子育て支援窓口で配布している事業です。

※ 3 「おおいた子育て応援パスポート」

子育て中や妊娠中の方が、「子育て応援店」でパスポートを提示すると、お店・施設が独自に提供する商品の割引やサービスなど様々な特典が受けられる事業です。

※ 4 「病児保育」

病気や病気の回復期で、保育所などでの保育が困難な子どもを病院などで預かることです。

※ 5 「一時預かり」

冠婚葬祭、保護者の育児疲れや病気等のため、一時的に家庭での子育てが困難になったときに、子どもを日中、保育所等で預かることです。

※ 6 「大分県こども救急電話相談」(電話：#8000 または 097-503-8822)

こどもが病気やケガで心配なときや、病院へ行った方が良いかどうか判断に迷ったときなどに、看護師が相談に応じる県の電話相談。

受付時間：月曜日～土曜日は午後7時から翌朝8時まで

日曜・祝日は、午前9時から午後5時までと午後7時から翌朝8時までです。

※ 7 「いつでも子育てほっとライン」(電話：0120-462-110)

子育てに関する悩みを受け付ける県の電話相談。24時間365日相談に応じています。

※ 8 「ファミリー・サポート・センター」

保護者の病気や買い物等の用事の際に地域の人たちが会員制で有料で子育てを助け合う制度です。

※ 9 「ホームスタート」

未就学児がいる家庭に、研修を受けた地域の子育て経験者が、週に1回2時間程度、無料で訪問し、「傾聴」(親の気持ちを受け止めて話を聴くこと)と「協働」(親と一緒に家事や育児、外出などをすること)をする新しい家庭訪問型子育て支援ボランティアのしくみです。

※ 10 「ショートステイ」

保護者の病気など一時的に家庭での子育てが困難になったときに、児童養護施設などにおいて、子どもを宿泊により預かることです。(原則7日以内)

※ 11 「就学援助制度」

経済的な理由で小中学校や義務教育学校への就学が困難な児童・生徒の保護者の方に、学用品費の一部や給食費などを援助するものです。



アンケートはあと少しです。
最後までよろしくお願いします。

